



Netcommunity SYSTEM

無線アクセスポイント (a/b/g)

・ 無線ステーション

取扱説明書

Netcommunity SYSTEM（ネットコミュニティシステム）無線アクセスポイント (a/b/g) ・ 無線ステーションをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手元に置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

本書中のマーク説明

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。本商品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご使用にあたってのお願い

- 本商品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
 - 本書とともに必ず、ご使用のパソコンの取扱説明書をよくお読みになり、理解したうえでお使いください。
 - 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This wireless system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
 - 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
 - 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。お客様の使用環境によっては、通信が途切れる場合があります。
 - 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
 - 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- * Windows® XPはMicrosoft® Windows® XP operating systemの略です。
* Windows® 2000はMicrosoft® Windows® 2000 operating systemの略です。
* Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
* Ethernetは、富士ゼロックス社の登録商標です。
* Super AG™は、Atheros Communications, Inc.の登録商標です。
* Netcommunityは、日本電信電話株式会社の登録商標です。
* その他、本文中での記載の製品名や品名は各社の商標または登録商標です。

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを消去する必要があります。詳しくは当社のサービス取扱所にご相談ください。
- 無線LAN速度「54Mbps」はIEEE802.11a/gの規格仕様上の理論値です。また、無線LAN速度「11Mbps」はIEEE802.11bの規格仕様上の理論値です。実際の使用で得られる通信速度とは異なりますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を安全にご利用いただくために、無線LANのセキュリティ設定（SSIDの変更、暗号設定等）を必ず行ってください。
- 本商品はIEEE802.11a準拠（J52）です。

使用周波数について（5GHz）

- 本商品で使用する34、38、42、46チャンネルの5GHz帯周波数は、衛星携帯電話や気象レーダー、高速道路の自動料金徴収システム（ETC）などでも使用されているため、電波法により屋内でのみ使用可能です。
- 万一、電波の干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用周波数を変更するか本商品の使用を中止してください。
- 本商品の使用する5GHz帯は電波法により屋外での使用を禁じられていますので、ご使用にならぬようご注意ください。

使用周波数について（2.4GHz）

本商品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、弊社サポートセンター（マニュアル・取扱説明書等に記載）にご連絡いただき、混信回避のための処置等についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは弊社サポートセンター（マニュアル・取扱説明書等に記載）へお問い合わせください。

2.4DSOF4



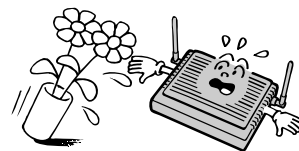
本商品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式/OFDM方式を採用し、想定干渉距離は40m、全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局の帯域を回避可能です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

設置について

⚠ 警告

- 本商品のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



- 本商品を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- ・ 直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーなどの近くや屋外などの温度の上がる場所。
- ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所。
- ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。



お取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

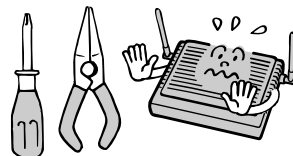
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 万一、本商品内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

警告

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源アダプタの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●電源アダプタは、「GX-IPTEL電源アダプタ」をお使いになり、それ以外のものは、絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。

また、重い物をのせたり、加熱したりすると本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルなどが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

電源アダプタの電源コードやLANケーブルなどが傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



●本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルなどが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

警告

- 本商品や本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルなどを熱器具に近づけないでください。キャビネットや本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルなどの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。次のような設置のしかたはしないでください。
 - ・ 本商品を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・ 本商品を収納棚や本箱、配線ボックスなどの風通しの悪い狭い場所に押し込む。
 - ・ 本商品をじゅうたんや布団の上に置く。
 - ・ 本商品にテーブルクロスなどをかける。
 - ・ 本商品の周りに物をおいて、通風孔をふさぐ。
- 近くに雷が発生したときは、すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の電源入力コード差込口に、ほこりが付着していないことを確認してから電源アダプタに接続してください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いて、点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。
なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

設置について

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・ 振動、衝撃の多い場所。



- 本商品を壁掛け設置する場合は、専用の壁掛け用木ねじによりしっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

お取り扱いについて



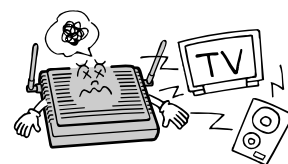
- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品をお手入れするときは、安全のため必ず本商品の電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルなどは抜いて行なってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタを電源コンセントから抜き、LANケーブルを抜いてください。
- 本商品（無線ステーション）の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

設置について



- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると通信ができなくなることがあります
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 放送局や無線局などが近く、本商品の誤動作を招くおそれのあるときは、本商品の設置場所を移動してみてください。



- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 無線アクセスポイント（a/b/g）の底面にある電源アダプタコード固定溝は電源コード専用です。LANケーブルの固定用には使用しないでください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

STOP

お願い

- 本商品をぬれたぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。

汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。



- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 本商品に接続する電源アダプタの電源コードやLANケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

- コネクタに異物を差し込んだり、端子面に触れないでください。故障の原因となることがあります。

- リセットスイッチを4秒以上押し続けると、設定を初期化状態に戻します。初期化状態に戻すとき以外は、この操作を行わないでください。

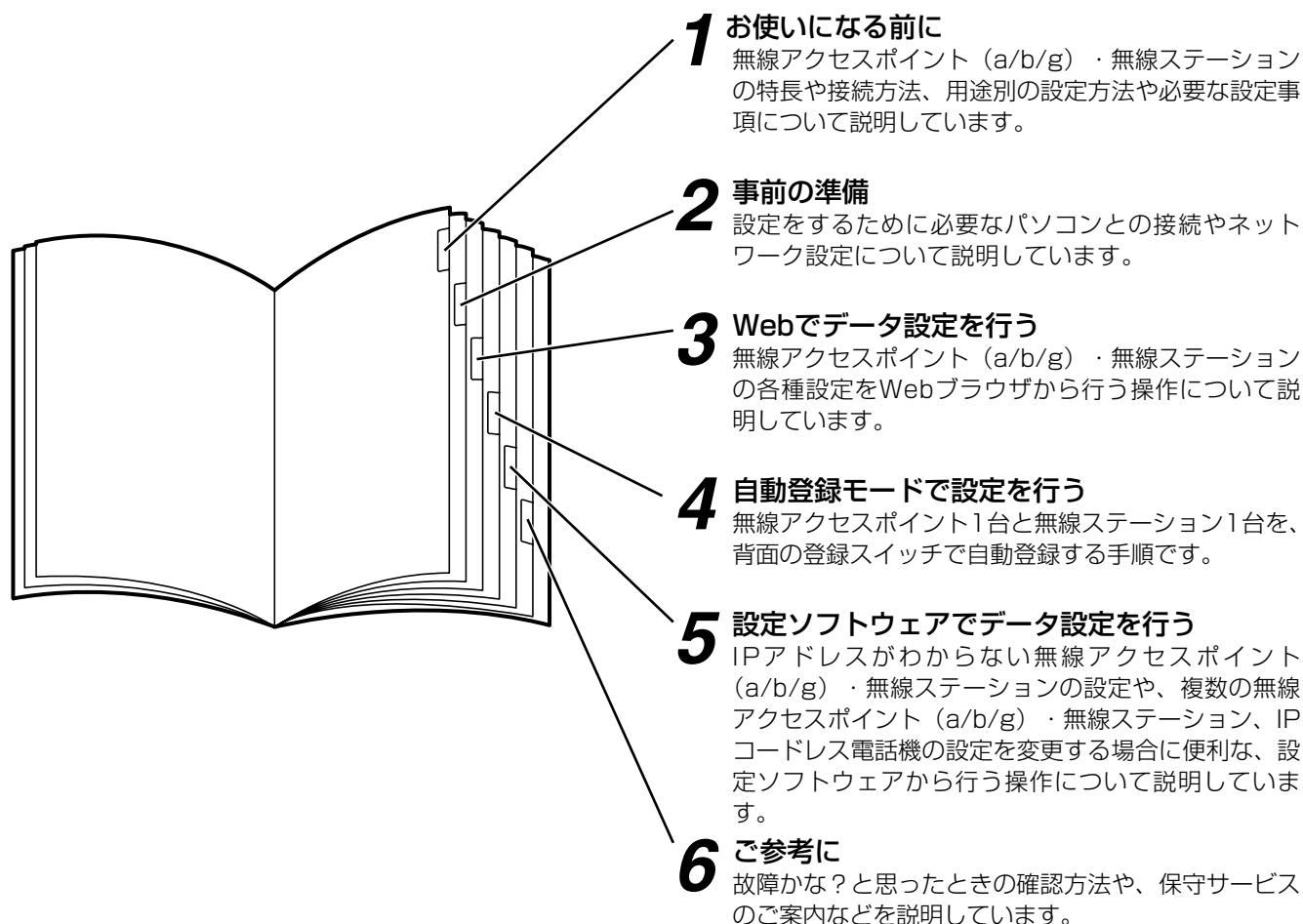
- 装置を再起動した場合は、無線ステーションに接続されているIP多機能電話機、IP端末、無線アクセスポイント (a/b/g) に接続されている無線LANカードなどからデータ通信、音声通話ができることを確認してください。データ通信、音声通話ができない場合は、できなかった機器を再起動してください。

- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションは、音声優先機能を持っていますが、本商品の設定内容、またはお客様の利用環境（設置環境、無線電波の干渉、ネットワークの混雑等）によっては、性能が十分に発揮されず、通信が途切れる場合や通信ができなくなる場合がありますので注意してください。

- 本商品をお買い求めの状態でご使用になりますと、無線通信を傍受され不正アクセスされるおそれがあります。暗号タイプ、暗号キーなどのセキュリティに関する設定を行ってご使用ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



●本書は、特に指定がない場合には、下記のような表記をしております。

- ・ Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) → 無線アクセスポイント (a/b/g)
- ・ Netcommunity SYSTEM 無線ステーション → 無線ステーション
- ・ Netcommunity SYSTEM X7000 → X7000
- ・ Netcommunity SYSTEM X7000 IP多機能電話機 → IP多機能電話機
- ・ Netcommunity SYSTEM αGX 給電HUB → 給電HUB
- ・ Netcommunity SYSTEM X7000 IPコードレス電話機 → IPコードレス電話機

この取扱説明書の見かた

操作説明ページの構成

■装置の操作説明ページ

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

The screenshot shows a page titled "IPコードレス電話機のバージョンアップを行う" (Performing IP Codeless Phone Firmware Update). The page is divided into a main content area with numbered steps (1-7) and a sidebar on the right with additional numbered steps (1-6). A "ワンポイント" (One Point) section is located at the bottom left of the main content area.

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

IPコードレス電話機のバージョンアップを行う

指定したIPコードレス電話機に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行います。

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする
設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする
設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「バージョンアップ」をクリックする
バージョンアップ画面が表示されます。

4 「ファイル参照」をクリックして、バージョンアッププログラムを選択する
プログラムファイルの拡張子は、「*.ipc」です。

5 バージョンアッププログラムのファイル名が表示されたら、「更新」をクリックする
IPコードレス電話機に、バージョンアッププログラムファイルを送信します。

6 「プログラムの更新に成功しました」と表示されたら、「OK」をクリックする
設定ソフトウェアを終了させてください。

7 IPコードレス電話機の指示にしたがって再起動する

ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、「キャンセル」をクリックします。
- IPコードレス電話機のファームウェアバージョンアップでは、プログラムファイルの拡張子「*.ipc」についてはチェックしますが、その内容についてはチェックできません。「更新」をクリックする前に、選択したプログラムファイルでバージョンアップしてよいかどうかを確認してください。
- バージョンアップを行った場合は、IPコードレス電話機の再起動に時間がかかります。

127

操作手順説明

順番に操作を説明しています。

ワンポイント／お願い／お知らせ

＜ワンポイント＞

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

＜お願い＞

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

＜お知らせ＞

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目 次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
この取扱説明書の見かた	9

1 お使いになる前に

特長	13
構成図	16
各部の名前とはたらき/付属品	18
無線アクセスポイント (a/b/g) の付属品	18
無線アクセスポイント (a/b/g) の各部の名前とはたらき	19
無線ステーションの付属品	20
無線ステーションの各部の名前とはたらき	21
接続方法	22
無線アクセスポイント (a/b/g) と X7000を接続する	22
無線ステーションとIP多機能電話機、 パソコンを接続する	24
無線ステーションと給電HUBを接続する	26
用途別の設定方法	28
Webブラウザ、自動登録モード、 設定ソフトウェアの概要	28
必要な設定事項について	29
無線アクセスポイント (a/b/g) を1台で ご利用になる場合	29
1台の無線ステーションを複数の 無線アクセスポイント (a/b/g) で ご利用になる場合 (ローミング機能)	30
セキュリティ機能の概要	32
セキュリティを強化するには	32
無線LANカードなどをご利用になる場合	33
最大通話数の設定を行う	34
最大通話数制限を利用するには	34
最大接続数の設定を行う	35
最大接続数制限を利用するには	35
ファームウェア更新 (自動) 機能を利用するには	35
無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションを増設する場合	35
設定方法について	36
DHCPを利用して、X7000に接続する場合	36
DHCPを利用して、X7000以外の 装置に接続する場合	37
固定IPアドレスを設定して利用する場合	38

2 事前の準備

パソコンの接続	39
必要な準備	39
給電HUBを経由してX7000または DHCPサーバと接続する場合	40
直接パソコンと接続する場合	41
パソコンのネットワーク設定	42
Windows® XPの設定	42

3 Webでデータ設定を行う

Webでデータ設定を行うには	45
設定方法	45
無線アクセスポイント (a/b/g) の データ設定を行う	47
設定メニュー一覧	47
基本機能を設定する	48
無線機能を設定する	50
ACL制御を設定する	54
詳細設定を設定する	57
手動でファームウェアの バージョンアップを行う	59
ファームウェア更新 (自動) を行う	61
ファームウェア更新ログを表示する	63
最大通話数ログを表示する	64
統計情報を表示する	65
設定内容一覧を表示する	67
無線ステーションのデータ設定を行う	68
設定メニュー一覧	68
基本機能を設定する	69
詳細設定を設定する	72
ファームウェアのバージョンアップを行う	74
設定内容を一覧表示する	76
統計情報を表示する	77

(次ページへ続く)

1
お使いになる前に

2
事前の準備

3
Webでデータ
設定を行う

4
自動登録モード
で設定を行う

5
設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6
ご参考に

目 次

(前ページのつづき)

4 自動登録モードで設定を行う

- 自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g)
に登録するには79
- IPコードレス電話機をご利用になる場合82

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

- 設定ソフトウェアでデータ設定を行うには85
 - 動作環境85
- 無線アクセスポイントの設定について86
- 無線ステーションの設定について87
- IPコードレス電話機の設定について88
- インストール方法89
- IPアドレスを設定する91
- 設定画面を起動する94
- 暗号タイプ、暗号キーを更新する96
- 設定データを保存する99
- 保存した設定データを反映する101
- ファームウェアのバージョンアップを行う105
- 自動登録モードを起動する107
- ACL自動追加109
- 接続図を表示する110
- IPコードレス電話機のアドレス帳を設定する113
- IPコードレス電話機の無線関連設定を設定する116
 - アクセスポイント設定連携118
- IPコードレス電話機の詳細動作設定を設定する119
 - 着信メロディ設定121
- IPコードレス電話機のメール設定を設定する123
- IPコードレス電話機の設定内容の
保存・反映を行う125
- IPコードレス電話機のバージョンアップを行う127
- 設定ソフトウェアの環境設定を行う128

6 ご参考に

- 設定ソフトウェアのバージョンを確認する130
- 着信メロディー一覧131
- エラーコード一覧132
- 故障かな？と思ったら133
- 用語の説明137
- 索引139
- 仕様140
- 設定確認シート142
- 保守サービスのご案内144

デュアルバンド高速無線LAN対応

IEEE802.11a (5GHz帯)、IEEE802.11b/g (2.4GHz帯) それぞれの方式において最大54Mbpsの帯域（実効スループット：最大約20Mbps）を利用して、音声通話とデータ通信を同時に行えます。

さらに各バンドを同時に利用できるデュアルバンドアクセスポイントとして動作します。



多彩なセキュリティ機能

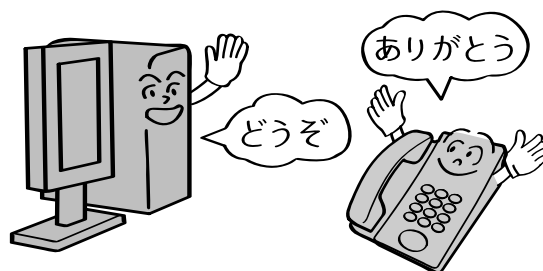
多彩なセキュリティ機能を搭載しています。3つの暗号化方式、WEP (64ビット、128ビット、152ビット)、AES (128ビット)、TKIP (128ビット) によって、無線区間でやり取りするデータを暗号化します。

また802.1x認証、SSID隠蔽の利用や接続する無線ステーションや無線LANカードなどを指定することにより、不正アクセスを防ぎます。



音声優先機能

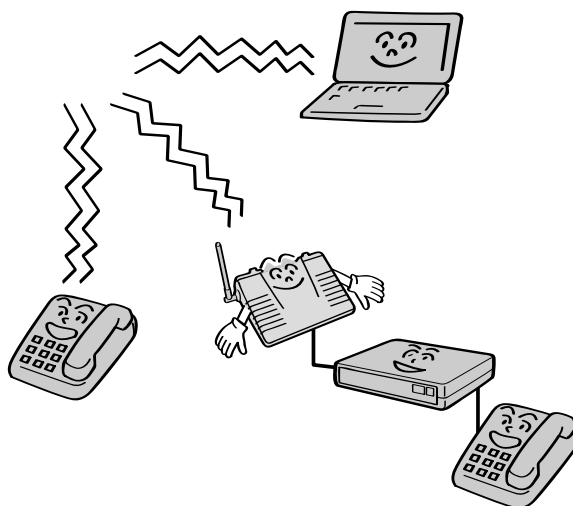
無線アクセスポイント (a/b/g) をご利用の場合、音声通話を優先する機能をご利用になれます。



用途に合わせた接続形態

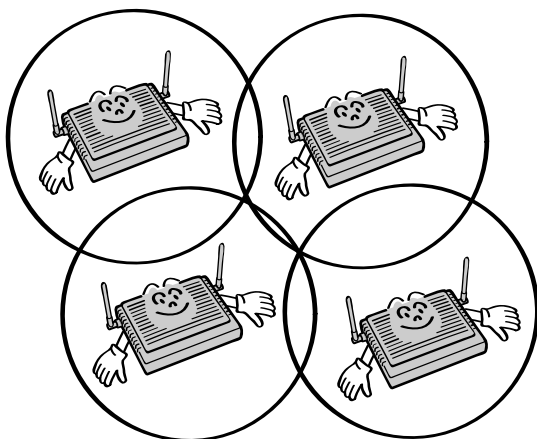
無線ステーションは、IP多機能電話機と接続することによって、無線IP多機能電話機としてご利用になれます。

また、多くのIP多機能電話機がある場所で無線で接続する場合は、給電HUBと接続することによって、無線給電HUBとしてご利用になれます。パソコンを接続する場合は、無線LANカードをご利用になることもできます。



無線エリアに最大4台の無線アクセスポイント (a/b/g) を設置可能

無線エリアを同一方式で最大4つまで設定可能です。電波が届く範囲に最大4台まで干渉しない無線LAN環境を構築することができます。(IEEE802.11gの場合は3つまで)



PoE (LANケーブルからの電源給電) に対応

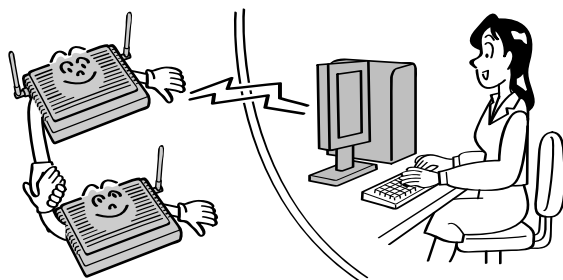
無線アクセスポイント (a/b/g) はPoE (Power over Ethernet) の受電機能を持っています。給電HUBに無線アクセスポイント (a/b/g) を接続することによって、電源アダプタが必要なくなります。

無線アクセスポイント (a/b/g) を利用したい場合は、X7000を接続した給電HUBに無線アクセスポイント (a/b/g) を接続することによって、同様に電源ケーブルが必要なくなります。



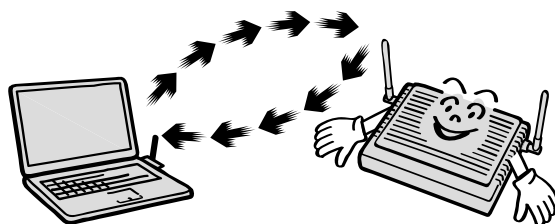
多彩な設定方法

Webブラウザを利用して無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションを設定することができます。定期的に暗号キーを設定する場合や、複数の無線アクセスポイント・無線ステーションを一度に設定する場合には、専用の設定ソフトウェアをご利用ください。



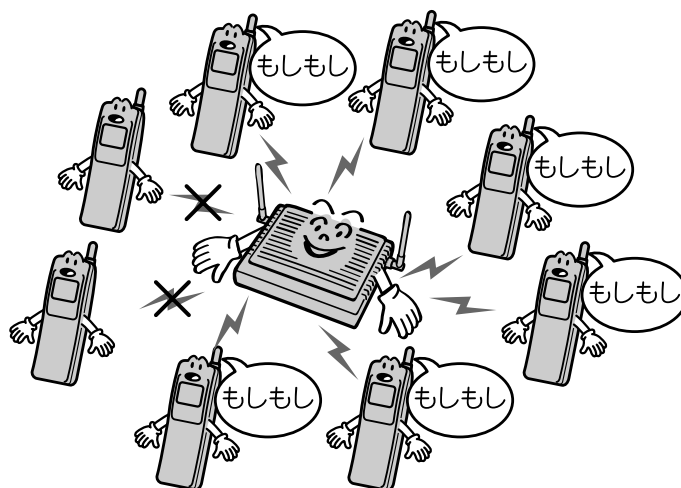
Super AG™

Super AG™は、「フレームバースティング」「無線ネットワーク最適化」「リアルタイム圧縮」によりデータを圧縮して送信し、無線LANのスループットを向上させてデータ転送を高速化します。(無線アクセスポイント (a/b/g) のみ)

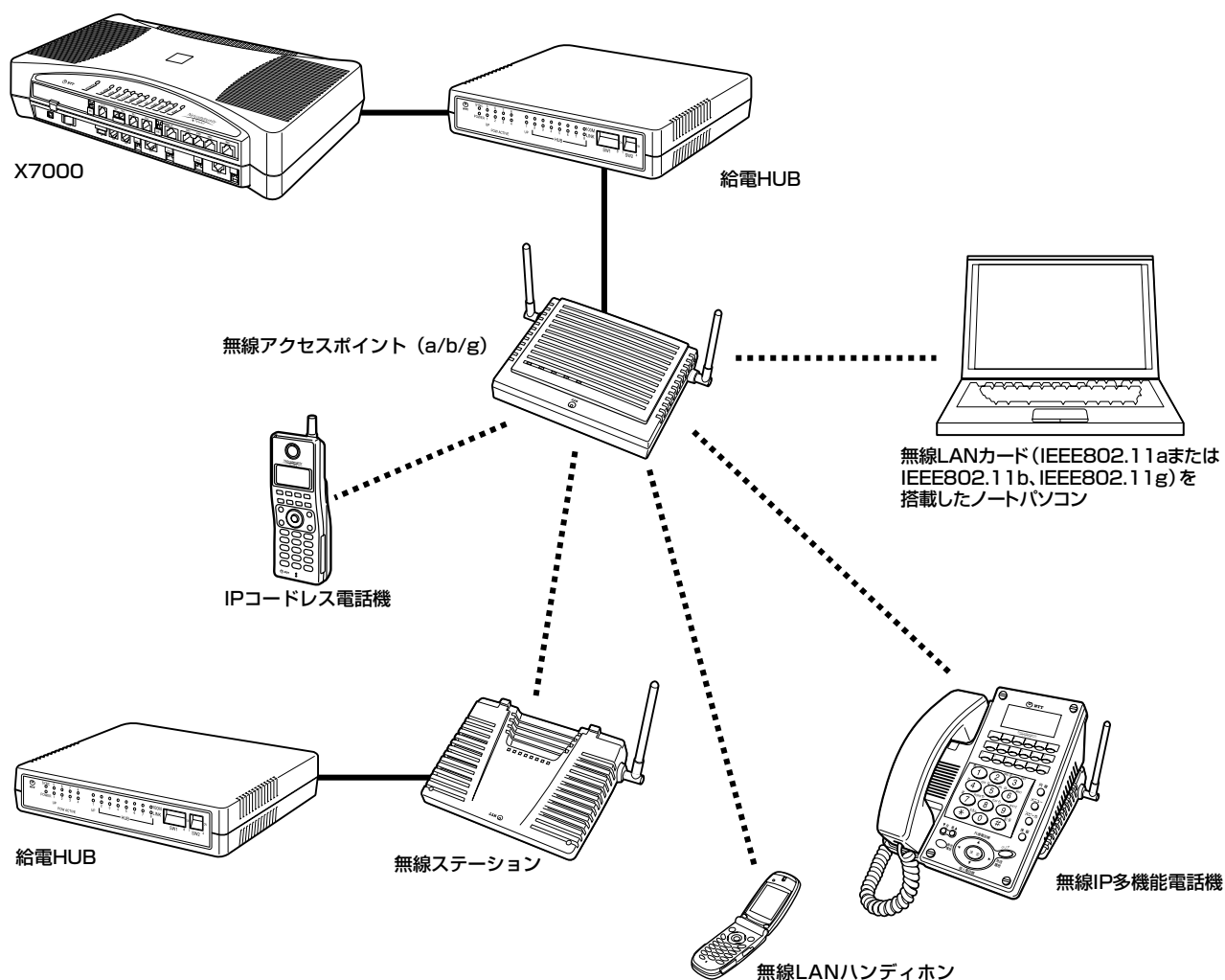


通話チャネル数制御

無線アクセスポイント (a/b/g) で通話数をカウントし、IPコードレス電話機、無線LANハンディホンの通話を設定通話本数以上の通話に対して制御することができます。



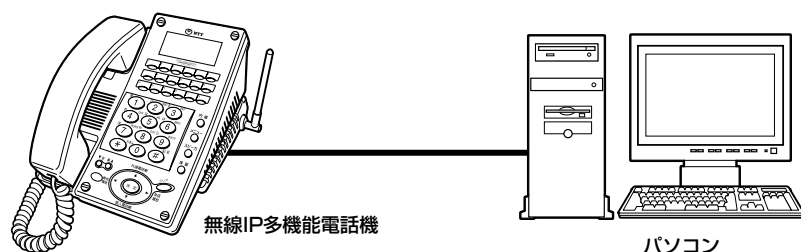
■X7000－無線アクセスポイントの接続例



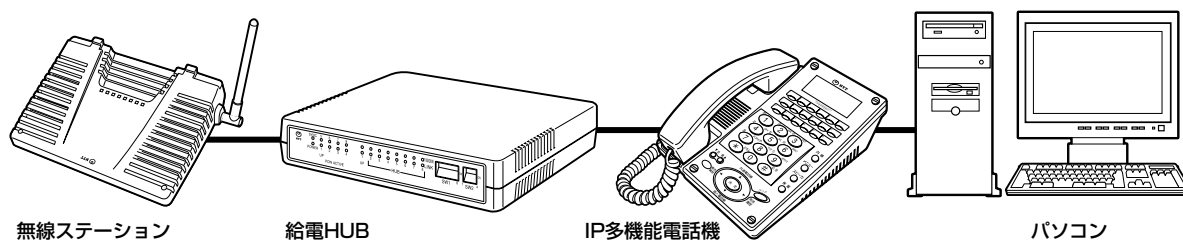
お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) は、IEEE802.11a方式、またはIEEE802.11b方式、IEEE802.11g方式いずれかの規格の無線LAN装置と接続できます。ただし、一部の無線LAN装置によっては、利用できない機能や、接続できないことがあります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) は、音声優先機能を持っていますが、本商品の設定内容、またはお客様の利用環境（設置環境、無線電波の干渉、ネットワークの混雑等）によっては、性能が十分に発揮されず、音声通話が途切れる場合や音声通話ができなくなる場合がありますのでご注意ください。
- IEEE802.11bでIPコードレス電話機、無線LANハンディホンをご利用になる場合は、IEEE802.11bでのデータ通信機器は使用しないでください。IEEE802.11bもしくはIEEE802.11gでデータ通信用途にも使用すると性能が十分に発揮されず音声通話が途切れる場合や音声通話ができなくなる場合がありますのでご注意ください。
- IEEE802.11bでIPコードレス電話機、無線LANハンディホンを使用する場合、各機器の仕様にもよりますが、通信距離は見通し約30mとなります。

■無線ステーション－IP多機能電話機－パソコンの接続例



■無線ステーション－給電HUB－IP多機能電話機の接続例

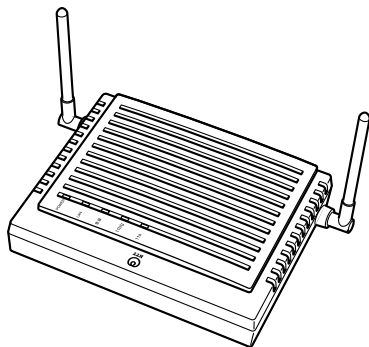


お知らせ

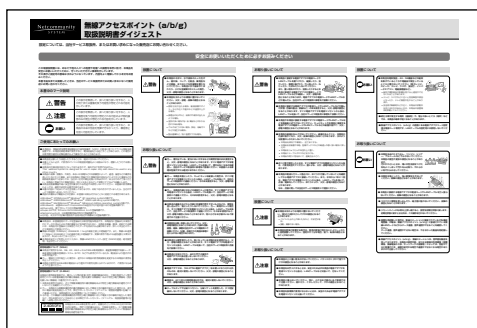
- Netcommunity SYSTEM無線ステーションは、Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント(a/b/g)、もしくはNetcommunity SYSTEM無線アクセスポイント以外の無線アクセスポイントには接続できません。
- 無線ステーションは、音声優先機能を持っていますが、本商品の設定内容、またはお客様の利用環境（設置環境、無線電波の干渉、ネットワークの混雑等）によっては、性能が十分に発揮されず、通信が途切れる場合や通信ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

各部の名前とはたらき/付属品

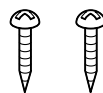
■無線アクセスポイント (a/b/g)



無線アクセスポイント (a/b/g) の付属品



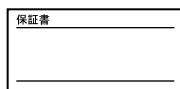
無線アクセスポイント (a/b/g)
取扱説明書ダイジェスト (1部)



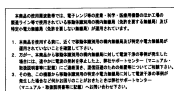
壁掛け用木ねじ (2本)



ワッシャ (2個)



保証書



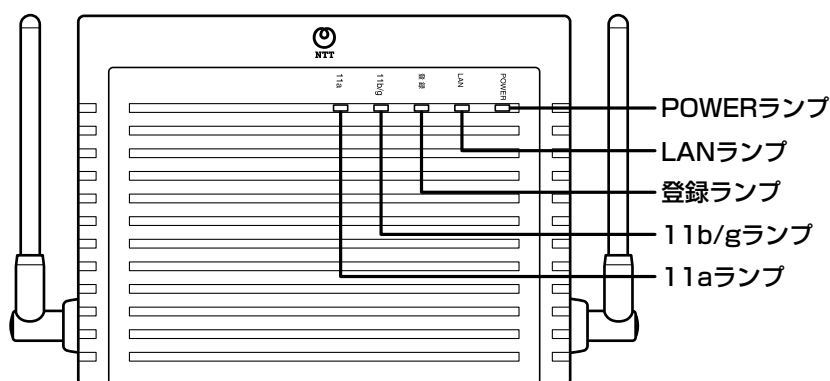
使用上の注意シール

●無線アクセスポイント (a/b/g) 付属品一覧

名称	個数	説明
無線アクセスポイント (a/b/g) 取扱説明書ダイジェスト	1	概要を説明しています。
壁掛け用木ねじ	2	壁掛け用の木ねじです。
ワッシャ	2	壁掛け用の木ねじと一緒に使用します。
保証書	1	保証書です。大切に保管してください。
使用上の注意シール	1	電波使用上の注意を記載したシールです。

無線アクセスポイント（a/b/g）の各部の名前とはたらき

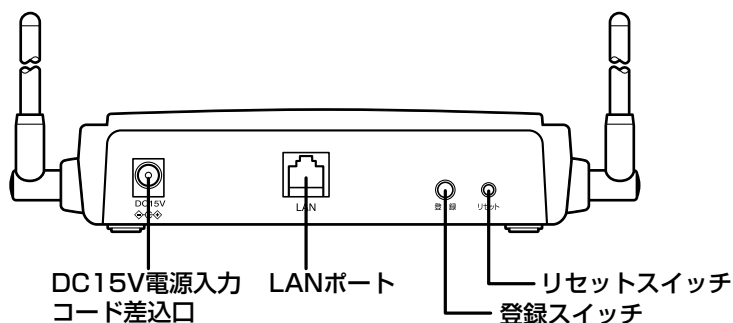
【前面】



●ランプ表示

名称	表示	状態	説明
WLANランプ	11a	無線LANの状態を表示します。	OFFまたは遅い点滅：IEEE802.11aで無線リンクできない状態 点滅：IEEE802.11a無線リンク中（点滅速度はデータ量に比例）
	11b/g		OFFまたは遅い点滅：IEEE802.11bまたはgで無線リンクできない状態 点滅：IEEE802.11bまたはg無線リンク中（点滅速度はデータ量に比例）
登録ランプ	登録	自動登録状態を表示します。	OFF：自動登録終了／通常動作中 点滅：自動登録中
LANランプ	LAN	有線LANの状態を表示します。	OFF：有線リンクできない状態 点灯：有線リンク中 データ送受信なし 100Mbps 接続時：緑点灯 10Mbps 接続時：オレンジ点灯 点滅：有線リンク中 データ送受信あり（点滅速度はデータ量に比例）
POWERランプ	POWER	無線アクセスポイントの状態を表示します。	OFF：電源オフ 点灯：正常動作中 点滅：装置起動中または無線機能が無効なとき

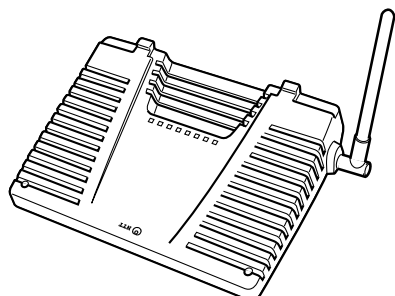
【背面】



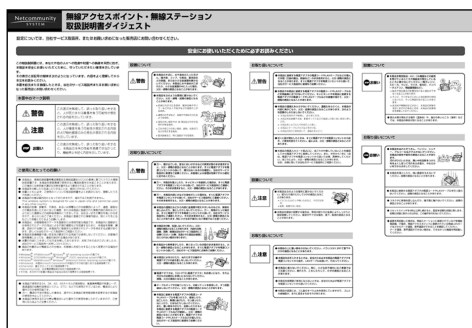
名称	表示	説明
LANポート	LAN	X7000やHUB、ルータなどのLANポートと接続します。
DC15V 電源入力コード差込口	DC 15V	GX-IPTEL電源アダプタを接続します。
登録スイッチ	登録	約2秒以上押し続けると自動登録モードになります。（通常は使用しないでください）
リセットスイッチ	リセット	装置を再起動します。約4秒以上押し続けると設定を初期状態に戻します。

各部の名前とはたらき/付属品

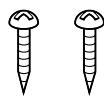
■無線ステーション



無線ステーションの付属品



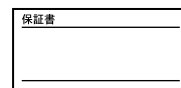
無線アクセスポイント・無線ステーション
取扱説明書ダイジェスト（1部）



壁掛け用木ねじ（2本）



ワッシャ（2個）



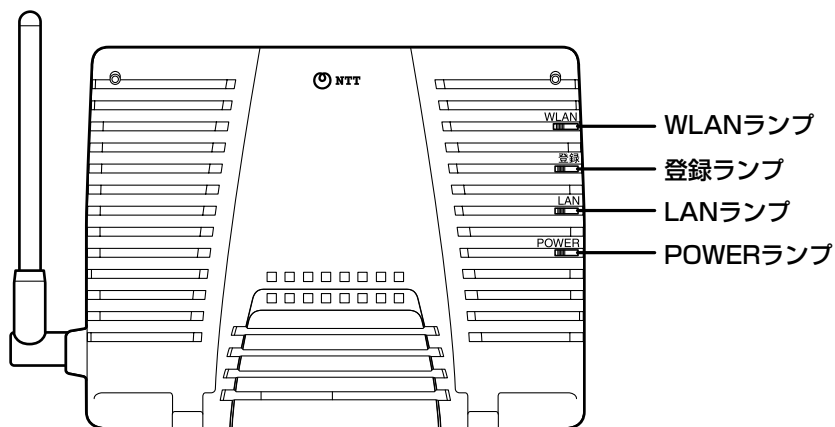
保証書

●無線ステーション付属品一覧

名称	個数	説明
無線アクセスポイント・無線ステーション取扱説明書ダイジェスト	1	概要を説明しています。
壁掛け用木ねじ	2	壁掛け用の木ねじです。
ワッシャ	2	壁掛け用の木ねじと一緒に使用します。
保証書	1	保証書です。大切に保管してください。

無線ステーションの各部の名前とはたらき

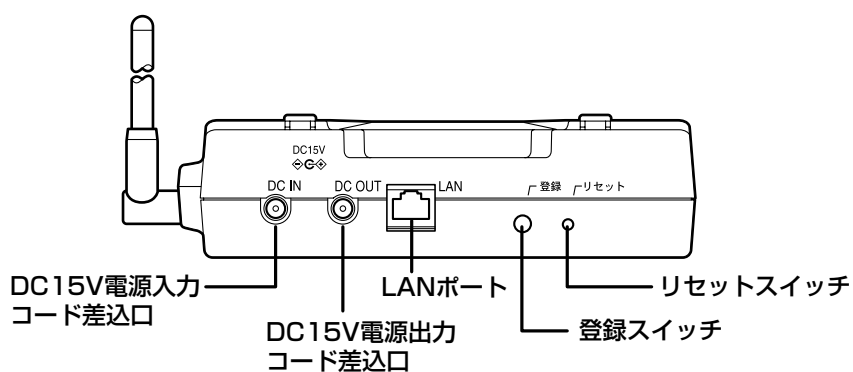
【前面】



●ランプ表示

名称	表示	状態	説明
WLANランプ	WLAN	無線LANの状態を表示します。	OFFまたは遅い点滅：IEEE802.11aで無線リンクできない状態 点滅：IEEE802.11a無線リンク中(点滅速度はデータ量に比例)
登録ランプ	登録	自動登録状態を表示します。	OFF：自動登録終了／通常動作中 点灯：自動登録失敗(10秒間) 点滅：自動登録中
LANランプ	LAN	有線LANの状態を表示します。	OFF：有線リンクできない状態 点灯：有線リンク中 データ送受信なし 100Mbps 接続時：緑点灯 10Mbps 接続時：オレンジ点灯 点滅：有線リンク中 データ送受信あり(点滅速度はデータ量に比例)
POWERランプ	POWER	無線ステーションの状態を表示します。	OFF：電源オフ 点灯：正常動作中 点滅：装置起動中

【背面】

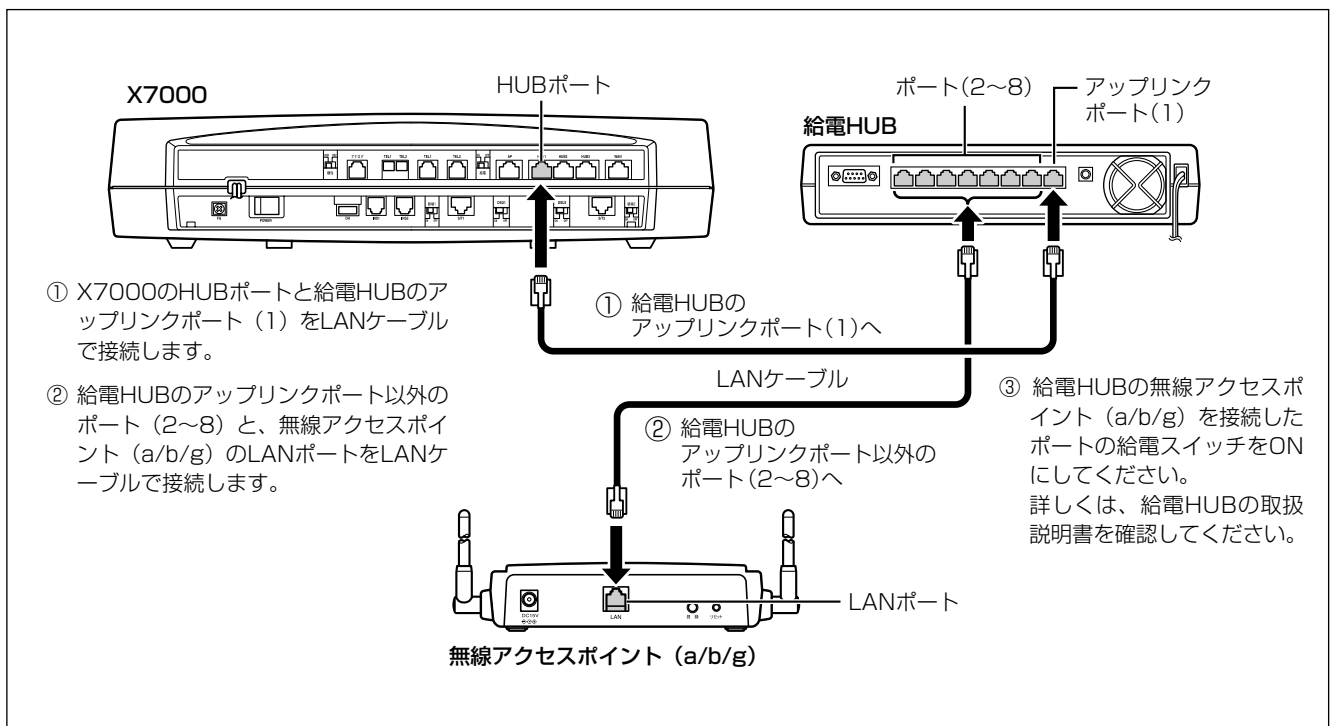


名称	表示	説明
LANポート	LAN	IP多機能電話機やHUBのLANポートと接続します。
DC15V 電源入力コード差込口	DC IN	GX-IPTEL電源アダプタを接続します。
DC15V 電源出力コード差込口	DC OUT	IP多機能電話機に電源を供給するために使用します。
登録スイッチ	登録	約2秒以上押し続けると自動登録モードになります。(通常は使用しないでください)
リセットスイッチ	リセット	装置を再起動します。約4秒以上押し続けると設定を初期状態に戻します。

無線アクセスポイント (a/b/g) とX7000を接続する

LANケーブルは、カテゴリ5以上のストレートケーブルを使用してください。

■給電HUBに無線アクセスポイント (a/b/g) を接続する





お知らせ

- X7000に接続できるのは無線アクセスポイント (a/b/g) です。無線ステーションは接続しないでください。データ通信ができなくなる場合があります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) は見通しのよい高い場所に設置してください。
- 給電HUBなどに正しく接続し、電源が供給されている場合は、POWERランプが緑色に点灯します。
- 給電HUBに接続する場合は、無線アクセスポイント (a/b/g) に電源を接続する必要はありません。通常のHUB・X7000に接続する場合は、別売のGX-IPTEL電源アダプタを接続してください。X7000の無線アクセスポイント専用接続ポートに接続する場合は、給電スイッチをOFFにしてご使用ください。
- 壁掛けにする場合は、添付の木ねじとワッシャを利用して取り付けます。木ねじは、壁面から約7mm残して先に取り付けてから無線アクセスポイント (a/b/g) を掛けます。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) を複数台設置する場合、お互いの電波が届く範囲に最大3台まで設置可能です。(2.4GHz帯で1台以上IEEE802.11bのみを使用するように設定したときのみ最大4台まで設置可能です。) ただし、1台の無線アクセスポイント(a/b/g)で、使用するバンド幅を1つに限定 (IEEE802.11aのみ、またはIEEE802.11b/gのみ) した場合は
 - ・ 最大7台 (IEEE802.11aを4台、IEEE802.11gを3台)
 - ・ 最大8台 (IEEE802.11aを4台、IEEE802.11bを4台)設置可能です。各方法で最大台数を設置している場合、無線アクセスポイント (a/b/g) のほか、IEEE802.11aの無線アクセスポイントやIEEE802.11b、またはIEEE802.11gの無線アクセスポイントなどを最大台数以上設置しないでください。
- 1台の無線アクセスポイント (a/b/g) に多数の無線ステーションや無線LANカード等を収容した場合、極端にスループットが低下したり、データ通信ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

無線ステーションとIP多機能電話機、パソコンを接続する

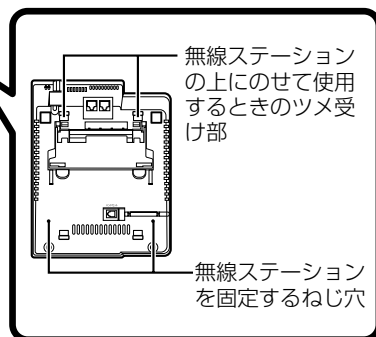
無線ステーションとIP多機能電話機との接続は、別売の無線ステーション接続セットを使用してください。

■無線ステーションとIP多機能電話機を接続する

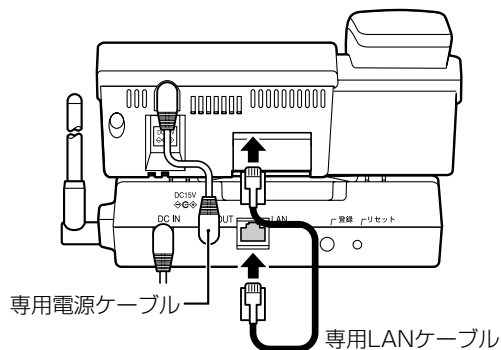
IP多機能電話機を無線ステーションの上にのせます。
IP多機能電話機底面のツメ受け部に、無線ステーションの
ツメを差し込んでください。
無線ステーション接続セットに付属のねじを使って、無線
ステーションを固定します。

IP多機能電話機

無線ステーション



- ① IP多機能電話機背面のDC-INと、無線ステーション背面のDC-OUTを専用電源ケーブルで接続します。
- ② IP多機能電話機のLANポートと無線ステーションのLANポートを、専用LANケーブルで接続します。
- ③ GX-IPTEL電源アダプタを無線ステーション背面のDC-INに接続します。



■IP多機能電話機とパソコンを接続するLANケーブルは、カテゴリ5以上のストレートケーブルを使用してください。

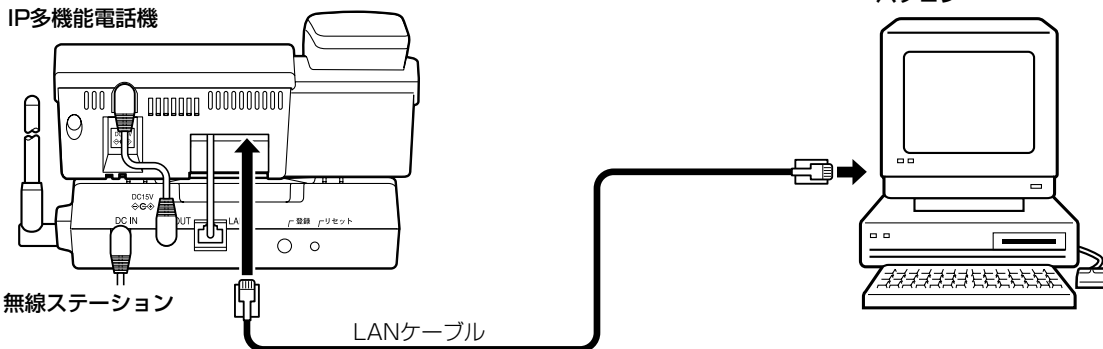
IP多機能電話機のPCポートとパソコンのLANポートを、LANケーブルで接続します。

IP多機能電話機

無線ステーション

LANケーブル

パソコン





お知らせ

- 無線ステーションは、X7000とは接続しないでください。データ通信ができなくなる場合があります。
- 無線ステーションのLANポート側に、無線アクセスポイント（a/b/g）を設置しないでください。データ通信ができなくなる場合があります。
- 無線ステーションのLANポート側には、IP多機能電話機やパソコン、HUB等のLAN機器を40台以上接続すると、通信ができなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 無線ステーションのLANポート側に、各種サーバ類を設置しないでください。データ通信ができなくなる場合があります。
- 無線ステーションとIP多機能電話機を接続した場合は、壁掛けにできません。
- 無線ステーションとIP多機能電話機を接続した場合は、しっかりと結合してください。落下などにより、事故、故障の原因になります。

無線ステーションと給電HUBを接続する

LANケーブルは、カテゴリ5以上のストレートケーブルを使用してください。

無線ステーションのLANポートと給電HUBのアップリンクポートをLANケーブルで接続します。



給電HUBのアップリンクポートの給電スイッチをONにしてください。詳しくは、給電HUBの取扱説明書を確認してください。



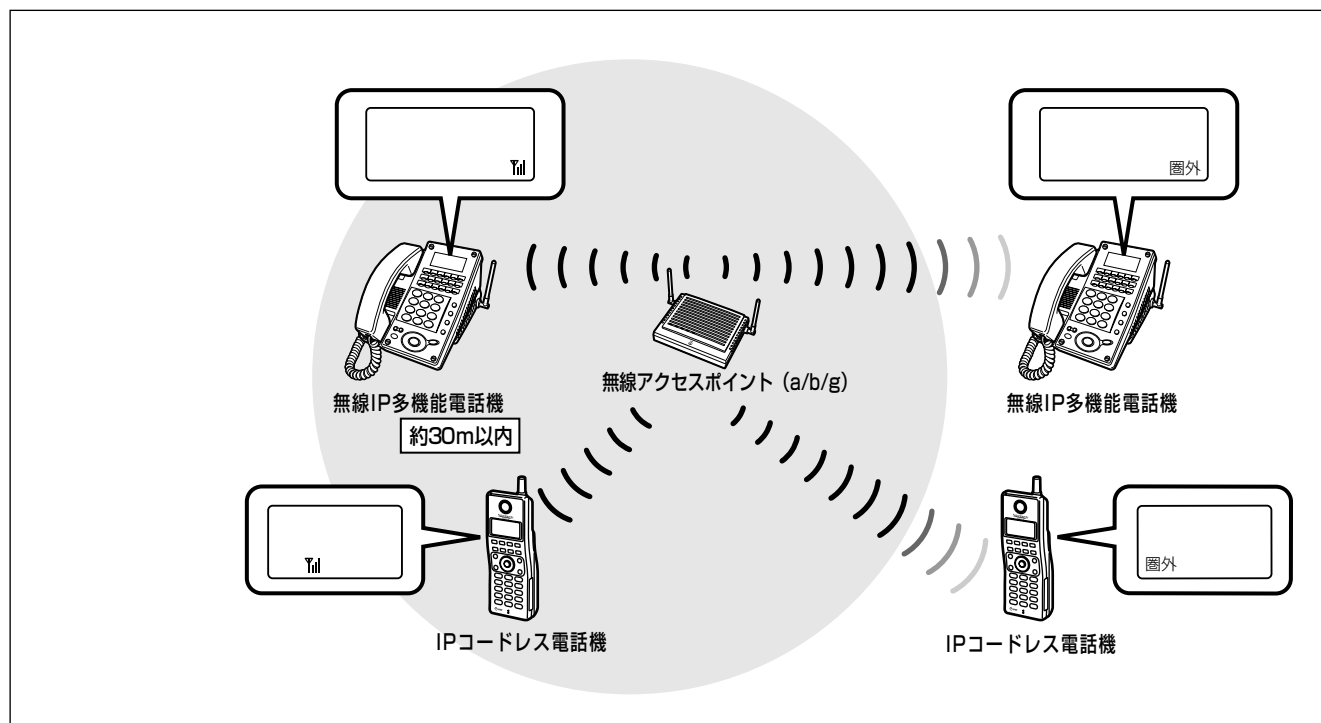
お知らせ

- 無線ステーションとパソコンを直接LANケーブルで接続する場合は、カテゴリ5以上のクロスケーブルを使用してください。
- 壁掛けにする場合は、添付の木ねじを利用して取り付けてください。木ねじは、壁面から約7mm残して先に取り付けてから無線ステーションを掛けます。
- 無線ステーションに給電HUBを接続した場合はDC OUTから電源を供給することはできません。
- 給電HUBに接続する場合は、無線ステーションに電源を接続する必要はありません。通常のHUBに接続する場合は、別売のGX-IPTEL電源アダプタを接続してください。

■電波の状態を確認する

通信範囲（電波の届く範囲）は、無線アクセスポイント（a/b/g）から見通し距離で約30m以内です。電話をかけたり受けたりできる状態になると、IPコードレス電話機、IP多機能電話機のディスプレイに無線状態のピクトグラム（ など）が表示されます。

無線アクセスポイント（a/b/g）からの電波の強さの目安を確認できます。



お知らせ

- 、 では電波が弱いため、通信ができにくくなります。 で使用することをお勧めします。

	強	→	→	→	→	弱
無線IP多機能電話機		→		→		
IPコードレス電話機		→		→		

- 圏外が表示されているときは電波がまったく届いていないため、通話や通信はできません。

圏外

- 電波状態によっては、 や  と表示されていても、IPコードレス電話機、IP多機能電話機による音声通話が途切れることがあります。
- IP多機能電話機では、電波強度を表示させないこともできます。（「詳細設定を設定する」▶P57）
- IP多機能電話機では、電波強度の表示は、無線ステーションと給電HUBを接続してご使用の場合、給電HUBに接続されたIP多機能電話機すべてに表示されます。
- X7000 IP多機能電話機以外では電波強度を表示することはできません。設定ソフトウェアで確認してください。（「IPアドレスを設定する」▶P91）

Webブラウザ、自動登録モード、設定ソフトウェアの概要

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションを設定するには、次の3つの方法があります。

■Webブラウザを利用して設定する

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションのすべての機能を1台1台Webブラウザを利用して設定することができます。

■自動登録モードを利用して設定する

1台の無線ステーション、IPコードレス電話機を、すでに設定されている無線アクセスポイント（a/b/g）に接続したい場合に、接続するために必要な最低限の設定を無線ステーション、IPコードレス電話機に反映させ、無線アクセスポイント（a/b/g）へ接続させることができます。

■設定ソフトウェアを利用して設定する

無線アクセスポイント・無線ステーション設定ソフトウェアを使用して、次のような設定操作を簡単に行うことができます。

- ①IPアドレスがわからない無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションのWeb設定画面を表示する場合
- ②固定IPアドレスを設定する場合
- ③複数の無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機の暗号タイプや暗号キーを変更する場合
- ④設定データを保存し、同じ内容を別の無線アクセスポイント（a/b/g）、もしくは無線ステーションにコピーする場合
- ⑤IPコードレス電話機を設定する場合



お知らせ

- 本装置をお買い求めの状態でご使用になりますと、無線通信を傍受され不正アクセスされるおそれがあります。暗号タイプ、暗号キーを設定するなどの変更を行ってご使用ください。（「セキュリティを強化するには」▶P32）



ワンポイント

- 無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションをお買い求めの状態では「DHCP有効」の設定になっています。固定IPアドレス環境でご利用になる場合は、まず設定ソフトウェアでIPアドレスを設定する必要があります。（「IPアドレスを設定する」▶P91）
- IPコードレス電話機の設定は、IPコードレス電話機の設定メニューを使用して設定できます。

無線アクセスポイント（a/b/g）を1台でご利用になる場合

無線アクセスポイント（a/b/g）と無線ステーション、IPコードレス電話機を接続するには、次のセキュリティ設定が必要になります。

- SSIDを一致させる（「無線機能を設定する」●P50）
- 暗号タイプおよび暗号キーを一致させる（「無線機能を設定する」●P51）
- ACL制御を使用している場合は、無線ステーション、IPコードレス電話機、無線LANカードなどを無線アクセスポイント（a/b/g）に登録する（「ACL制御を設定する」●P54）



ワンポイント

- Netcommunity SYSTEM無線ステーションは、Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント(a/b/g)、もしくはNetcommunity SYSTEM無線アクセスポイント以外の無線アクセスポイントには接続できません。
- IPコードレス電話機は、Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント（a/b/g）以外の無線アクセスポイントには接続できません。
- 1台の無線ステーションを無線アクセスポイント（a/b/g）に接続するには、自動登録モードを利用すると簡単に設定できます。（「自動登録モードで無線アクセスポイント（a/b/g）と無線ステーションを登録するには」●P79）
- IEEE802.11aで複数の無線ステーションに同じ設定をする場合は、設定ソフトウェアを利用すると簡単に設定できます。（「保存した設定データを反映する」●P101）
- セキュリティを強化する場合には、P32の「セキュリティを強化するには」をご参照ください。

1台の無線ステーションを複数の無線アクセスポイント(a/b/g)でご利用になる場合(ローミング機能)

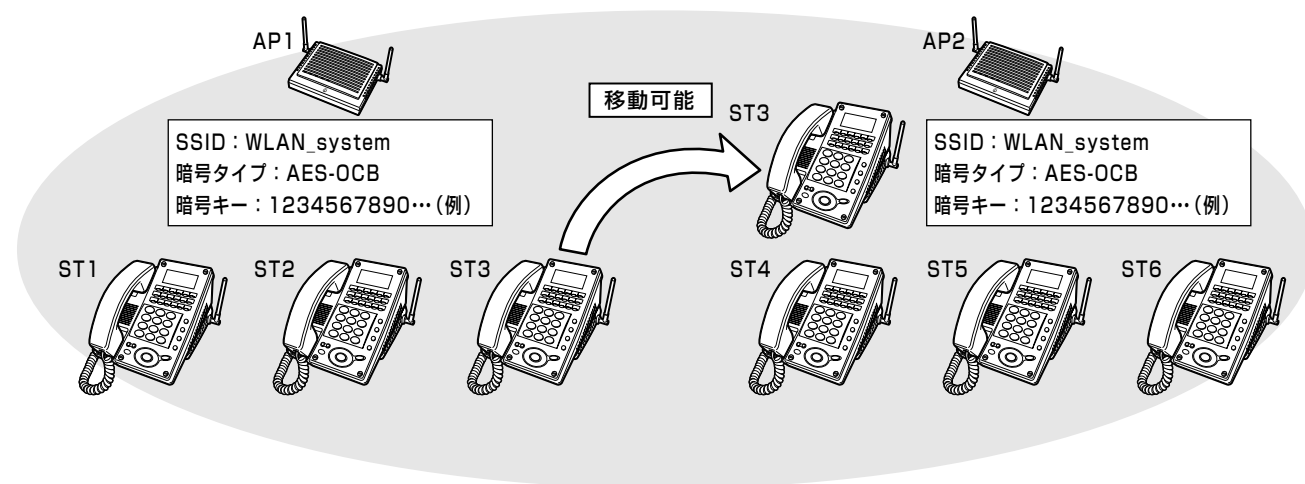
複数の無線アクセスポイント(a/b/g)がある環境でどの無線アクセスポイント(a/b/g)にも接続できるようにするには、次のセキュリティ設定を各無線アクセスポイント(a/b/g)、無線ステーションで同一にしておく必要があります。

- SSIDを一致させる(「無線機能を設定する」●P50)
- 暗号タイプおよび暗号キーを一致させる(「無線機能を設定する」●P51)
- ACL制御を使用している場合は、無線ステーション、無線LANカードなどをすべての無線アクセスポイント(a/b/g)に登録する(「ACL制御を設定する」●P54)
- 無線アクセスポイント(a/b/g)の周波数を固定で設定する(「無線機能を設定する」●P51)

■ローミング機能

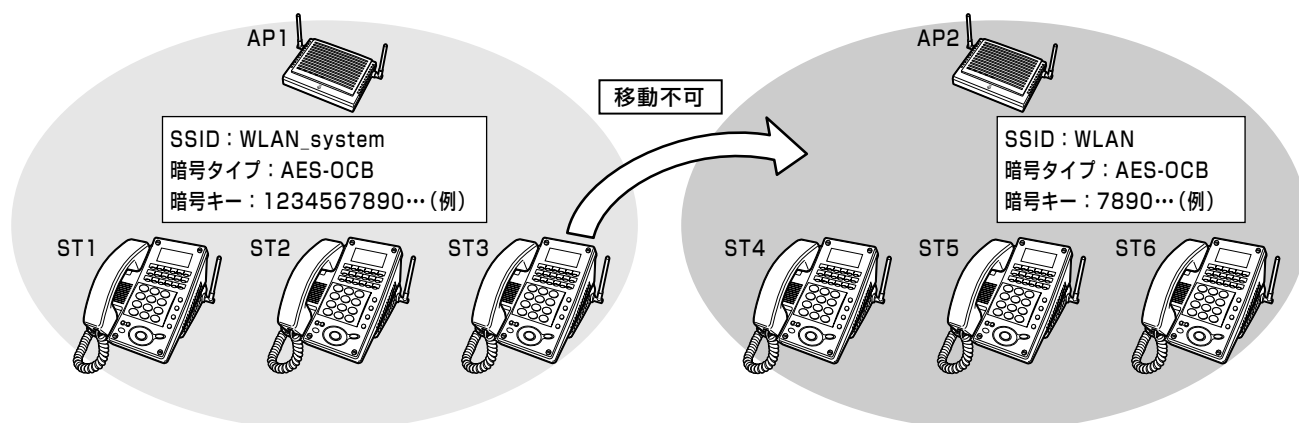
各無線アクセスポイント(a/b/g)、無線ステーションの設定を同一にしておくことで、接続している無線アクセスポイント(a/b/g)との通信が途切れたときにも、接続を切り替えて、自動的に接続可能な無線アクセスポイント(a/b/g)を検出し、利用できます。これをローミング機能といいます。

<ローミングが可能な場合の例>



複数の無線アクセスポイント (a/b/g) を使用している環境で、それぞれの無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションの設定が異なる場合には、その無線アクセスポイント (a/b/g) の電波領域外に出ると接続できません。

<ローミングができない場合の例>



ワンポイント

- IEEE802.11aで複数の無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションを設定する場合は、設定ソフトウェアを利用すると簡単に設定できます。〔「保存した設定データを反映する」➡P101〕
- セキュリティを強化する場合には、「セキュリティを強化するには」(➡P32) をご参照ください。



お知らせ

- Netcommunity SYSTEM無線ステーションは、Netcommunity SYSTEM無線アクセスポイント(a/b/g)、もしくはNetcommunity SYSTEM無線アクセスポイント以外の無線アクセスポイントには接続できません。
- それぞれ違う設定にすると、無線ステーションを、他の無線アクセスポイント (a/b/g) に接続して利用することはできません。
- ローミングして無線アクセスポイント (a/b/g) との接続を切り替えるとき、無線ステーションに接続したIP多機能電話機やパソコンは、通話やデータ通信が一時的に途切れたり切断されることがあります。また、IP多機能電話機が通話していない場合、X7000との再接続処理を実行する場合があります。

セキュリティ機能の概要

●暗号化

- WEP (64/128/152bit)
…IEEE 802.11のセキュリティシステム。送信されるパケットを暗号化して傍受者からのアクセスを防ぎます。
- AES (128bit)
…AESには、AES-OCB、AES-CCMの2種類があり、無線ステーションは、AES-OCBにのみ対応しています。
- TKIP (128bit)
…従来採用されてきたWEPの弱点を補強し、暗号キーを一定時間ごとに自動的に更新することで、セキュリティ強度を向上します。

●認証方式

- IEEE 802.1x (EAP-TLS、EAP-TTLS/CHAP、EAP-TTLS/PAP、PEAP)
…IEEE802.1xは、ネットワーク内でユーザー認証を行うための規格です。
EAP認証という認証方式を採用し、「ユーザーID・パスワード」による認証方式に対応しています。認証は認証サーバ (RADIUS) で行います。またEthernet等でアクセスコントロールを実現します。
- ACL
…ACL (アクセスコントロールリスト) は、リストに設定がある無線ステーション、無線LANカードなどからのアクセスを許可し、ほかの無線ステーション、無線LANカードなどからのアクセスを遮断できます。

●その他

- SSID隠蔽
…無線アクセスポイント (a/b/g) は、定期的にBeaconという情報を無線LAN装置に対して送出しています。その中にSSIDを入れることにより、無線LAN装置は無線アクセスポイント (a/b/g) を検索して接続しやすくなります。
SSIDを隠蔽すると、無線アクセスポイント (a/b/g) を検索できなくなりますので、意図しない侵入を防ぎます。
- 送信強度
…無線アクセスポイント (a/b/g) の無線送信出力を調節し、意図しないユーザーからのアクセスを防ぎます。

セキュリティを強化するには

セキュリティを強化させる場合には、次の項目をご覧ください。

- 暗号タイプをAESに設定する (「無線機能を設定する」 ●P51)
- ACL制御を行う (「ACL制御を設定する」 ●P54)
- 定期的に暗号キーを変更する (「暗号タイプ、暗号キーを更新する」 ●P96)
- SSIDの隠蔽を行う (「無線機能を設定する」 ●P51)
- 送信強度を調整する (「無線機能を設定する」 ●P52)



お知らせ

- セキュリティを強化していない環境で使用しますと、無線通信を傍受され不正アクセスされるおそれがありますので必ず行ってください。
- 無線LANカード等をご利用の場合には、SSIDの隠蔽を利用した場合や、暗号タイプによっては、無線アクセスポイント (a/b/g) に接続できないことがあります。無線LANカード等の取扱説明書を参照してください。
- 無線ステーションでAESをご利用になる場合は、AES-OCBに設定してください。
- IPコードレス電話機をご利用になる場合は、設定できる暗号に制約があります。詳しくは、「Netcommunity SYSTEM X7000 IPコードレス電話機 取扱説明書」を参照してください。

無線LANカードなどをご利用になる場合

無線アクセスポイント (a/b/g) に無線LANカードなどを接続するには、次のセキュリティ設定が必要になります。

- SSIDを一致させる (「無線機能を設定する」▶P50)
- 暗号タイプおよび暗号キーを一致させる (「無線機能を設定する」▶P51)
- ACL制御を使用している場合は、無線LANカードのMACアドレスを無線アクセスポイント (a/b/g) に登録する (「ACL制御を設定する」▶P54)



お知らせ

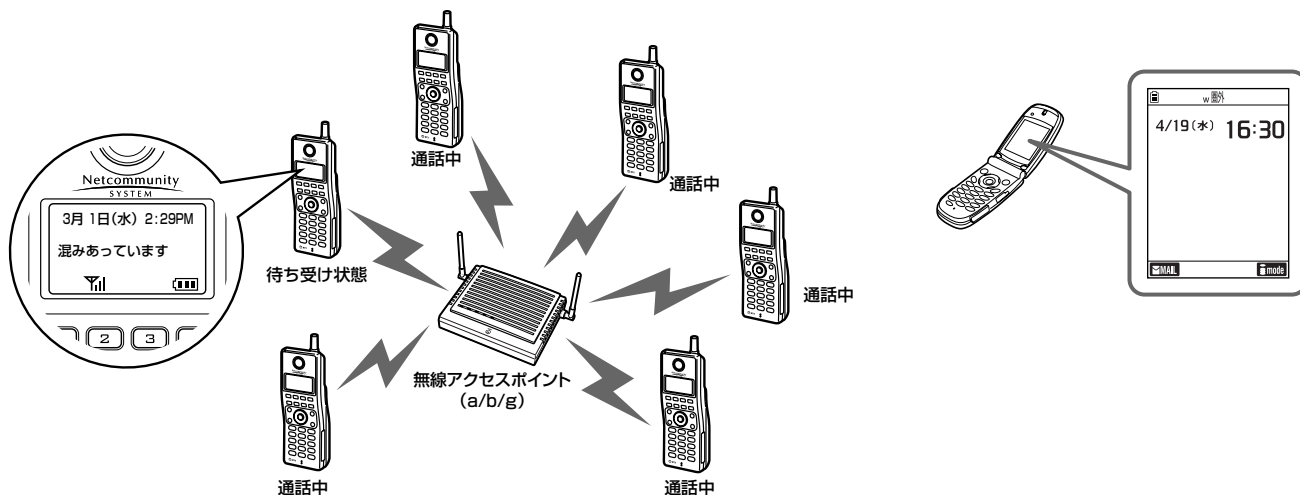
- 無線LANカードでAESをご利用になる場合は、AES-CCMをご利用ください。
- 無線LANカードの設定については、ご利用の無線LANカードの取扱説明書を参照してください。
- 無線LANカードの設定は、設定ソフトウェア、自動登録モードによる設定はご利用になれません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) でSSID隠蔽 (「無線機能を設定する」▶P51) を行っている場合には、無線LANカードの機能で無線アクセスポイント (a/b/g) を検索できないことがあります。このような場合は、SSID隠蔽をOFFにしてご利用ください。
- 暗号タイプでWEP152bitを選択した場合には、無線LANカードなどを接続できないことがあります。
- IEEE802.11aの周波数は、J52対応になっています。W52対応の無線LANカードでは接続できないことがあります。詳しくは無線LANカードの取扱説明書を参照してください。
- IEEE802.11a (J52) 周波数に接続可能なIEEE802.11a (W52) 無線LANカードを使用する場合は、無線アクセスポイントaのSSID隠蔽機能をOFFに設定してください。
- 無線LANカードの暗号キーの設定は「キー番号1*」に設定してください。それ以外のキー番号には対応していません。

*：装置によって名称が異なることがあります。無線LANカードのメーカーなどへお問い合わせください。

最大通話数の設定を行う

無線アクセスポイント (a/b/g) で通話できる本数を設定します。

IPコードレス電話機や、無線LANハンディホンを使用する場合に設定します。



ワンポイント

- 設定された最大通話数になると、通話していないIPコードレス電話機は発信、着信ができなくなります。
- 設定された最大通話数になると、通話していない無線LANハンディホンは無線アクセスポイント (a/b/g) との無線接続を切断されます。無線アクセスポイントが複数台設置されている場合は、別の無線アクセスポイントにローミングします。



お知らせ

- 内線通話中・外線通話中・外線相手保留中・内線音声呼出し中・内線グループ音声呼出し中以外に最大通話数を超えた場合は、使用できなくなります。
- IEEE802.11aでは最大通話数の機能は使用できません。
- 最大通話数を超えている状態で、通話をシステム保留すると、システム保留に再応答できない場合があります。
- 最大通話数の測定は目安です。場合によっては最大通話数を超えて通話できる場合があります。

最大通話数制限を利用するには

IPコードレス電話機や、無線LANハンディホンを使用する場合に、無線アクセスポイント (a/b/g) によりIEEE802.11b/gで通話できる本数を設定するには、次の項目をご覧ください。

- ・最大通話数を設定する (「無線機能を設定する」▶P50)

また、IPコードレス電話機で最大通話数の設定を有効にする必要があります。詳しくは、「Netcommunity SYSTEM X7000 IPコードレス電話機取扱説明書」を参照してください。

最大接続数の設定を行う

最大接続数を設定すると、無線アクセスポイント (a/b/g) に接続される無線端末の数を制限できます。最大接続数を超えた場合は、無線LAN装置は無線アクセスポイント (a/b/g) に接続できないため、使用できません。

最大接続数制限を利用するには

無線アクセスポイント (a/b/g) に接続される無線LAN装置の数を制限するには、次の項目をご覧ください。

- ・最大接続数を設定する (「無線機能を設定する」 ●P50)

ファームウェア更新 (自動) 機能を利用するには

インターネットや主装置から、最新のファームウェアを自動的にダウンロードし、自動的にバージョンアップを行なうには、下記の項目を設定します。

- ・ファームウェア更新を行なう (「ファームウェア更新 (自動)」を行う) ●P61)

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションを増設する場合

■無線アクセスポイント (a/b/g) を増設する

無線アクセスポイント (a/b/g) を増設する場合は、各用途別に合わせた設定方法でWeb設定画面を開き、必要な設定を行います。

■無線ステーションを増設する

無線ステーションを増設する場合は、「自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションを登録するには」 (●P79) で設定を行います。

※固定IPアドレスを利用して運用する場合は、「自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションを登録するには」で設定後、IPアドレスを設定する必要があります。(「IPアドレスを設定する」 ●P91)

■IPコードレス電話機を増設する

IPコードレス電話機を増設する場合は、「Netcommunity SYSTEM X7000 IPコードレス電話機 取扱説明書」を参照してください。

設定方法について

Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションの設定は、お客様のネットワーク環境にあった設定方法で行う必要があります。

DHCPを利用して、X7000に接続する場合

X7000には、X7000の設定画面に無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示する機能があります。その機能を利用することで簡単に無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示することができます。

1

設定に利用するパソコンと無線アクセスポイント (a/b/g) をX7000に接続する

接続方法については「無線アクセスポイント (a/b/g) とX7000を接続する」(●P22) を参照してください。

2

無線アクセスポイント (a/b/g) の電波が届くところで、無線ステーションの電源を入れる (無線ステーションもご利用になる場合)

3

設定に利用するパソコンを設定する

「パソコンのネットワーク設定」(●P42) を参照してください。

4

X7000の管理者画面から、設定する無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示する

Netcommunity SYSTEM X7000取扱説明書 (応用編) を参照してください。

5

設定を行う

「Webでデータ設定を行うには」(●P45) を参照してください。



お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションを設定する場合、必ずすべての無線ステーションを設定してから無線アクセスポイント (a/b/g) の設定を行ってください。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションが通信できる距離は見通し約30mです。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示できる主装置は、Netcommunity SYSTEM X7000のみです。その他の装置に接続する場合は、P37、P38を参照してください。

DHCPを利用して、X7000以外の装置に接続する場合

DHCPでIPアドレスを自動的に割り当てられた無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示する場合、設定ソフトウェアを利用すると簡単に無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示することができます。

1 設定に利用するパソコンと無線アクセスポイント (a/b/g) をDHCPサーバに接続する
接続方法については「無線アクセスポイント (a/b/g) とX7000を接続する」(●P22) を参照してください。

2 無線アクセスポイント (a/b/g) の電波が届くところで、無線ステーションの電源を入れる (無線ステーションもご利用になる場合)

3 設定に利用するパソコンを設定する
「パソコンのネットワーク設定」(●P42) を参照してください。

4 設定ソフトウェアを利用して、設定する無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのWeb設定画面を表示する
「設定画面を起動する」(●P94) を参照してください。

5 設定を行う
「Webでデータ設定を行うには」(●P45) を参照してください。



お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションを設定する場合、必ずすべての無線ステーションを設定してから無線アクセスポイント (a/b/g) の設定を行ってください。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションが通信できる距離は見通し約30mです。

固定IPアドレスを設定して利用する場合

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションをお買い求めの状態では「DHCP有効」の設定になっています。固定IPアドレス環境でご利用になられる場合は、設定ソフトウェアでIPアドレスを設定すると、設定ソフトウェアを利用してWeb設定画面を表示することができます。

1

設定に利用するパソコンと無線アクセスポイント (a/b/g) を接続する

接続方法については「無線アクセスポイント (a/b/g) とX7000を接続する」(●P22) を参照してください。

2

無線アクセスポイント (a/b/g) の電波が届くところで、無線ステーションの電源を入れる (無線ステーションもご利用になる場合)

3

設定に利用するパソコンを設定する

固定IPアドレスを利用する場合は、「パソコンのネットワーク設定」(●P42) を参照してください。

4

設定ソフトウェアを利用して、設定する無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのIPアドレスを設定する

「IPアドレスを設定する」(●P91) を参照してください。

5

Web設定画面を表示する

「設定画面を起動する」(●P94) を参照してください。

6

設定を行う

「Webでデータ設定を行うには」(●P45) を参照してください。

7

設定で利用したパソコンを無線アクセスポイント (a/b/g) から外し、無線アクセスポイント (a/b/g) を利用するネットワークに接続する



お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションを設定する場合、必ずすべての無線ステーションを設定してから無線アクセスポイント (a/b/g) の設定を行ってください。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションが通信できる距離は見通し約30mです。

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションを「3 Webでデータ設定を行う」（●P45）、「5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う」（●P85）で設定する場合、パソコンを準備し、パソコン側でネットワークの設定を行う必要があります。この設定方法は、ご使用になるOS（オペレーティング・システム）により異なります。

必要な準備

パソコン側で以下の準備が必要です。以下にWindows® XPの例を示します。

項 目	Windows® XPの場合
LANカード／ボード	パソコンに装着されていることが必要です。お使いのパソコンに適するLANカード／ボードをご用意ください。
Webブラウザ	市販品やフリーウェアなどをご用意ください。 無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションの設定を行う場合には、次のWebブラウザを推奨します。 • Microsoft® Internet Explorer 5.5（SP-2）以上 • Netscape Navigator 6以上
LANケーブル	無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションとパソコン、またはHUBを接続するときに必要です。



ワンポイント

- Windows® 2000、Macintoshの設定を行うには
対応するOSの取扱説明書を参照してください。

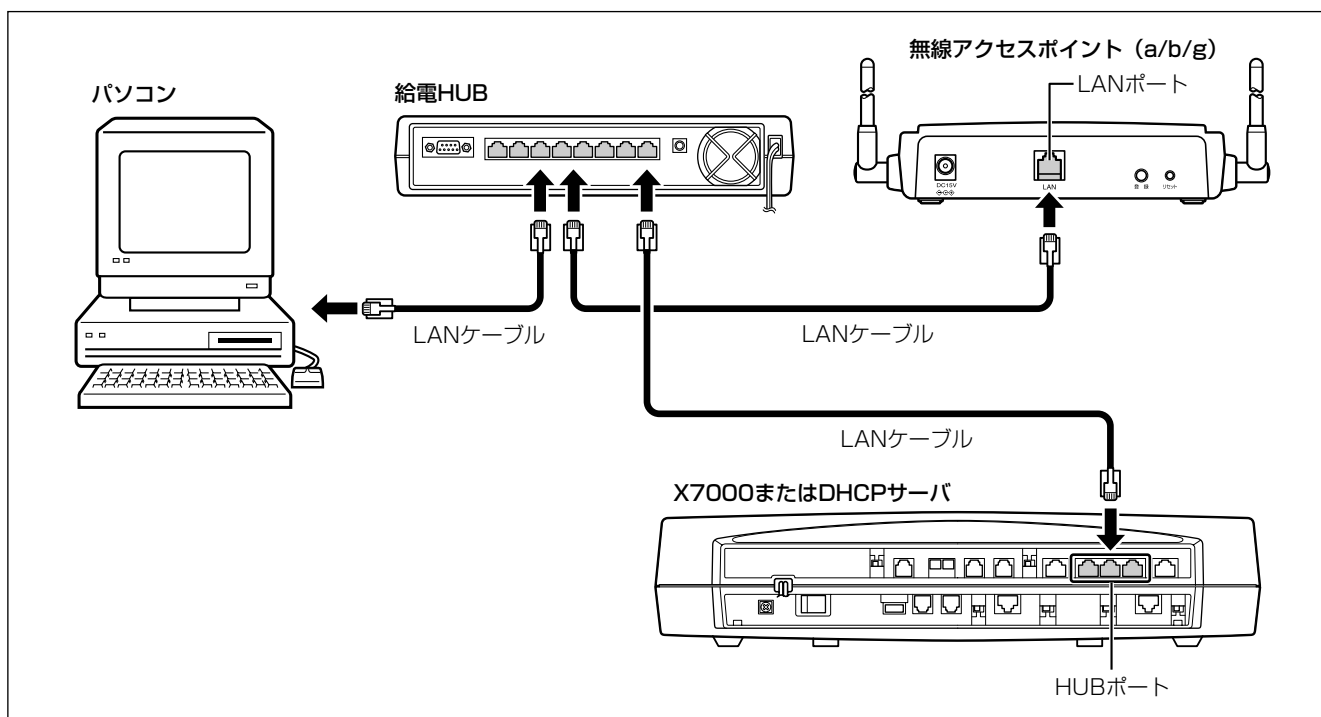


お知らせ

- ここでの説明は、一例を示しています。詳細は、ソフトウェアメーカー、パソコンメーカー、LANカード／ボードメーカー、インターネットサービスプロバイダなどにお問い合わせください。
- TCP/IPプロトコルおよびLANカード／ボードのソフトウェア（ネットワークドライバ）のインストールには、Windows® XPのCD-ROMまたは、LANカード／ボードメーカーから提供されたフロッピーディスクなどが必要になる場合があります。

給電HUBを経由してX7000またはDHCPサーバと接続する場合

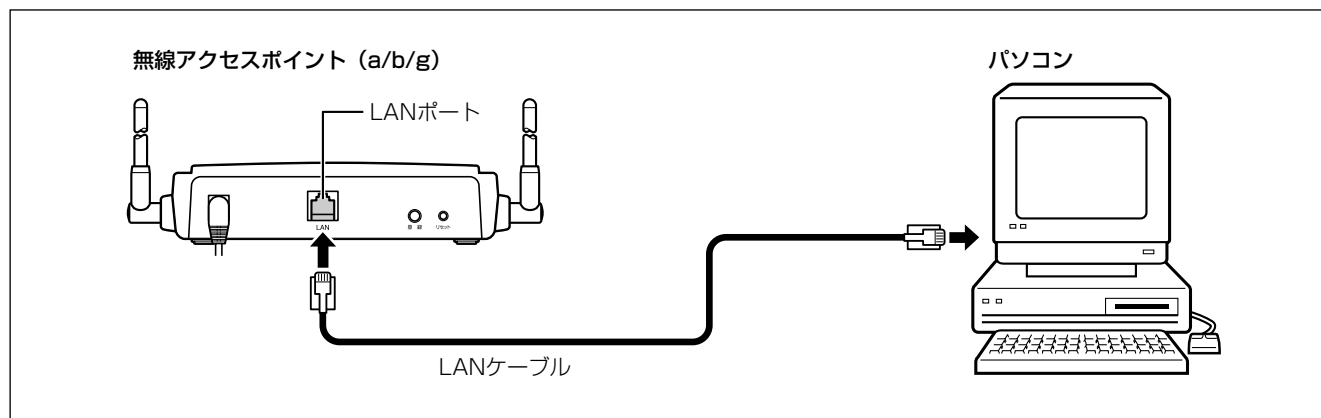
給電HUBのポートにカテゴリ5以上のLANケーブルを使用して、パソコンのLANポート、無線アクセスポイント (a/b/g) のLANポート、X7000またはDHCPサーバのLANポートを接続します。



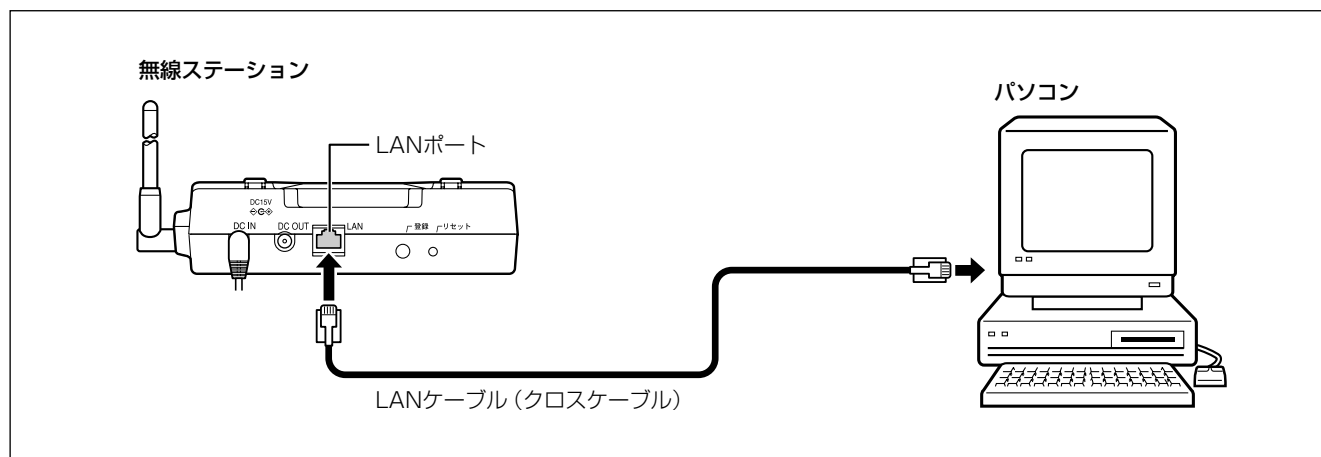
直接パソコンと接続する場合

パソコンのLANポートからカテゴリ5以上のLANケーブル（無線ステーションはクロスケーブル）を使用して、無線アクセスポイント（a/b/g）または無線ステーションのLANポートに接続します。

■無線アクセスポイント（a/b/g）とパソコンの接続



■無線ステーションとパソコンの接続



お知らせ

- ネットワークに、接続された無線アクセスポイント（a/b/g）と無線ステーションを設定する場合は、必ず無線アクセスポイント（a/b/g）のLANポート側に設定で使用するパソコンを接続してください。

Windows® XPの設定

無線アクセスポイント (a/b/g)・無線ステーションの設定を行う前に必要に応じてお使いのパソコンで次のような操作を行ってください。

パソコンを起動する

パソコンの電源を入れ、起動します。
デスクトップ画面の表示になります。

LANカード／ボードの設定を行う

すでにLANカード／ボードを使用している場合は、「TCP/IPのインストールを行う」へ進んでください。(➡P43)

1 [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする

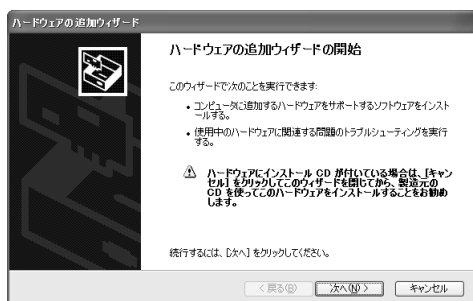
[コントロールパネル] が表示されます。

2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックする

[プリンタとその他のハードウェア] が表示されます。

3 関連項目の [ハードウェアの追加] をクリックする

[ハードウェアの追加ウィザード] の開始画面が表示されます。



4 画面に表示される指示に従って、LANアダプタ／カードの設定をする



ワンポイント

● Windows® XPの操作について

操作手順は標準設定のカテゴリを表示するコントロールパネルで説明しています。コントロールパネルをクラシック表示にしてある場合は操作が異なります。

● Windows® 2000、Macintoshの設定を行うには 対応するOSの取扱説明書を参照してください。



お知らせ

- お使いのLANカード／ボードの取扱説明書を参照し、指示に従って選択してください。

TCP/IPのインストールを行う

1 [スタート] をクリックして、[コントロールパネル] をクリックする

[コントロールパネル] が表示されます。

2 コントロールパネルの [ネットワークとインターネット接続] をクリックする

[ネットワークとインターネット接続] が表示されます。

3 [ネットワーク接続] をクリックする

[ネットワーク接続] が表示されます。

4 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

[ローカルエリア接続のプロパティ] が表示されます。

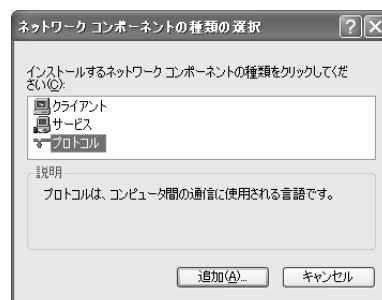


5 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] があるか確認する

[インターネットプロトコル (TCP/IP)] がある場合は「TCP/IPの設定を行う」へ進んでください。(P44)

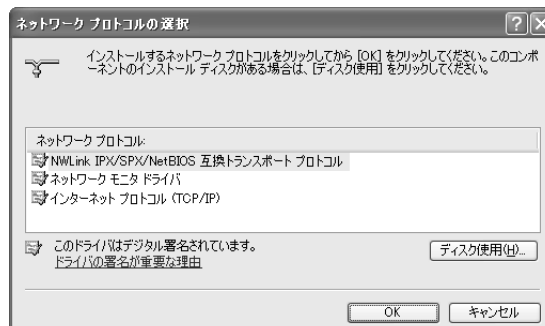
6 [インストール] をクリックする

[ネットワークコンポーネントの種類の選択] が表示されます。



7 [プロトコル] を選択し、「追加」をクリックする

[ネットワークプロトコルの選択] が表示されます。



8 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[OK] をクリックする

TCP/IPプロトコルがインストールされます。



1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ設定を行う

4 自動登録モードで設定を行う

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

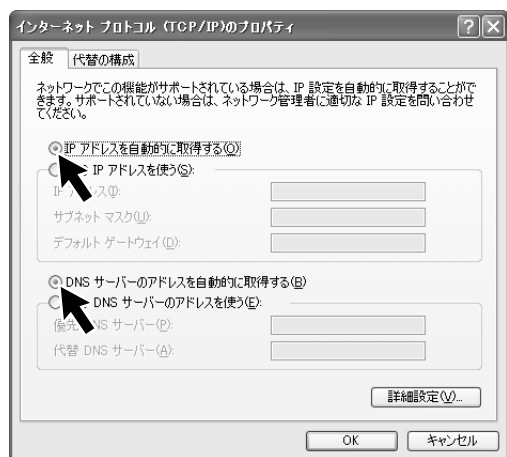
6 ご参考に

TCP/IPの設定を行う

1 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



2 DHCPサーバを運用している環境では、[IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバのアドレスを自動的に取得する] をチェックする



ワンポイント

- 固定IPアドレスで使用するには
DHCPを運用していない環境でご使用の場合は、[次のIPアドレスを使う] をチェックして、IPアドレスとサブネットマスクを設定してください。

3 [詳細設定] をクリックする

「TCP/IP詳細設定」が表示されます。



4 [IPアドレス] に [DHCP有効]、また [デフォルトゲートウェイ] は空欄になっていることを確認する

5 [OK] をクリックする

インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面に戻ります。

6 [OK] をクリックする

ローカルエリア接続のプロパティ画面に戻ります。

7 [閉じる] または [OK] をクリックする

Webでデータ設定を行うには

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションは、無線アクセスポイント (a/b/g) のLANポート側に接続したパソコンから、Webブラウザですべての設定を行うことができます。

設定方法

設定する無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのIPアドレスおよびユーザー名とパスワードが必要です。

データ設定は、ネットワーク上のパソコンからWebブラウザにより行います。日本語で表示されますので画面指示に従って各種データを設定していきます。

■パスワード入力について

Webブラウザを起動して設定を行う場合、ユーザー名/パスワード入力画面が表示されます。

ユーザー名/パスワードを入力して「パスワードを記憶する」をチェックすると、Webブラウザを終了しても有効となりますので、以降の各種設定操作においてユーザー名/パスワード入力画面は表示されなくなります。

1 Webブラウザを起動する

使用するWebブラウザは、以下のものを推奨します。

- Microsoft® Internet Explorer 5.5(SP-2)以上
- Netscape Navigator 6以上

2 Webブラウザの「アドレス」または「場所」に無線アクセスポイント (a/b/g) または無線ステーションのIPアドレスを入力し、[Enter] をクリックする

パスワード入力画面が表示されます。

3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、設定する (P46)



(画面はWindows® XPの場合の例です)

お買い求め時は、ユーザー名「admin」(半角小文字) パスワード「admin」(半角小文字) が登録されています。それぞれを入力し、[OK] をクリックします。

データ設定画面が表示されます。



お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのIPアドレスが不明な場合は、設定ソフトウェアで調べることができます。(「設定ソフトウェアでデータ設定を行うには」 P85)

1
お使いになる前に

2
事前の準備

3
Webでデータ
設定を行う

4
自動登録モード
で設定を行う

5
設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6
ご参考に

Webでデータ設定を行うには

■設定方法について

- 各設定画面において設定を有効にする場合は、[設定] をクリックした後、[設定データ保存] をクリックしてください。その後 [保存開始] をクリックしないと設定した内容は有効になりません。
- [保存開始] をクリックすると、設定した装置は再起動します。再起動には約30秒間かかりますので、再起動した装置の配下に接続されているIP端末は、その間ネットワークをご利用になれません。ご注意ください。
- 入力方法は以下のとおりです。
 - パソコンからの入力はASCII文字のみですので、シフトJIS（漢字、ひらがな、カナなど）は入力しないでください。不正なデータを設定するとエラーが表示されます。
 - データ設定中に [変更せずに戻る] をクリックすると、設定を行わずに前の設定画面へ戻ることができます。
 - [削除] をクリックすると、そのデータを削除することができます。
 - [全削除] をクリックすると、そのページに設定されている項目のすべてを削除できます。
 - 削除がない設定項目（システム名など）のデータを削除する場合は、設定欄のデータをパソコンのキーボード、[Delete] キーまたは [BackSpace] キーなどでクリアし、設定を有効にしてください。
 - チェック欄をクリックするとチェックマークが付きます。もう一度クリックするとチェックマークをはずすことができます。
 - プルダウンの設定は、右側の▼矢印をクリックすると設定できるデータが表示されます。表示された設定一覧から選択してください。

■データ設定について

- 無線アクセスポイント（a/b/g）のデータ設定画面と、無線ステーションのデータ設定画面は、設定メニューが異なります。
 - 無線アクセスポイント（a/b/g）のデータ設定をする（「無線アクセスポイント（a/b/g）のデータ設定を行う」●P47～P67）
 - 無線ステーションのデータ設定をする（「無線ステーションのデータ設定を行う」●P68～P78）



お知らせ

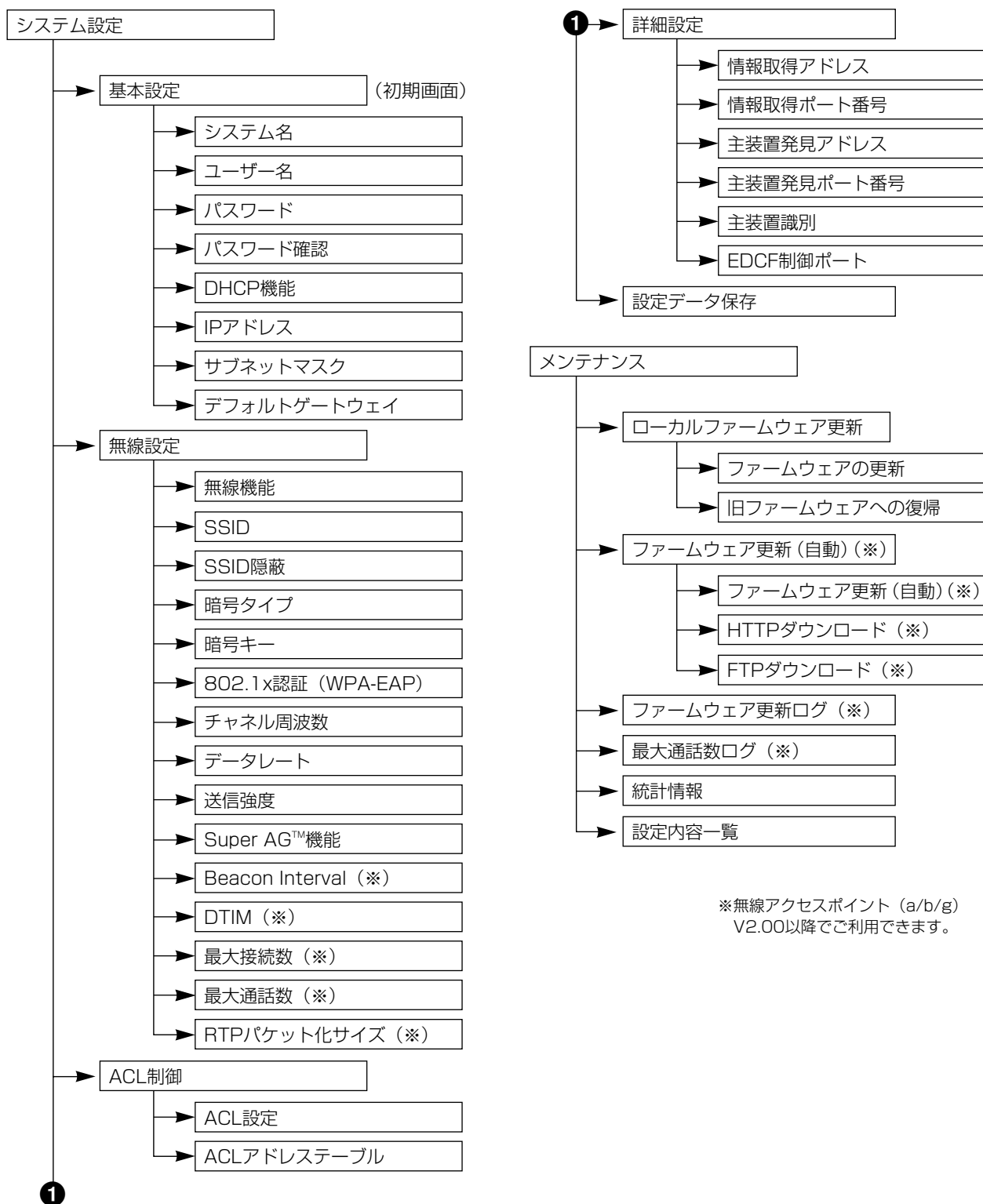
- ブラウザ画面が正しく表示されない場合などは、WebブラウザのJavaScriptの設定が有効になっているかをご確認ください。
- Webブラウザのキャッシュが有効になっていると、最新の設定データが表示されないことがあります。そのときは [更新] をクリックして表示し直してください。
- 表示される画面はWebブラウザにより多少異なります。
- 装置を再起動した場合は、無線ステーションに接続されているIP多機能電話機、IP端末、無線アクセスポイント（a/b/g）に接続されている無線LANカードなどからデータ通信、音声通話ができることを確認してください。
- ネットワークに接続された無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーションの設定を行う場合は、設定を行うすべての無線ステーションの設定が終了した後に、無線アクセスポイント（a/b/g）の設定を行ってください。
- 2台以上のパソコン、または設定ソフトウェアで同時にデータ設定を行わないでください。

無線アクセスポイント (a/b/g) の データ設定を行う

データ設定のメニューは以下のような構成になっています。

設定メニュー一覧

■無線アクセスポイント (a/b/g) のWebデータ設定メニュー



※無線アクセスポイント (a/b/g)
V2.00以降でご利用できます。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

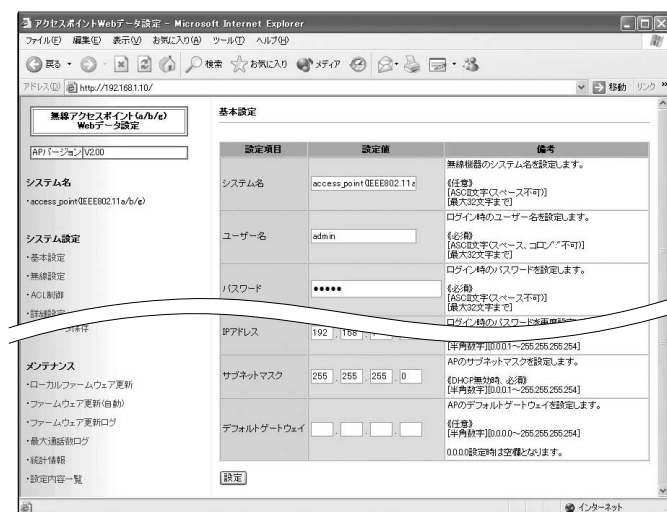
6 ご参考に

基本機能を設定する

無線アクセスポイント (a/b/g) の基本機能を設定します。(設定内容および表示は例です。)

データ設定画面で「基本設定」をクリックする

基本設定画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目を設定する

●システム設定

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
システム名	各無線アクセスポイント (a/b/g) のシステム名を設定する	《任意》 [ASCII文字 (スペース不可)] [最大32文字まで]	access_point (IEEE802.11a/b/g)
ユーザー名	ログイン時のユーザー名を設定する	《必須》 [ASCII文字 (スペース、コロン (:) 不可)] [最大32文字まで]	admin
パスワード	ログイン時のパスワードを設定する	《必須》 [ASCII文字 (スペース不可)] [最大32文字まで]	admin
パスワード確認	ログイン時のパスワードを再度設定する	《必須》 [ASCII文字 (スペース不可)] [最大32文字まで]	admin
DHCP機能	DHCP機能の有効/無効を設定し、ネットワークアドレスを自動取得する	《チェック有り：DHCP有効》 《チェック無し：DHCP無効》 DHCP有効時、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ入力不可	DHCP有効
IPアドレス	DHCPを未使用の場合に、アクセスポイントのIPアドレスを設定する	《DHCP無効時、必須》 [半角数字] [0.0.0.1～255.255.255.254]	無し

2

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
サブネットマスク	DHCPを未使用の場合に、アクセスポイントのサブネットマスクを設定する	《DHCP無効時、必須》 [半角数字] [0.0.0.1～255.255.255.254]	無し
デフォルトゲートウェイ	DHCPを未使用の場合に、アクセスポイントのデフォルトゲートウェイを設定する	《任意》 [半角数字] [0.0.0.0～255.255.255.254] 0.0.0.0設定時は空欄	無し

3

[設定] をクリックする

4

[OK] をクリックする

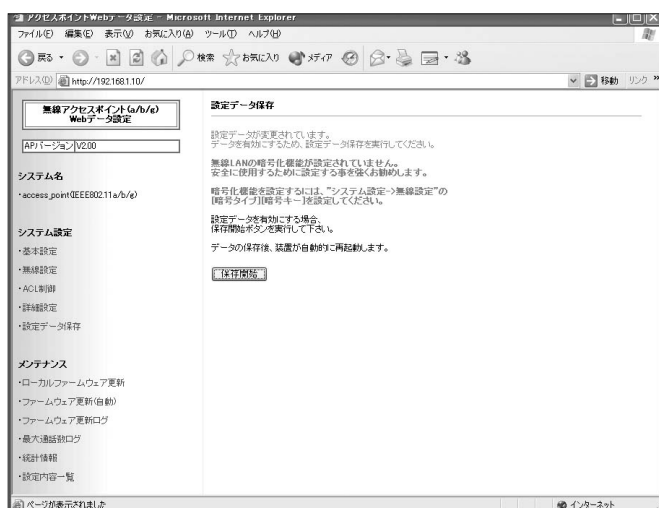
5

[設定データ保存] をクリックする

6

[保存開始] をクリックする

システム設定が保存されます。保存が終了すると装置が自動的に再起動し、設定した内容が有効になります。



ワンポイント

●ASCIIコードについて

ASCII文字で入力可能な文字は、有効コードと表示されている文字のことです。

SP	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

有効コード

無効コード

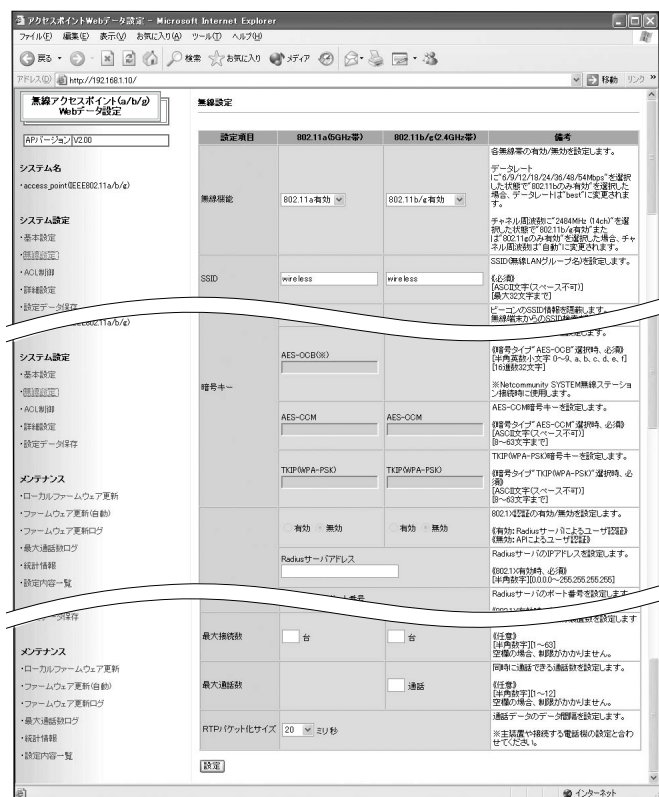
無線アクセスポイント (a/b/g) の データ設定を行う

無線機能を設定する

無線アクセスポイント (a/b/g) の無線機能を設定します。(設定内容および表示は例です。)

データ設定画面で「無線設定」をクリックする

無線設定画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目を設定する

設定項目	設定内容	入力条件		初期値
		802.11a (5GHz帯)	802.11b/g(2.4GHz帯)	
無線機能	各無線帯の有効/無効を設定する ※データレートに"6/9/12/18/24/36/48/54Mbps"を選択した状態で"802.11bのみ有効"を選択した場合、データレートは"best"に変更される ※チャンネル周波数に"2484MHz(14ch)"を選択した状態で"802.11b/g有効"または"802.11gのみ有効"を選択した場合、チャンネル周波数は"自動"に変更される	802.11a有効/無効	802.11b/g有効/ 802.11bのみ有効/ 802.11gのみ有効/ 無効	802.11a有効 802.11b/g有効
SSID	SSID(無線LANグループ名)を設定する	《必須》 [ASCII文字 (スペース不可)] [最大32文字まで]		wireless

設定項目	設定内容	入力条件		初期値
		802.11a (5GHz帯)	802.11b/g (2.4GHz帯)	
SSID隠蔽	ビーコンのSSID情報を隠蔽し、無線端末からのSSID検索を防止する	《チェック有り：SSID隠蔽有効》 《チェック無し：SSID隠蔽無効》		SSID 隠蔽有効
暗号タイプ	データ通信時の暗号タイプを設定する ※「無効」または「AES-OCB」を選択した場合、802.1x認証は「無効」に変更される	無効/WEP/AES-OCB/ AES-CCM/TKIP (WPA-PSK)		無効
暗号キー				
WEP	暗号タイプでWEPを選択時にWEP暗号キーを設定する	64bit (16進数10文字)/128bit (16進数26文字)/152bit (16進数32文字) [半角英数小文字 0~9、a、b、c、d、e、f] [64bit (16進数10文字)/128bit (16進数26文字)/152bit (16進数32文字)]		無し
AES-OCB	暗号タイプでAES-OCBを選択時に、AES-OCB暗号キーを設定する ※Netcommunity SYSTEM無線ステーション接続時に使用する	[半角英数小文字 0~9、a、b、c、d、e、f] [16進数32文字]		無し
AES-CCM	暗号タイプでAES-CCMを選択時に、AES-CCM暗号キーを設定する	[ASCII文字 (スペース不可)] [8~63文字まで]		無し
TKIP (WPA-PSK)	暗号タイプでTKIP (WPA-PSK) を選択時に、TKIP (WPA-PSK) 暗号キーを設定する	[ASCII文字 (スペース不可)] [8~63文字まで]		無し
802.1x認証 (WPA-EAP)	802.1x認証の有効/無効を設定する	《有効：Radiusサーバによるユーザ認証》 《無効：APIによるユーザ認証》		無効
Radiusサーバアドレス	802.1x有効時に、RadiusサーバのIPアドレスを設定する	[半角数字] [0.0.0.0~255.255.255.255]		無し
Radiusサーバポート番号	802.1x有効時に、Radiusサーバのポート番号を設定する	[半角数字] [1~65535]		1812
Radiusシークレット	802.1x有効時に、RadiusサーバとAP間のパスワードを設定する	[ASCII文字 (スペース不可)] [最大128文字まで]		無し
チャンネル周波数	使用するチャンネル周波数を設定する ※自動：最適な周波数を設定 ※2484MHz (14ch) は、無線機能が「802.11bのみ有効」時に選択可能	自動 /5170 (34) /5190 (38) /5210 (42) /5230 (46) MHz (ch)	自動 /2412 (1) /2417 (2) /2422 (3) /2427 (4) /2432 (5) /2437 (6) /2442 (7) /2447 (8) /2452 (9) /2457 (10) /2462 (11) /2467 (12) /2472 (13) /2484 (14) MHz (ch)	自動

(次ページへつづく)

無線アクセスポイント (a/b/g) の データ設定を行う

(前ページのつづき)

2

設定項目	設定内容	入力条件		初期値
		802.11a (5GHz帯)	802.11b/g(2.4GHz帯)	
データレート	送信するデータレート(通信速度)を設定する ※best：最適なデータレートを設定 ※6/9/12/18/24/36/48/54Mbps は、無線機能が「802.11b/g有効」 または「802.11gのみ有効」時に選 択可能	6/9/12/18/24/ 36/48/54/best Mbps	1/2/5.5/11/6/ 9/12/18/24/3 6/48/54/best Mbps	best
送信強度	無線電波の送信強度を設定し、アクセス ポイントからの通信距離を制限する	Full/Half (1/2) /Quarter (1/4) / Eighth (1/8) /Minimum		Full
Super A/G機能	Super AG™機能（データ高速化機能） を設定し、対応機器とのデータ転送を高 速化する ※非対応機器でも通信可	《チェック有り：Super AG™機能有効》 《チェック無し：Super AG™機能無効》		SuperAG™ 機能有効
Beacon Interval	Beacon送信間隔を設定する	[半角数字] [20～1000] ※通常は設定変更しないでください。		100
DTIM	DTIM (Delivery Traffic Indication Message) を設定する	[半角数字] [1～255] ※通常は設定変更しないでください。		802.11a … 1 802.11b/g … 10
最大接続数	同時に接続できる無線装置数を設定する	[半角数字] [1～63] 空欄の場合、制限がかかりません		無し
最大通話数	同時に通話できる通話数を設定する		[半角数字] [1～12] 空欄の場合、制限 がかかりません	無し
RTPパケット化 サイズ	通話データのデータ間隔を設定する	※主装置や接続する電話機の設定と合わせ てください。 20/40/60/120ミリ秒		20ミリ秒

3

【設定】 をクリックする

4

【OK】 をクリックする

5

【設定データ保存】 をクリックする

6

【保存開始】 をクリックする

システム設定が保存されます。保存が終了すると装置が自動的に再起動し、設定した内容が有効になります。



ワンポイント

●無線アクセスポイント (a/b/g) の文字入力について

- ・ASCIIコードについて

ASCII文字で入力可能な文字は、有効コードと表示されている文字のことです。

有効コード															
無効コード															
SP	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

●設定の確認について

- ・チャンネル周波数を自動と設定した場合、使用しているチャンネル周波数は設定内容一覧で確認できます。(●P67)

●IPコードレス電話機の文字入力について

- ・IPコードレス電話機のASCII文字には制限があります。

英字モード		数字モード
大文字半角	小文字半角	半角
—	—	1
ABC	abc	2
DEF	def	3
GHI	ghi	4
JKL	jkl	5
MNO	mno	6
PQRS	pqrs	7
TUV	tuv	8
WXYZ	wxyz	9
—	—	0
—	—	*
— , @ _ () * #		#
SP (スペース)		



お知らせ

- データレートとは規格値であり、実際のスループットとは異なります。
- 無線ステーション接続時にAESを使用する場合は、AES-OCBに設定します。
- 複数台の無線アクセスポイント (a/b/g) を使用する場合は、同一のチャンネルが選択されることがありますので、各無線アクセスポイント (a/b/g) のチャンネル周波数が同じにならないよう、個別に設定してください。
- 2.4GHz帯でチャンネル周波数を設定する場合、少なくとも5chの間隔をとってチャンネルを選択してください。
例 1ch、6ch、11ch、14ch (14chは、13chと2ch以上の間隔があります。)
- IEEE802.11bで14chに設定する場合は、無線機能の設定でIEEE802.11bのみを有効に設定した後で、14chに設定してください。
- IPコードレス電話機を接続するときは、最大3台まで干渉しない無線LAN環境を構築できます。
- IPコードレス電話機を使用する場合は、自動と14chは設定しないでください。
- IPコードレス電話機を使用する場合は、DTIMを10に設定してください。
- IPコードレス電話機を使用する場合は、使用する文字に制限があります。
- 「Beacon Interval」、「DTIM」、「最大接続数」、「最大通話数」、「RTPパケット化サイズ」は、V2.00以降でご利用できます。

ACL制御を設定する

ACL制御を有効に設定し、ACL制御用のMACアドレステーブルに無線ステーションの無線MACアドレスを設定することにより、無線アクセスポイント（a/b/g）に接続できる無線ステーションを制限できます。

1 データ設定画面で【ACL制御】をクリックする

ACL制御設定画面が表示されます。

2 802.11a（5GHz帯）と802.11b/g（2.4GHz帯）のACL設定のACL機能で【有効】を選択する

確認画面が表示されますので、【OK】をクリックします。



（画面はWindows® XPの場合の例です）

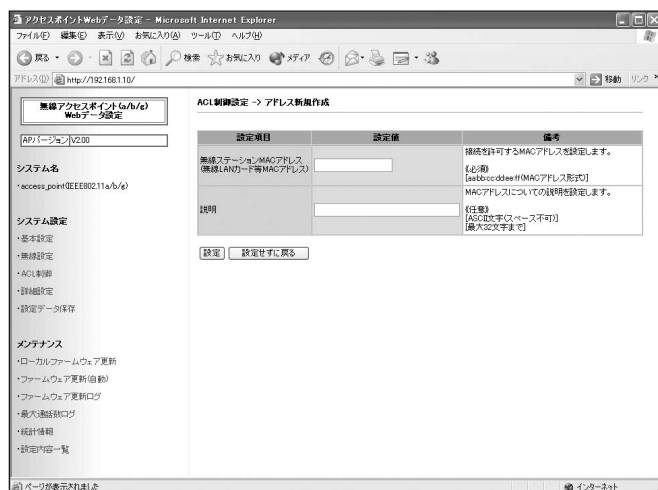
3 【設定】をクリックする

確認画面が表示されますので、【OK】をクリックします。

4 ACLアドレステーブルの【アドレス新規作成】をクリックする

アドレス新規作成画面が表示されます。

各項目を入力する



(画面はWindows® XPの場合の例です)

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
無線ステーションMACアドレス (無線LANカード等のMACアドレス)	接続を許可するMACアドレスを設定する	《必須》 [aa:bb:cc:dd:ee:ff (MACアドレス形式)]	無し
説明	MACアドレスについての説明を設定する	《任意》 [ASCII文字 (スペース不可)] [最大32文字まで]	無し

6 [設定] をクリックする

ACL制御MACアドレスが設定されます。ACL制御MACアドレスを追加設定する場合は、手順4～6を繰り返します。

7 [OK] をクリックする

8 [設定データ保存] をクリックする

9 [保存開始] をクリックする

ACL制御MACアドレスが保存されます。保存が終了すると無線アクセスポイント (a/b/g) が自動的に再起動します。

(次ページへつづく)

（前ページのつづき）

■ACL制御を削除する場合

ACL制御MACアドレスを削除する場合は、削除するACL制御MACアドレスを選択して[削除]をクリックすると、選択したACL制御MACアドレスが削除されます。すべてのACL制御MACアドレスを削除する場合は[全削除]をクリックします。

■ACL制御を変更する場合

無線ステーションMACアドレスを変更する場合は、一度削除してから再度設定し直してください。

説明を変更する場合は、ACLアドレステーブルの「No.」の数字をクリックして、変更用の画面で変更してください。



ワンポイント

- ACL制御を使用するためには、ACL設定を有効にする必要があります。ACL設定を有効にするためには、ACL設定を有効に設定したあとに「設定」をクリックしてください。
- ACL制御MACアドレスは、無線ステーションの無線MACアドレスを設定してください。
- 無線ステーションの無線MACアドレスは、無線ステーションの底面の品名紙に印字されています。



お知らせ

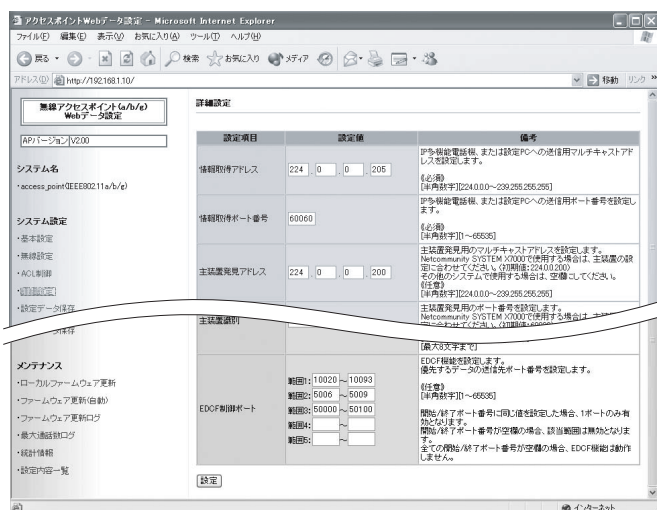
- ACL設定が無効でも、ACL制御MACアドレスの設定は行えます。
- 無線LANカードなどのMACアドレスを入力する場合は「:」を入れても入力できます。

詳細設定を設定する

無線アクセスポイント (a/b/g) の詳細設定を行います。

データ設定画面で「詳細設定」をクリックする

詳細設定画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目を設定する

●詳細設定

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
情報取得アドレス	IP多機能電話機、または設定パソコンへの送信用マルチキャストアドレスを設定する	《必須》 [半角数字] [224.0.0.0 ~ 239.255.255.255]	224.0.0.205
情報取得ポート番号	IP多機能電話機、または設定パソコンへの送信用ポート番号を設定する	《必須》 [半角数字] [1 ~ 65535]	60060
主装置発見アドレス	主装置発見用のマルチキャストアドレスを設定する X7000で使用する場合は、X7000の設定に合わせる (初期値: 224.0.0.200) その他のシステムで使用する場合は、空欄にする	《必須》 [半角数字] [224.0.0.0 ~ 239.255.255.255]	224.0.0.200
主装置発見ポート番号	主装置発見用のポート番号を設定する X7000で使用する場合は、X7000の設定に合わせる (初期値: 60030) その他のシステムで使用する場合は、空欄にする	《必須》 [半角数字] [1 ~ 65535]	60030

(次ページへつづく)

無線アクセスポイント（a/b/g）の
データ設定を行う

(前ページのつづき)

2

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
主装置識別	主装置が複数存在する場合、接続する主装置を指定する X7000で使用する場合は、X7000の設定に合わせる（初期値：＜空欄＞） その他のシステムで使用する場合は、空欄にする	《任意》 [半角英数字 a～z、A～Z、0～9] [最大8文字まで]	無し
EDCF制御ポート	EDCF機能を設定する 優先するデータの送信先ポート番号を設定する 開始/終了ポート番号に同じ値を設定した場合、1ポートのみ有効となる 開始/終了ポート番号が空欄の場合、該当範囲は無効となる 全ての開始/終了ポート番号が空欄の場合、EDCF機能は動作しない	《必須》 [半角数字] [1～65535]	範囲1：10020～10093 範囲2：5006～5009 範囲3：50000～50100 範囲4：無し 範囲5：無し

3

【設定】をクリックする

4

【OK】をクリックする

5

【設定データ保存】をクリックする

6

【保存開始】をクリックする

詳細設定が保存されます。保存が終了すると装置が自動的に再起動し、設定した内容が有効になります。



お知らせ

- 詳細設定を変更すると、無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーション、および無線ステーションに接続されるIP多機能電話機が正常に動作しなくなることがあります。ご注意ください。
- 情報取得アドレス、情報取得ポート番号を間違えて設定すると、ローミングなど無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーションが正常に動作しないことがあります。
- 電波強度表示できるのは、X7000 IP多機能電話機のみです。
- EDCF制御ポートを変更すると音声優先機能が正常に動作しないため、音声以外のデータ通信を行った場合、音声途切れる場合があります。

手動でファームウェアのバージョンアップを行う

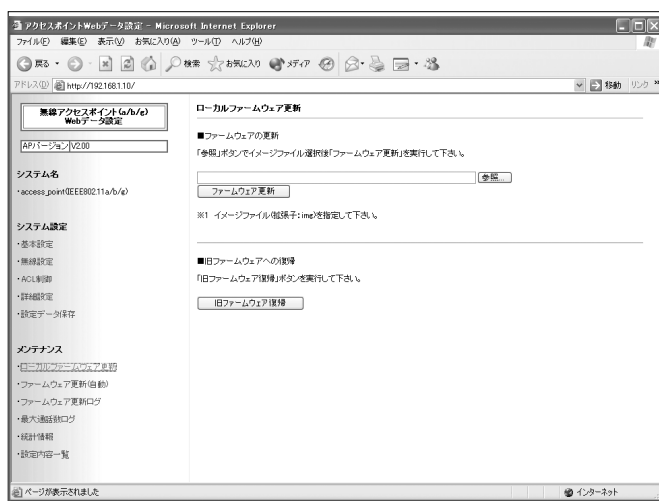
無線アクセスポイント (a/b/g) のファームウェアをバージョンアップします。詳しい手順については、ファームウェアと一緒に配布される手順書を参照してください。

ファームウェアとは無線アクセスポイント (a/b/g) を動かす各種プログラム (ソフトウェア) のことです。

■バージョンアップする場合

データ設定画面で **【ローカルファームウェア更新】** をクリックする

ファームウェア画面が表示されます。



各項目にバージョンアップするための設定内容を入力する

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
ファイル名	[参照] をクリックし、バージョンアップ用のファイルを選択する	ASCII文字 (スペース不可) イメージファイル (拡張子: img) を指定する	無し

【ファームウェア更新】 をクリックし、**【OK】** をクリックする

ファームウェアがインストールされます。

【再起動】 をクリックして、装置を再起動する

ファームウェアがバージョンアップされます。

(次ページへつづく)

（前ページのつづき）

■旧バージョンへ戻す場合

[[旧ファームウェア復帰] をクリックします。



お知らせ

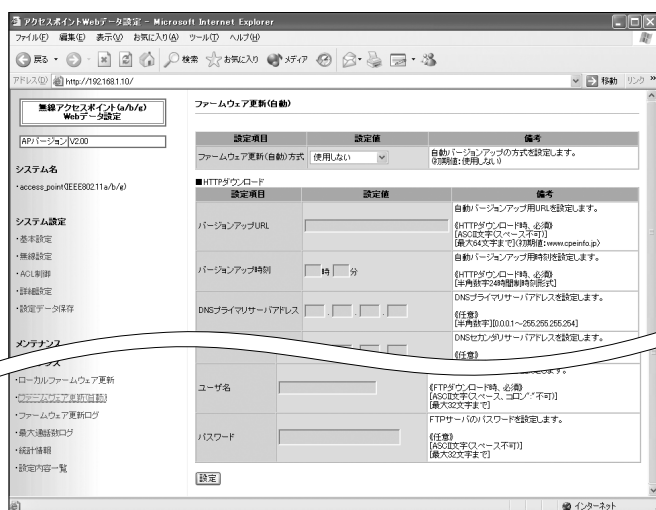
- [[旧ファームウェア復帰] が終了した後は、[[旧ファームウェア復帰] をクリックしても元のバージョンには戻りません。
- ファームウェアのバージョンアップを行っているときに無線アクセスポイント（a/b/g）のLANケーブル、電源ケーブルを抜いたり、無線ステーションの電源ケーブルを抜いたり、電波の届きにくい場所に移動したりしないでください。失敗の原因となります。
- [ファームウェア更新] をクリック後、3分以上画面が変わらなかった場合は、ファームウェアのバージョンアップに失敗しています。装置をリセットボタンで再起動してください。
- ファイル名には、ASCII文字以外の文字を使用しないでください。バージョンアップができません。
- V1.00では、データ設定画面で「ファームウェア」と表示されます。

ファームウェア更新（自動）を行う

ファームウェア更新（自動）機能とは、無線アクセスポイント（a/b/g）が定期的にインターネット上の当社サーバとの通信を行い、最新ファームウェアを確認した場合に自動的にバージョンアップする機能です。ファームウェアとは無線アクセスポイント（a/b/g）を動かす各種プログラム（ソフトウェア）のことです。

データ設定画面で【ファームウェア更新（自動）】をクリックする

ファームウェア更新（自動）の設定画面が表示されます。



（画面はWindows® XPの場合の例です）

各項目にバージョンアップするための設定内容を入力する

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
ファームウェア更新（自動）方式	ファームウェア更新（自動）方式を設定する X7000で使用する場合は、httpダウンロードを選択する	HTTPダウンロード／ FTPダウンロード／ 使用しない	使用しない

●HTTPダウンロード設定

ファームウェア更新（自動）方式でHTTP方式を選択した場合に設定します。

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
バージョンアップURL	自動バージョンアップ用URLを設定する	《HTTPダウンロード時、必須》 [ASCII文字（スペース不可）] [最大64文字まで]	www.cpeinfo.jp
バージョンアップ時刻	自動バージョンアップ用時刻を設定する	《HTTPダウンロード時、必須》 [半角数字24時間制時刻形式]	04:00
DNSプライマリサーバアドレス	DNSプライマリサーバアドレスを設定する	《任意》 [半角数字] [0.0.0.1～255.255.255.254]	無し
DNSセカンダリサーバアドレス	DNSセカンダリサーバアドレスを設定する	《任意》 [半角数字] [0.0.0.1～255.255.255.254]	無し

（次ページへつづく）

(前ページのつづき)

2

●FTPダウンロード設定

ファームウェア更新（自動）方式でFTP方式を選択した場合に設定します。

設定項目	設定内容	入力条件	初期値
FTPサーバアドレス	FTPサーバのIPアドレスを設定する	《FTPダウンロード時、必須》 [半角数字] [0.0.0.1～255.255.255.254]	無し
参照パス	FTPサーバのフォルダを設定する	《任意》 [ASCII文字（スペース不可）] [最大64文字まで]	無し
ユーザ名	FTPサーバのユーザ名を設定する	《FTPダウンロード時、必須》 [ASCII文字（スペース、コロン“:” 不可）] [最大32文字まで]	無し
パスワード	FTPサーバのパスワードを設定する	《任意》 [ASCII文字（スペース不可）] [最大32文字まで]	無し



ワンポイント

- ファームウェアをバージョンアップする際にファイルがサーバにない場合は、無線アクセスポイント（a/b/g）はバージョンアップファイルを取得できないため、ファームウェアのバージョンアップはできません。
- 自動バージョンアップは、X7000に接続された場合、指定した時間に開始します。それ以外のシステムに接続した場合、起動からの経過時間が指定した時間となったときに開始し、それ以降は24時間ごとに開始します。
- X7000はFTPダウンロードに対応していません。



お知らせ

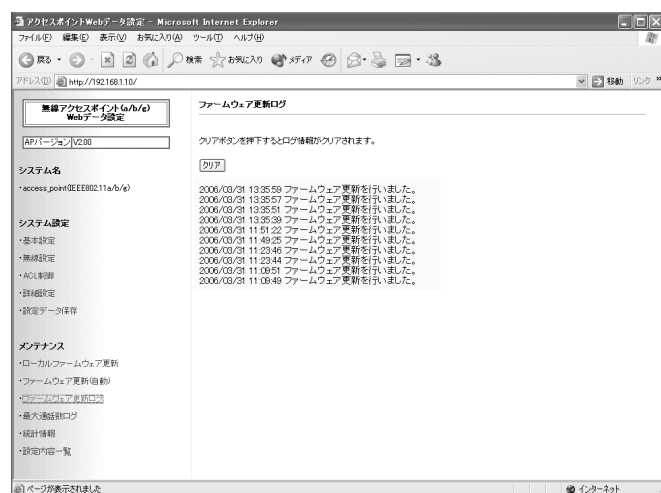
- X7000に接続したときは、ファームウェア更新（自動）方式はHTTPダウンロード方式を指定してください。
- 設定が間違っていると、正常にバージョンアップできません。
- 自動バージョンアップを行うと、装置は自動的に再起動を行います。
- バージョンアップの履歴はログ表示で確認できます。
- 「ファームウェア更新（自動）」は、V2.00以降でご利用できます。

ファームウェア更新ログを表示する

ファームウェアの更新ログを確認できます。

データ設定画面で【ファームウェア更新ログ】をクリックする

ファームウェア更新のログが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

【クリア】を押すと、ログをクリアできます。



ワンポイント

- ファームウェア更新（自動）、ローカルファームウェア更新でバージョンアップを行った場合にログに出力されます。
- 最大500行表示できます。



お知らせ

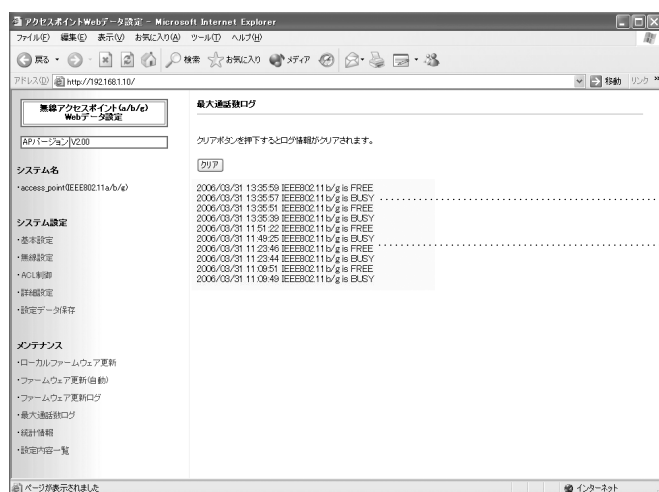
- 「ファームウェア更新ログ」は、V2.00以降でご利用できます。

最大通話数ログを表示する

最大通話数のログを確認できます。

データ設定画面で「最大通話数ログ」をクリックする

最大通話数のログが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

- ①…最大通話数 (➡P52) 設定された最大通話数になった時間
- ②…設定された最大通話数になったあと、最大通話数以下になった時間

「クリア」を押すと、ログをクリアできます。



ワンポイント

- 最大通話数を設定している場合に、最大通話数になったことを確認できます。
- X7000に接続されていない場合は、カレンダーは正常に表示されません。(0000年01月01日00時00分からの開始となります。)
- 最大通話数はIEEE802.11b/gのみ利用できます。
- 最大500行表示できます。



お知らせ

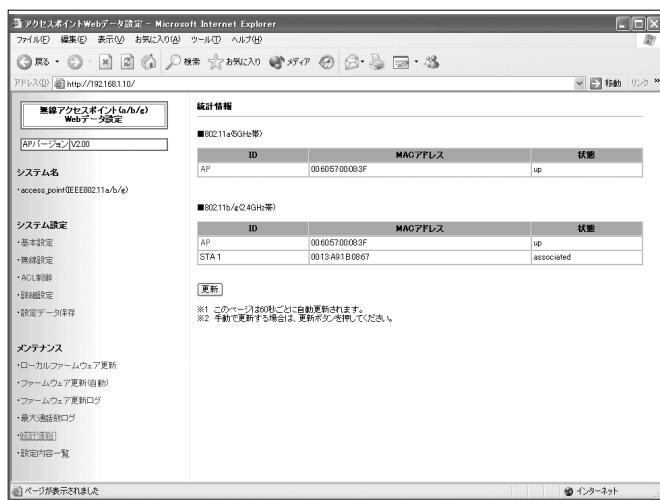
- 「最大通話数ログ」は、V2.00以降でご利用できます。

統計情報を表示する

無線アクセスポイント (a/b/g) の使用状況を表示します。

データ設定画面で【統計情報】をクリックする

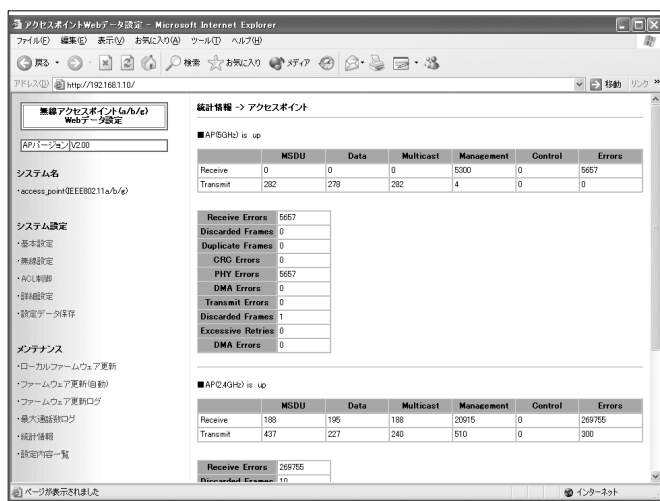
無線アクセスポイント (a/b/g) がIEEE802.11a (5GHz帯) とIEEE802.11b/g (2.4GHz帯) に分けて表示されます。



(画面はWindows[®] XPの場合の例です)

802.11a (5GHz帯) または802.11b/g (2.4GHz帯) のAPをクリックする

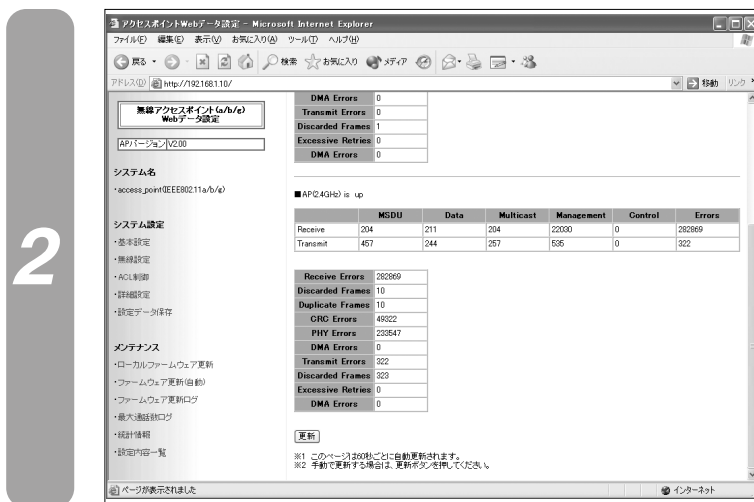
統計情報が表示されます。



<IEEE802.11a (5GHz帯)>

(次ページへつづく)

（前ページのつづき）



<IEEE802.11b/g（2.4GHz帯）>

ワンポイント

●統計情報は約60秒ごとに自動的に更新されます。[更新] をクリックすることでも更新できます。

●統計情報について

次の項目について、無線アクセスポイント（a/b/g）のWebデータを表示します。

順番	項目	意味
1	MSDU	総データ送受信数
2	Data	データパケット数
3	Multicast	マルチキャストパケット数
4	Management	マネジメントパケット数
5	Control	コントロールパケット数
6	Errors	エラー発生数
7	Receive Errors	受信エラー数
8	Discarded Frames	受信破棄フレーム数
9	Duplicate Frames	受信重複フレーム数
10	CRC Errors	受信CRCエラー数
11	PHY Errors	受信PHYエラー数
12	DMA Errors	受信DMAエラー数
13	Transmit Errors	送信エラー数
14	Discarded Frames	送信破棄フレーム数
15	Excessive Retries	送信リトライ数
16	DMA Errors	送信DMAエラー数

お知らせ

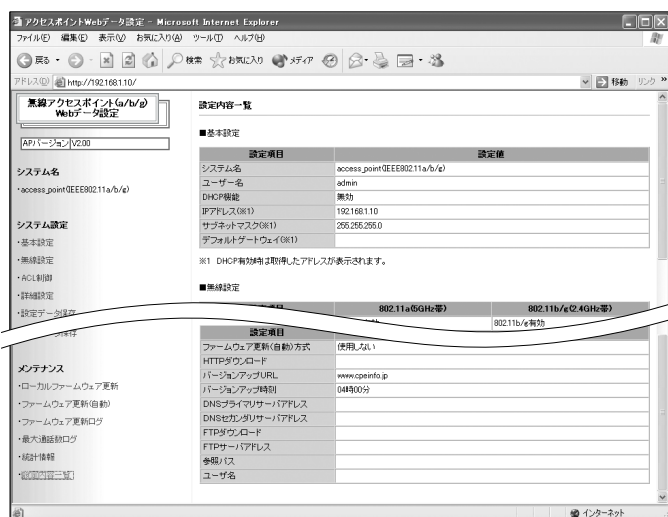
●ブラウザの更新に失敗した場合は更新されません。再度設定画面を表示してください。

設定内容一覧を表示する

基本設定、無線設定、ACL設定、詳細設定、ファームウェア更新(自動)の内容が表示されます。

データ設定画面で【設定内容一覧】をクリックする

基本設定、無線設定、ACL設定、詳細設定、ファームウェア更新（自動）設定の内容が表示されます。

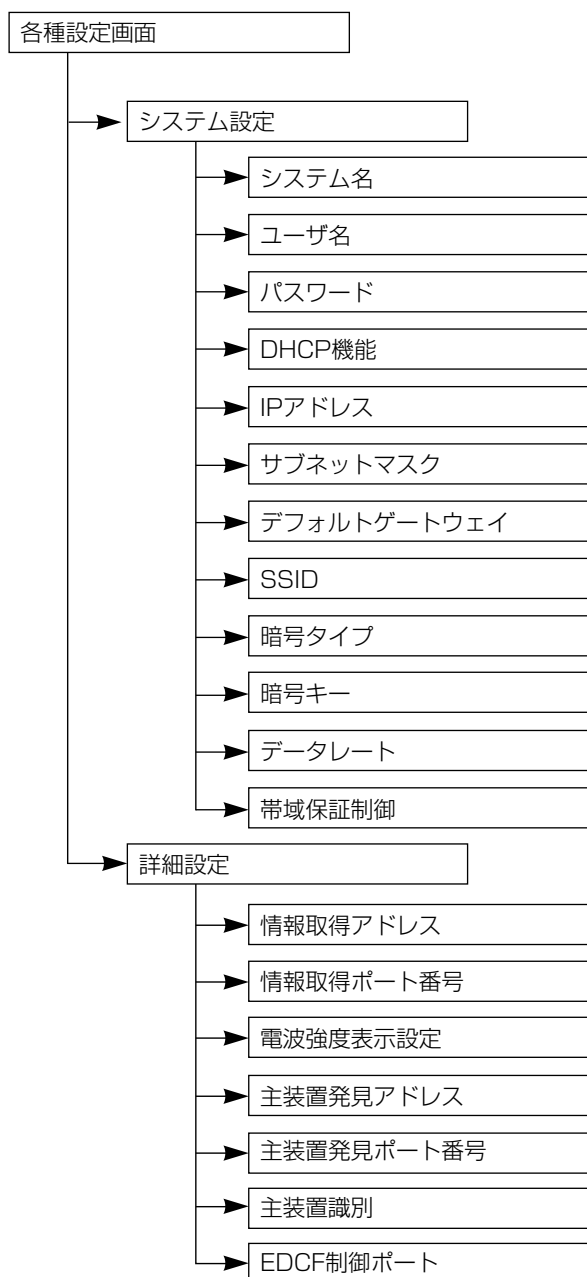


無線ステーションのデータ設定を行う

データ設定のメニューは以下のような構成になっています。

設定メニュー一覧

■無線ステーションの設定メニュー

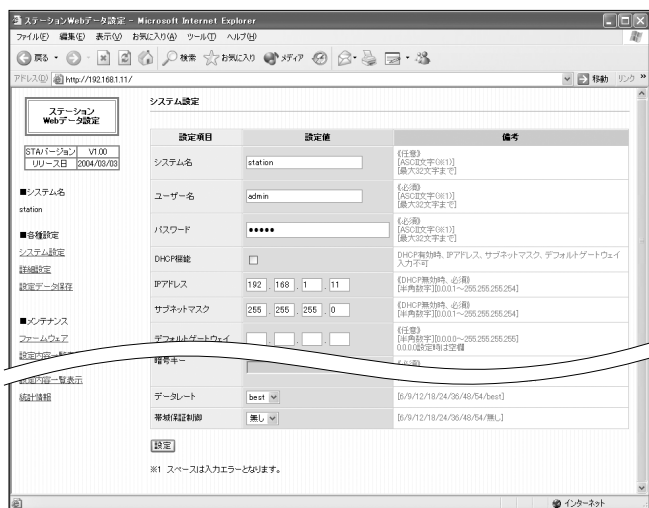


基本機能を設定する

無線ステーションの基本機能を設定します。(設定内容および表示は例です。)

データ設定画面で「システム設定」をクリックする

システム設定画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目を設定する

●システム設定

設定項目 (設定機器)	設定内容	入力条件	初期値
システム名	各無線ステーションに個別の名称を設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) <空欄可> スペース以外を入力	station
ユーザー名	Web設定に入るために個別にユーザー名を設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) <入力必須> スペース以外を入力	admin
パスワード	Web設定に入るために個別にパスワードを設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) <入力必須> スペース以外を入力	admin
DHCP機能	DHCPを利用するかどうか設定する	—	DHCP有効
IPアドレス	DHCPを未使用の場合に、IPアドレスを設定する	数字 [0.0.0.1～255.255.255.254] <DHCPにチェック無しの場合、入力必須>	無し

(次ページへつづく)

無線ステーションのデータ設定を行う

(前ページのつづき)

2

設定項目 (設定機器)	設定内容	入力条件	初期値
サブネットマスク	DHCPを未使用の場合に、サブネットマスクを設定する	数字 [0.0.0.1～255.255.255.254] <DHCPにチェック無しの場合、入力必須>	無し
デフォルトゲートウェイ	DHCPを未使用の場合に、デフォルトゲートウェイを設定する	数字 [0.0.0.0～255.255.255.255] <空欄可>	無し
SSID	無線LANのネットワークを識別するためにSSIDを設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) <入力必須> スペース以外を入力	wireless
暗号タイプ	暗号化の有無、およびタイプを設定する AES/WEK/無効	—	無効
暗号キー	暗号キーとキーの長さを設定する AES (128bit) / WEK (64/128/152bit)	半角英数小文字32文字(最大) [a,b,c,d,e,f, 0~9] <暗号タイプAES/WEKを選択の場合、入力必須>	無し
データレート	送信するデータレートを設定する best/6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps	—	best
帯域保証制御	無線の帯域を確保するためにデータレート下限を設定する データレート設定がbestのときのみ有効 無/6/9/12/18/24/36/48/54 Mbps	—	無し

3

【設定】をクリックする

4

【設定データ保存】をクリックする

設定データ保存画面が表示されます。

5

【保存開始】をクリックする

システム設定が保存されます。保存が終了すると装置が自動的に再起動し、設定した内容が有効になります。



お知らせ

- データレートとは規格値であり、実際のスループットとは異なります。
- 帯域保証制御でデータレートを確保する設定を行うと、音声通話を行っている場合、この設定以下の電波状況になると通話が途切れることがあります。
- 無線ステーションの使用できる暗号タイプは、WEPとAES-OCBのみです。
- ユーザー名には、コロン（:）を使用しないでください。



ワンポイント

●ASCIIコードについて

ASCII文字で入力可能な文字は、有効コードと表示されている文字のことです。

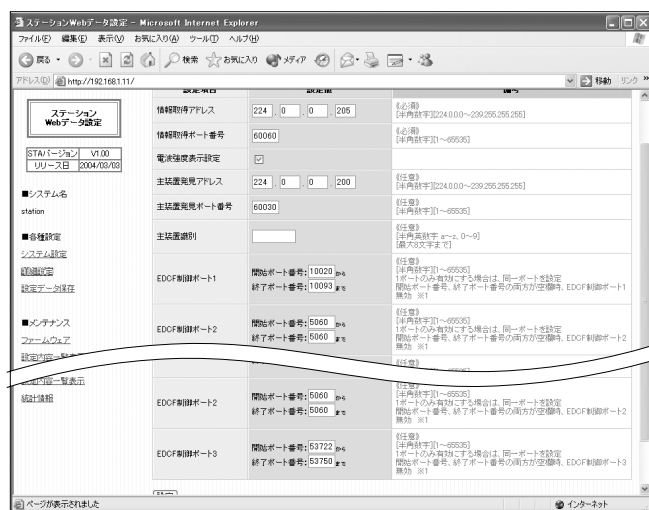
	有効コード														
	無効コード														
SP	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

詳細設定を設定する

無線ステーションの詳細設定を行います。

データ設定画面で「詳細設定」をクリックする

詳細設定画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目を設定する

●詳細設定

設定項目 (設定機器)	設定内容	入力条件	初期値
情報取得アドレス	無線装置間でシステムデータの送受信を行う、または無線ステーションに接続されたIP多機能電話機に対して電波強度表示情報の送信を行うためのマルチキャストアドレスを設定する	数字 [224.0.0.0～239.255.255.255] <入力必須>	224.0.0.205
情報取得ポート番号	無線装置間や設定ソフトウェアとシステムデータの送受信を行う、または無線ステーションに接続されたIP多機能電話機に対して電波強度表示情報の送信を行うためのマルチキャストポート番号を設定する	数字 [1～65535] <入力必須>	60060
電波強度表示設定	IP多機能電話機に電波強度表示情報を送信するかしないかを設定する	—	送信する
主装置発見アドレス	主装置発見のためのIPアドレスを設定する 設定値が違う場合、主装置の管理者画面から各無線装置のWeb画面を表示できません 空欄の場合、無効とする	数字 [224.0.0.0～239.255.255.255] <空欄可>	224.0.0.200

●詳細設定

設定項目（設定機器）	設定内容	入力条件	初期値
主装置発見ポート番号	主装置発見のためのポート番号を設定する 設定値が違う場合、主装置の管理者画面から各無線装置のWeb画面を表示できません 空欄の場合、無効とする	数字 [1～65535] <空欄可>	60030
主装置識別	接続されるシステムがX7000のとき、接続する主装置を指定する（主装置が1台の場合は、空欄でもよい）	半角英数8文字 （英数文字） <空欄可>	無し
EDCF制御ポート	音声優先制御のためのポート番号を設定できる 範囲指定／3範囲 すべて0～0に設定されると音声優先制御は無効とする	スペース以外を入力 数字 [1～65535] <空欄可>	10020～ 10093 0～0 0～0

3 [設定] をクリックする

4 [設定データ保存] をクリックする

設定データ保存画面が表示されます。

5 [保存開始] をクリックする

詳細設定が保存されます。保存が終了すると装置が自動的に再起動し、設定した内容が有効になります。



お知らせ

- 詳細設定を変更すると、無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーション、IPコードレス電話機、および無線ステーションに接続されたIP多機能電話機が正常に動作しなくなることがあります。ご注意ください。
- 情報取得アドレス、情報取得ポート番号を間違えて設定すると、ローミングなど無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションが正常に動作しないことがあります。
- 電波強度表示できるのは、X7000 IP多機能電話機のみです。
- EDCF制御ポートを変更すると音声優先機能が正常に動作しないため、音声以外のデータ通信を行った場合、音声途切れる場合があります。
- 音声優先機能を利用している場合、音声優先機能を利用していない場合に比べて、音声通話がないときもパソコンなどのデータ通信のスループットは、遅くなる場合があります。X7000で使用する場合は、EDCF制御ポートに5060～5060、53722～53750を設定してください。

ファームウェアのバージョンアップを行う

無線ステーションのファームウェアをバージョンアップします。詳しい手順については、ファームウェアと一緒に配布される手順書を参照してください。

■バージョンアップする場合

データ設定画面で【ファームウェア】をクリックする

ファームウェア画面が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

各項目にバージョンアップするための設定内容を入力する

設定項目 (設定機器)	設定内容	入力条件	初期値
FTPサーバアドレス	FTPサーバのアドレスを設定する	半角数字 [0.0.0.0～ 255.255.255.255]	無し
ユーザー名	FTPサーバのユーザー名を設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) スペース以外を入力	無し
パスワード	FTPサーバのパスワードを設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) スペース以外を入力	無し
参照先パス	FTPサーバのアップデートファイルの保存されているパスを設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) スペース以外を入力	無し
ファイル名	アップデートするファイル名を設定する	半角英数32文字 (最大) (ASCII文字) スペース以外を入力	無し

3 【更新】をクリックする

ファームウェアがインストールされます。

4 装置を再起動する

ファームウェアがバージョンアップされます。

■旧バージョンへ戻す場合

[旧ファームへの復帰] をクリックします。



お知らせ

- [旧ファームへの復帰] が終了した後は、[旧ファームへの復帰] をクリックしても元のバージョンには戻りません。
- ファームウェアのバージョンアップを行っているときに無線アクセスポイント (a/b/g) のLANケーブル、電源ケーブルを抜いたり、無線ステーションの電源ケーブルを抜いたり、電波の届きにくい場所に移動したりしないでください。失敗の原因となります。
- [更新] をクリック後、3分以上画面が変わらなかった場合は、ファームウェアのバージョンアップに失敗しています。装置をリセットボタンで再起動してください。
- FTPサーバが同一のネットワークにない場合は、デフォルトゲートウェイを設定してください。

設定内容を一覧表示する

無線ステーションの「システム設定」、「詳細設定」の内容を一覧で表示します。

データ設定画面で「設定内容一覧表示」をクリックする

設定内容一覧画面が表示されます。



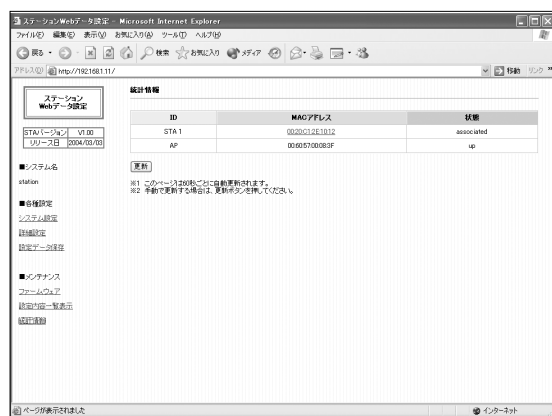
(画面はWindows® XPの場合の例です)

統計情報を表示する

無線ステーションの使用状況を表示します。

データ設定画面で【統計情報】をクリックする

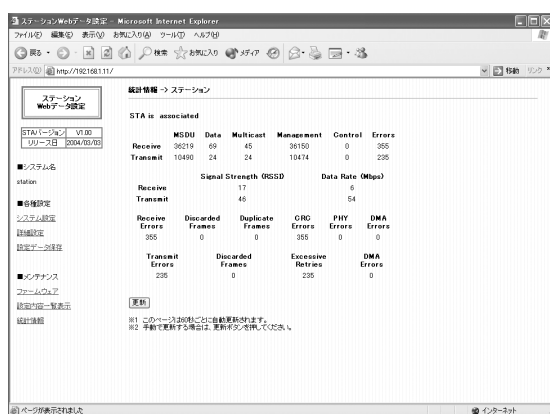
無線ステーションと無線アクセスポイント (a/b/g) が表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

確認したい無線ステーションのMACアドレスをクリックする

統計情報が表示されます。他の装置の統計情報は表示されません。



(次ページへつづく)

(前ページのつづき)



ワンポイント

●統計情報は約60秒ごとに自動的に更新されます。[更新] をクリックすることでも更新できます。

●統計情報について

無線ステーションのWebデータは、次の項目を表示します。

順番	項目	意味
1	MSDU	総データ送受信数
2	Data/Management/Control	データパケット数/マネジメントパケット数/コントロールパケット数
3	Multicast	マルチキャストパケット数
4	Errors	エラー発生数
5	Signal Strength(RSSI)	信号強度
6	Data Rate(Mbps)	データレート
7	Receive Errors	受信エラー数
8	Discarded Frames	受信破棄フレーム数
9	Duplicate Frames	受信重複フレーム数
10	CRC Errors	受信CRCエラー数
11	PHY Errors	受信PHYエラー数
12	DMA Errors	受信DMAエラー数
13	Transmit Errors	送信エラー数
14	Discarded Frames	送信破棄フレーム数
15	Excessive Retries	送信リトライ数
16	DMA Errors	送信DMAエラー数



お知らせ

●ブラウザの更新に失敗した場合は更新されません。再度設定画面を表示してください。

自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g)に登録するには

自動登録を行うことにより、無線ステーション、IPコードレス電話機のSSID、暗号タイプ、暗号キーなどを無線アクセスポイント (a/b/g) と接続できるように変更できます。無線アクセスポイント (a/b/g) 1台と無線ステーション1台、または無線アクセスポイント (a/b/g) 1台とIPコードレス電話機1台で行います。

自動登録モードで設定できる内容は、次のとおりです。

- ・無線アクセスポイント (a/b/g) のSSIDを無線ステーション、IPコードレス電話機に設定する
- ・無線アクセスポイント (a/b/g) の暗号タイプ、暗号キーを無線ステーションに設定する
- ・無線ステーションに無線アクセスポイント (a/b/g) のDHCP設定内容を設定する
- ・無線ステーションのMACアドレスを無線アクセスポイント (a/b/g) のACLアドレステーブルに追加する

1 お使いになる前に

2 事前の準備

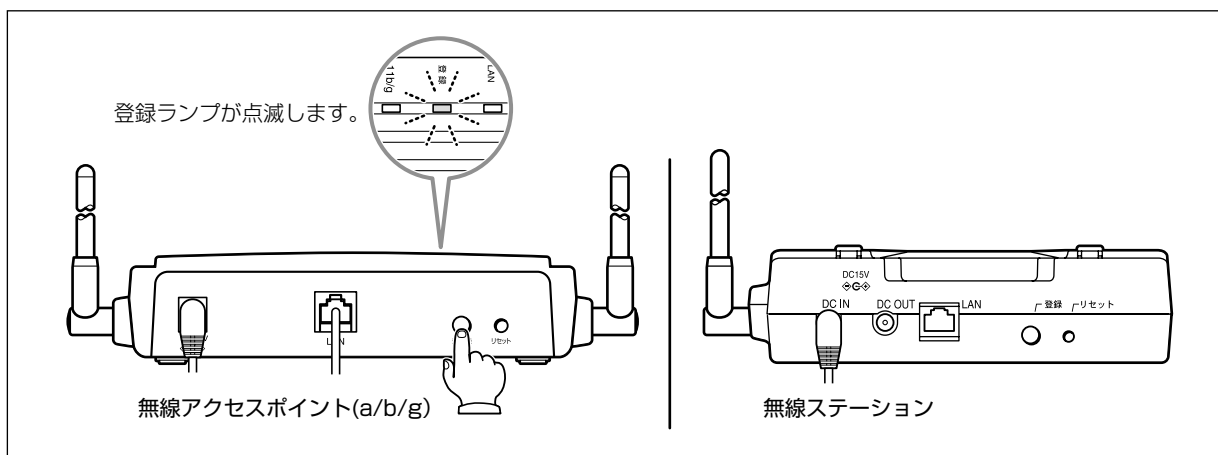
3 Webでデータ
設定を行う

4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

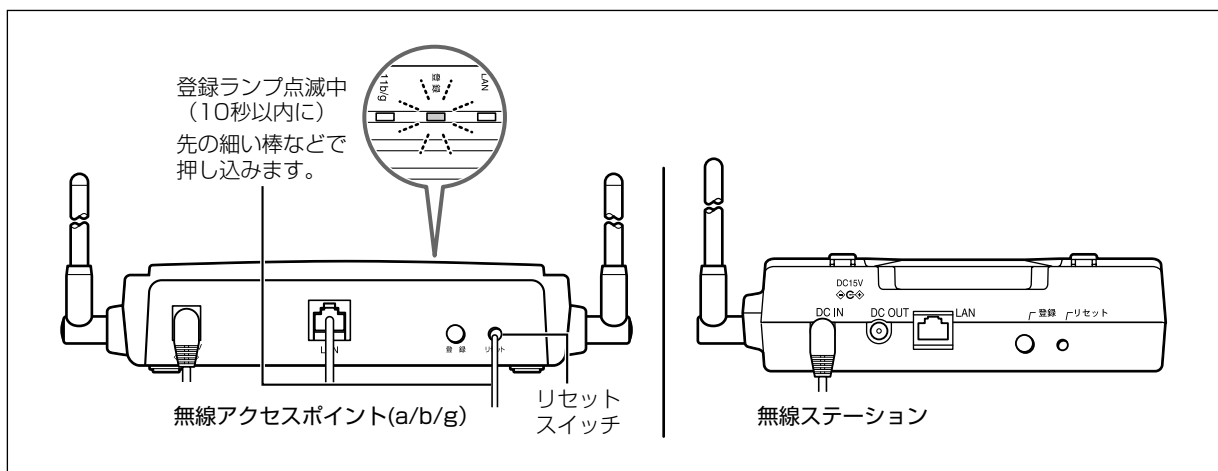
6 ご参考に

通常運用中に、無線アクセスポイント (a/b/g) 背面の登録スイッチを2秒以上押す
登録ランプが早く点滅します。



登録ランプが点滅を始めてから、10秒以内にリセットスイッチを押す

再起動後、登録ランプがゆっくり点滅します。



(次ページへつづく)

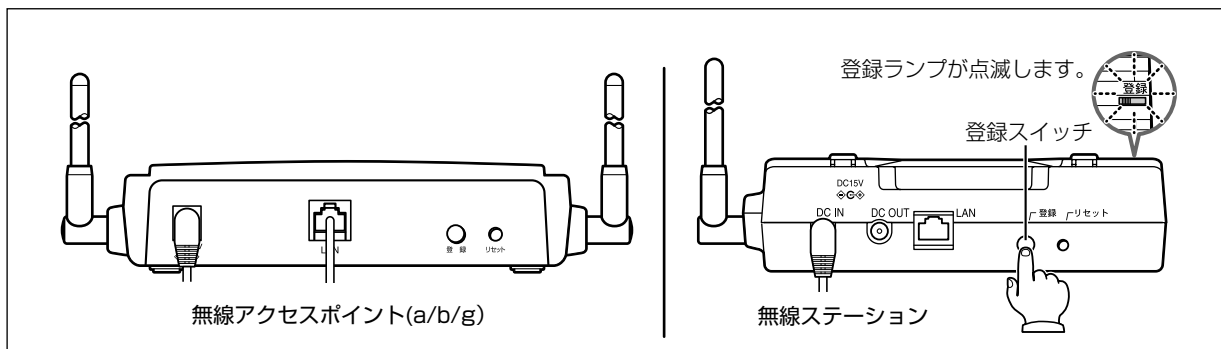
自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g)に登録するには

(前ページのつづき)

3

通常運用中に無線ステーション背面の登録スイッチを2秒以上押す

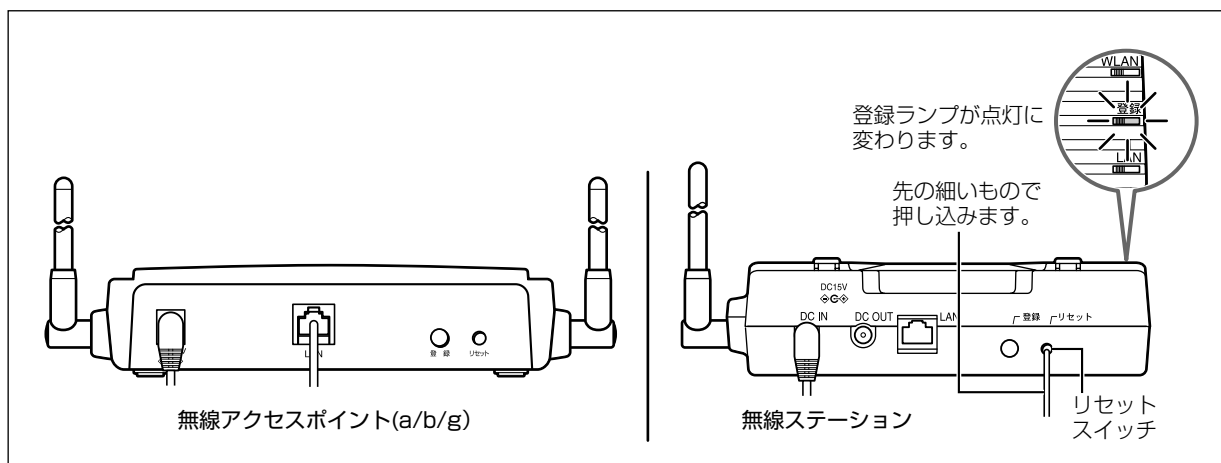
登録ランプが早く点滅します。



4

登録ランプが点滅を始めてから、10秒以内にリセットスイッチを押す

再起動後、登録ランプがゆっくり点滅します。



5

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションの登録ランプがともに消灯し、再起動して完了



ワンポイント

- 登録ランプが早い点滅を始めてから10秒以上たつと、自動登録モードは解除され登録ランプは消えます。
- 無線ステーションの操作は、無線アクセスポイント (a/b/g) のリセットスイッチを押してから5分以内に行ってください。



お知らせ

- 自動登録モード設定中は、その無線アクセスポイント (a/b/g) に接続していた無線ステーション、無線LANカードとは通信できません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) が自動登録モードで立ち上がったときには、SSID、暗号キーの両方が初期値の場合は、SSID、暗号キーを乱数で自動生成します。暗号キーは、IEEE802.11aはWEP152bit、IEEE802.11b/gはWEP128bitになります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) のACLアドレステーブルが100件登録されていると自動登録モードを起動できません。不要なACLアドレステーブルを削除してください。
- 暗号設定によっては、802.11a、802.11b/gが自動登録できない場合があります。
- 自動登録が失敗した場合は、無線ステーションの登録ランプが赤点灯（約10秒間）になり、その後自動的に再起動します。もう一度自動登録を行ってください。
- 自動登録モードは、最大5分間継続します。自動登録モードを解除するには、装置のリセットスイッチを押して再起動してください。
- 固定IPアドレスで使用する場合は、自動登録を行った後に増設した無線ステーションのIPアドレスの設定を行ってください。
- 自動登録で設定できる暗号タイプは、WEP、AES-OCBのみです。その他の暗号タイプを選択した場合は、自動登録できません。暗号タイプを変更してください。

自動登録モードで無線アクセスポイント (a/b/g)に登録するには

IPコードレス電話機をご利用になる場合

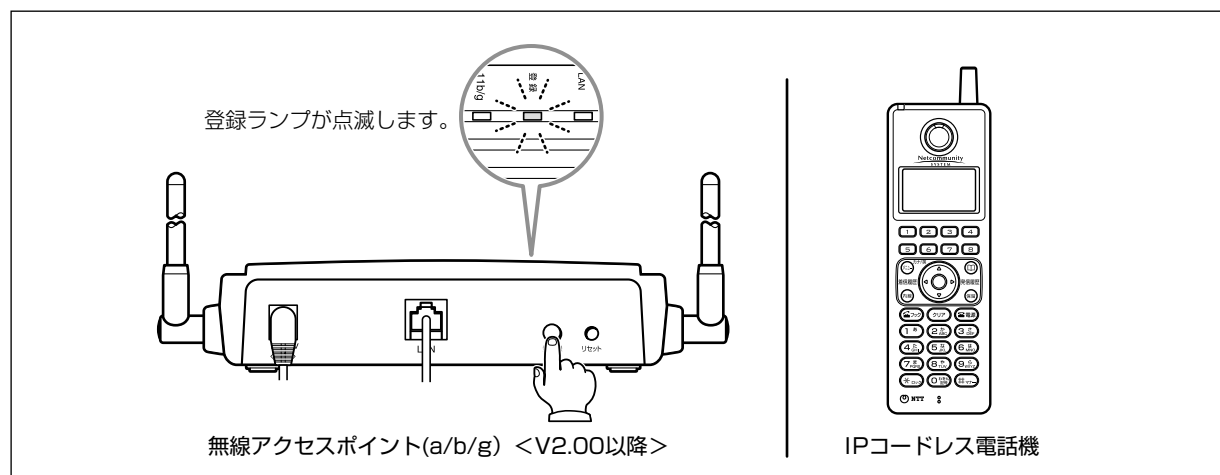
IPコードレス電話機と無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>との接続設定を行います。
IPコードレス電話機は、ログインしていない状態でのみ自動登録が可能です。
IPコードレス電話機は、IEEE802.11bを使用して通信を行います。

■無線アクセスポイントを自動登録モードにする

通常運用中に、無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>背面の登録スイッチ
を2秒以上押す

登録ランプが早く点滅します。

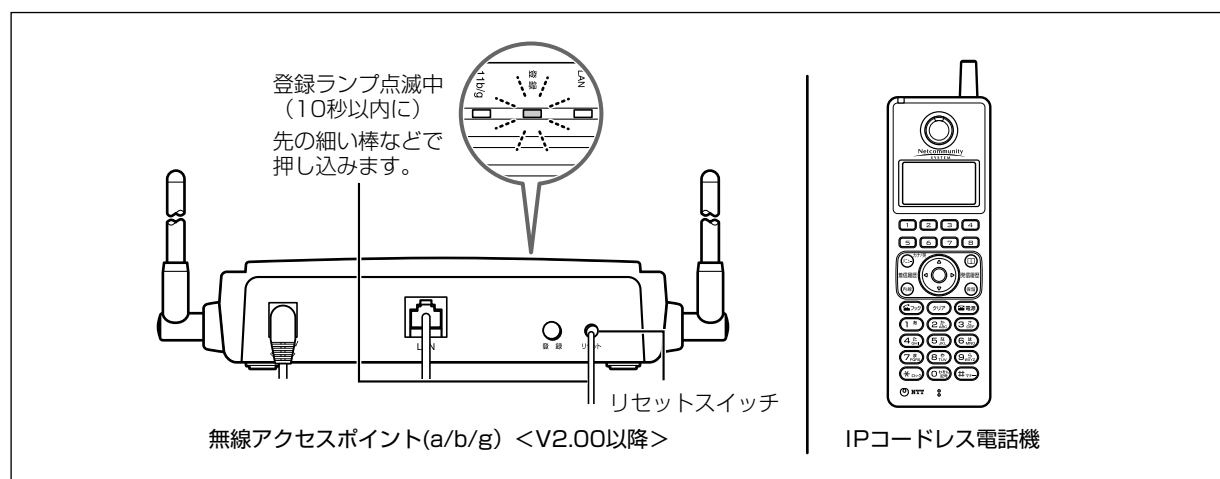
1



登録ランプが点滅を始めてから、10秒以内にリセットスイッチを押す

再起動後、登録ランプがゆっくり点滅します。

2

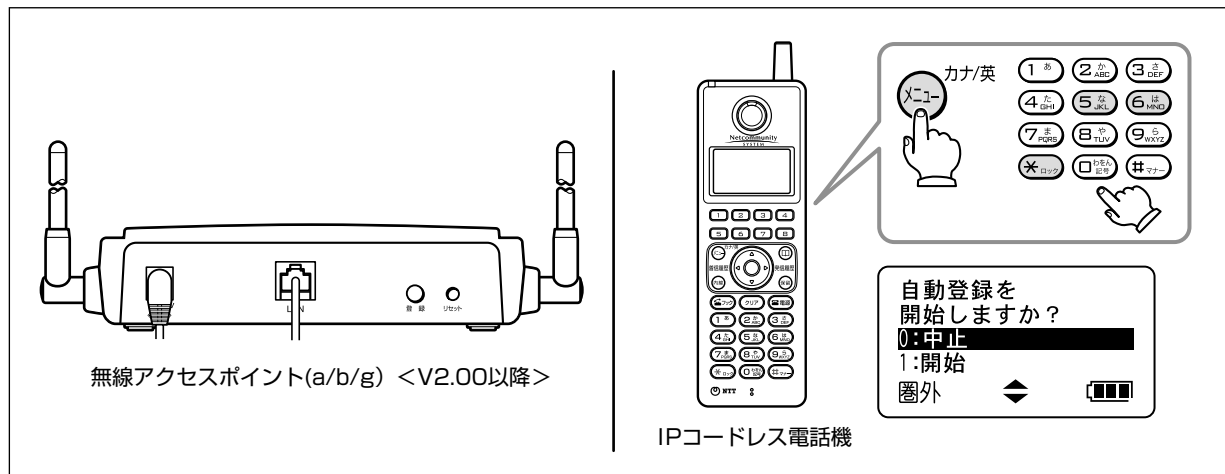


■IPコードレス電話機を自動登録モードにする

待ち受け状態で、**メニュー** ボタン、**＊** ロック **5** な JKL **6** は MNO の順に押す

「自動登録を開始しますか？」と表示されます。

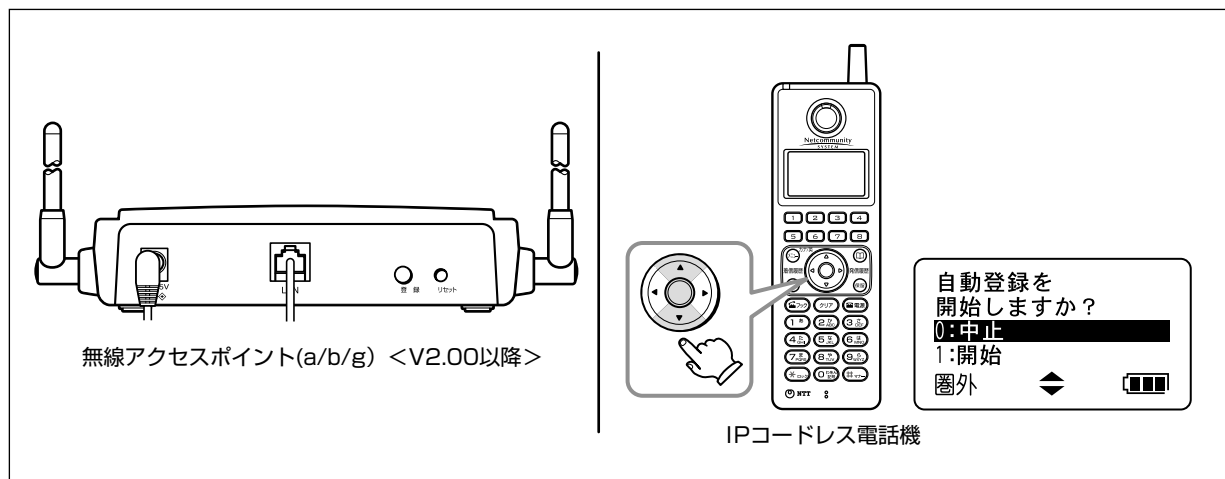
3



上下ボタンで「開始」を選択し、決定ボタンを押す

自動登録が開始されます。

4



5

無線アクセスポイント (a/b/g) の登録ランプが消灯し、無線アクセスポイント (a/b/g) ・ IPコードレス電話機が再起動して完了

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)



ワンポイント

- IPコードレス電話機のメニューで無線アクセスポイントとの接続設定を行うこともできます。(IPコードレス電話機取扱説明書参照)
- 設定ソフトウェアを使用して設定することも可能です。(「アクセスポイント設定連携」▶P118)
- 自動登録以外の方法で無線アクセスポイントとの接続の設定を行った場合には無線アクセスポイント (a/b/g) のACL設定は追加されません。ACL設定を有効にする場合はWeb設定で追加してください。
- 自動登録ではIPコードレス電話機のIPアドレスはDHCPが有効に設定されます。固定IPアドレスを利用する場合は、IPコードレス電話機のIPアドレスの設定を行ってください。
- IPコードレス電話機を使用する場合は、IEEE802.11b/gには他の無線LANカード等データ通信を行なう機器は接続しないでください。IPコードレス電話機で通話できなくなる可能性があります。



お知らせ

- 無線アクセスポイント (a/b/g) を初期値のまま自動登録を行なった場合、IEEE802.11b/gのSSIDにIPコードレス電話機が表示できない半角記号が含まれることがあります。
IPコードレス電話機で表示できる半角記号は -.@_()*# のみです。その他の半角記号が設定された場合には表示されません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) が802.11b/g有効でデータレート設定を6/9/12/18/24/36/48/54Mbpsの固定に設定した場合、IPコードレス電話機は無線接続を行いません。
1Mbps/2Mbps/5.5Mbps/11Mbps/bestのどれかを選択してください。
- IPコードレス電話機は無線アクセスポイント (a/b/g) にしか接続できません。
- IPコードレス電話機はチャンネル周波数の14チャンネルは使用できません。
- 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンにファイアウォール機能やウィルスチェックソフトが動作している場合、正常に動作しない場合があります。
- 自動登録が失敗した場合、IPコードレス電話機は再起動を行います。

設定ソフトウェアでデータ設定を行うには

設定ソフトウェアは、次のような設定操作を簡単に行うことができます。

- ① IPアドレスがわからない無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのWeb設定画面を表示する
- ② 固定IPアドレスを設定する
- ③ 複数のIPアドレス電話機、無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションの暗号タイプや暗号キーを変更する
- ④ 設定データを保存し、同じ内容を別の無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションにコピーする
- ⑤ IPアドレス電話機からメールの送受信を行う設定、アドレス帳の編集ができる
- ⑥ IPアドレス電話機の着信メロディを設定する
- ⑦ IPアドレス電話機のMACアドレスを、複数の無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>にコピーする

設定ソフトウェアは、以下の動作環境でご利用ください。

動作環境

項 目	条 件
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® XP Professional Edition Microsoft® Windows® XP Home Edition
FTPサーバ	Microsoft® Windows® 2000 Professional (SP4) : 付属FTPサーバ Microsoft® Windows® XP Professional Edition (SP2) : 付属FTPサーバ Microsoft® Windows® XP Home Edition (SP2) : NekosogiFtpd ※NekosogiFtpdはフリーソフトです。 <参考: NekosogiFtpdホームページアドレス> http://nekosogi.sytes.net/wiki/
PC	PC/AT互換機
CPU	OSの動作条件に準拠
メモリ	OSの動作条件に準拠
HDD	空き容量25MB以上
ビデオ	800×600ピクセル 以上 HighColor (16ビット) 以上
USB	1.1対応
フォント	MSゴシック サイズ11
ネットワーク	インターネットプロトコル (TCP/IP)
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 6.0 (SP2) 以上



お知らせ

- 設定ソフトウェアは、Mac OSには対応していません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション、IPアドレス電話機と設定ソフトウェアをインストールしたパソコンは同一のネットワークアドレスの環境に接続してください。
- 設定ソフトウェアを同一パソコンで複数起動したり、同一ネットワーク上の複数のパソコンで同時に起動している場合は、動作保証できない場合があります。
- 設定ソフトウェアは、無線アクセスポイント (a/b/g) のLANポート側に接続されたパソコン上で操作してください。
- 設定ソフトウェアをインストールしたパソコンにファイアウォール機能やウィルスチェックソフトがある場合、正常に動作しない場合があります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) をパソコンに直接接続する場合は、LANケーブルを使用してください。
- [画面のプロパティ] から [大きいフォント] を選択した場合、ディスプレイのスクリーンサイズが800×600ピクセルですと画面上に表示しきれません。
- 設定ソフトウェアの表示欄のカラム幅は変更できますが、記憶されません。
- IPアドレス電話機を「無線装置 (LAN接続)」で設定する場合は、FTPサーバが必要です。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) のファームウェアバージョンは、V2.00以降にしないとご利用になれない機能があります。(「※V2.00以降のみ」と記載してあります。)

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ設定を行う

4 自動登録モードで設定を行う

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

6 ご参考に

無線アクセスポイントの設定について

項 番	機能名称	概 要	備 考	参照ページ
1	装置検索	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機、無線LANカード等を検索し、IPアドレス、MACアドレス、システム名、SSID (11a、11b/g)、電波状況、装置のバージョンを一覧表示する	●主装置、市販の無線ステーション、パソコンなどは検索できない	➡P91
2	設定画面起動	無線アクセスポイント (a/b/g) 場合は「アクセスポイントWebデータ設定」画面をWebブラウザで表示する	—	➡P94
3	IPアドレス変更	検索した装置にIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・DHCPの設定をする	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P91
4	暗号タイプ設定	検索した装置に暗号タイプを設定する	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P96
5	設定内容保存	検索した装置からデータ設定の内容を収集し、バックアップデータを作成する	—	➡P99
6	設定内容更新	検索した装置に指定したバックアップデータを実行しデータ設定を更新する	—	➡P101
7	ファームウェアバージョンアップ	指定した装置に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う 本ソフトウェアはFTPクライアントとして動作する	●IPコードレス電話機は、処理中にキャンセルできない	➡P105
8	自動登録	検索した装置にデータ設定の自動登録要求を実施する 装置にデータ設定を行うことなく、簡単な操作で使用可能になる	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P107
9	接続図表示	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント (a/b/g) から接続情報を収集し、接続図を表示する	—	➡P110
10	802.11bg用ACL自動追加	装置検索で見つかったIPコードレス電話機のMACアドレスを、検索済みの無線アクセスポイント (a/b/g) (※V2.00以降のみ) のACLテーブルへ追加登録する	●一度に選択できるのは、1台のIPコードレス電話機と複数の無線アクセスポイント (a/b/g) ●処理中にエラーが発生しても、次の処理を行う ●無線アクセスポイント (a/b/g) のACLテーブルの登録数が100件の場合には登録できない ●機能実行後、無線アクセスポイント (a/b/g) は自動的に再起動する	➡P109
11	バージョン情報	設定ソフトウェアのバージョン情報を表示する	—	➡P130

無線ステーションの設定について

項 番	機能名称	概 要	備 考	参照ページ
1	装置検索	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機、無線LANカード等を検索し、IPアドレス、MACアドレス、システム名、SSID (11a、11b/g)、電波状況、装置のバージョンを一覧表示する	●主装置、市販の無線ステーション、パソコンなどは検索できない	➡P91
2	設定画面起動	無線ステーションの場合は「ステーションWebデータ設定」画面をWebブラウザで表示する	—	➡P94
3	IPアドレス変更	検索した装置にIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・DHCPの設定をする	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P91
4	暗号タイプ設定	検索した装置に暗号タイプを設定する	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P96
5	設定内容保存	検索した装置からデータ設定の内容を収集し、バックアップデータを作成する	—	➡P99
6	設定内容更新	検索した装置に指定したバックアップデータを実行しデータ設定を更新する	—	➡P101
7	ファームウェアバージョンアップ	指定した装置に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う 本ソフトウェアはFTPクライアントとして動作する	●IPコードレス電話機は、処理中にキャンセルできない	➡P105
8	自動登録	検索した装置にデータ設定の自動登録要求を実施する 装置にデータ設定を行うことなく、簡単な操作で使用可能になる	●IPコードレス電話機は設定できない	➡P107
9	接続図表示	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント (a/b/g) から接続情報を収集し、接続図を表示する	—	➡P110

1
お使いになる前に

2
事前の準備

3
Webでデータ
設定を行う

4
自動登録モ
ードで行う

5
設定ソフトウ
ェアでデータ
設定を行う

6
ご参考に

IPコードレス電話機の設定について

項 番	機能名称	概 要	備 考	参照ページ
1	電話帳（メールアドレス）編集	電話（メールアドレス）帳への新規登録、編集、検索、削除と、エクスポート・インポート（CSVファイル形式）を行う	●最大500件の電話帳を登録	➡P113
2	無線設置データ設定	無線接続に関する設定を行う SSIDは複数登録可能	●最大20件のSSIDを登録	➡P116
3	無線アクセスポイント設定連携	無線アクセスポイント(a/b/g)（※V2.00以降のみ）の設定データから無線関連の情報を取得して、IPコードレス電話機の設定に反映させる	●無線アクセスポイント(a/b/g)の設定データが作成されていない場合は使用できない	➡P118
4	メール設定	メール送受信に関連する設定を行う	—	➡P123
5	IPコードレス電話機の設定	マナーモード、ロックナンバーなどのIPコードレス電話機単独の動作パラメータ設定を行う	—	➡P119
6	着信メロディ設定	着信設定時にIPコードレス電話機で使用する着信メロディファイルを設定、削除できる また、ファイル名の変更もできる	—	➡P121
7	IPコードレス電話機のファームウェアバージョンアップ	指定した装置に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う	—	➡P127
8	設定内容の保存と更新	IPコードレス電話機の設定データをパソコンに保存する 保存しておいた設定データで、IPコードレス電話機の設定を更新できる	—	➡P125
9	装置検索	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント(a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機、無線LANカード等を検索し、IPアドレス、MACアドレス、システム名、SSID（11a、11b/g）、電波状況、装置のバージョンを一覧表示する	●主装置、市販の無線ステーション、パソコンなどは検索できない	➡P91
10	設定画面起動	IPコードレス電話機の場合は設定画面を表示する	—	➡P94
11	設定内容保存	検索した装置からデータ設定の内容を収集し、バックアップデータを作成する	—	➡P99
12	設定内容更新	検索した装置に指定したバックアップデータを実行しデータ設定を更新する	—	➡P101
13	ファームウェアバージョンアップ	指定した装置に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行う 本ソフトウェアはFTPクライアントとして動作する	●IPコードレス電話機は、処理中にキャンセルできない	➡P105
14	接続図表示	ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント（a/b/g）から接続情報を収集し、接続図を表示する	—	➡P110
15	802.11bg用ACL自動追加	装置検索で見つかったIPコードレス電話機のMACアドレスを、検索済みの無線アクセスポイント(a/b/g)（※V2.00以降のみ）のACLテーブルへ追加登録する	●一度に選択できるのは、1台のIPコードレス電話機と複数の無線アクセスポイント(a/b/g) ●処理中にエラーが発生しても、次の処理を行う ●無線アクセスポイント(a/b/g)のACLテーブルの登録数が100件の場合には登録できない ●機能実行後、無線アクセスポイント（a/b/g）は自動的に再起動する	➡P109

インストール方法

別売品のGX-IPCL-コードレス電話機取扱説明書に添付のCD-ROMから、設定ソフトウェアをパソコンにインストールします。

- 1 別売品のGX-IPCL-コードレス電話機取扱説明書に添付の専用CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

- 2 【Netcommunity SYSTEM IPコードレス電話機設定ソフトのインストール】 をクリックする

設定ソフトウェアのセットアップウィザード画面が表示されます。



- 3 【次へ】 をクリックする

使用許諾契約が表示されます。

- 4 【使用許諾契約】 を最後まで読み、内容に同意する場合は「使用許諾条項に同意します。」を選択し【次へ】 をクリックする

設定ソフトウェアのインストール先が表示されます。

「使用許諾条項に同意しません。」をクリックするとインストールできません。

- 5 【次へ】 をクリックする

インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、表示された画面でインストール先を指定してください。



- 6 【インストール】 をクリックする

インストールを開始します。

(次ページへつづく)

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

(前ページのつづき)

7

【完了】をクリックする

インストールを終了すると、X7000案内ページが表示されます。

8

【END】をクリックする

案内ページが閉じますので、CD-ROMドライブからGX-IPCLコードレス電話機取扱説明書専用CD-ROMを取り出します。

9

USBドライバをインストールする

USBケーブルをパソコンとIPコードレス電話機に接続します。

10

インストール画面に従ってインストールする

ドライバは、c:\¥Program Files¥NTT¥WirelessSetup¥IPCLPORTS.inf を指定してください。



ワンポイント

- 設定ソフトウェアのアンインストールは、次の手順で行ってください。

<Windows® XPの場合>

- ・ [スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] → WirelessSetupの削除

<Windows® 2000の場合>

- ・ [スタートメニュー] → [設定] → [コントロールパネル] → [アプリケーションの追加と削除] → WirelessSetupの削除

- インストール先を変更している場合は、ドライバはインストールしたフォルダ内にあります。

- 設定ソフトウェアを使用する場合は、IPコードレス電話機のキーロックを解除してから使用してください。再起動が必要な設定を、キーロックを解除せずに行った場合は、電源ボタンを2秒以上押して電源を切ってください。



お知らせ

- 「IPコードレス設定（USB接続）」で設定を行うためには、設定ソフトウェアをインストールしたパソコンと、USBケーブル（別売）で接続する必要があります。
- USBドライバをインストールしなければ、IPコードレス電話機の設定はできません。
- USBポートごとにドライバのインストールが必要です。
- USBドライバをインストールし、P128の「設定ソフトウェアの環境設定を行う」で、IPコードレス電話機とのUSB通信に使用するシリアル通信ポートを設定する必要があります。
- FTPサーバを利用して、設定データを保存する（●P99）、保存した設定データを反映する（●P101）、ファームウェアのバージョンアップを行う（●P109）場合は、「設定ソフトウェアの環境設定を行う」（●P128）で、FTPサーバの設定を行う必要があります。

IPアドレスを設定する

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションを検索して、IPアドレスなどの設定を行います。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

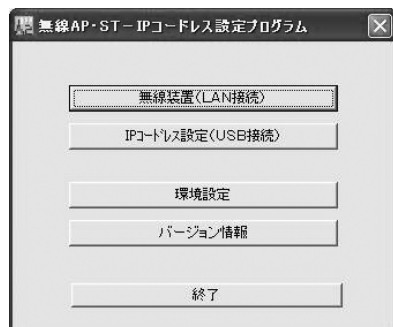
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

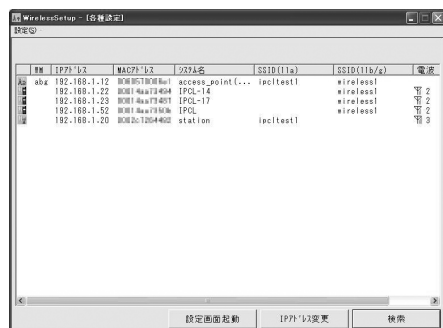
設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置 (LAN接続)」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。



各項目は、見出しをクリックすることにより、並び順を替えることができる

- アイコンによる種別表示 (無線アクセスポイント (a/b/g) <V1.00> ・無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降> ・無線ステーション ・IPコードレス電話機)
- 無線モードWM表示abg
 - a: IEEE802.11aが有効
 - b: IEEE802.11bが有効
 - g: IEEE802.11gが有効
- IPアドレスの表示
- MACアドレスの表示
- システム名の表示
- SSID (11a) の表示
- SSID (11b/g) の表示
- 無線ステーション、IPコードレス電話機の電波強度の表示 (0 ~ 1 ~ 2 ~ 3)
- 装置のバージョン表示

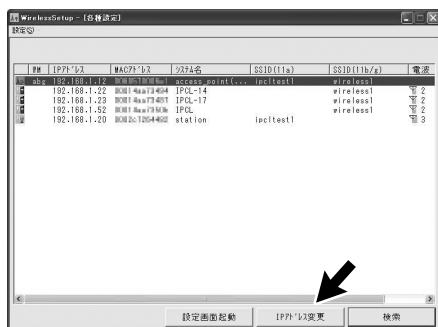
(次ページへつづく)

IPアドレスを設定する

(前ページのつづき)

4

一覧表示から、IPアドレスを設定する無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションを選択して、[IPアドレス変更] をクリックする

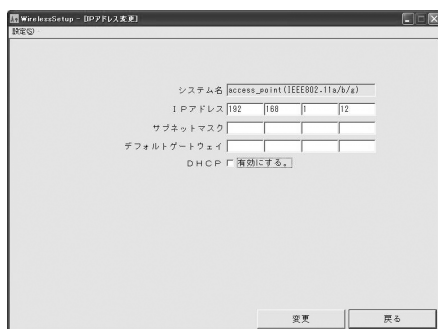


IPアドレス変更画面が表示されます。各種設定画面で選択した機器について、以下のような設定ができます。

設定項目	設定内容
システム名（表示のみ）	システム名が表示される
IPアドレス	IPアドレスを設定する
サブネットマスク	サブネットマスクを設定する
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定する
DHCP	DHCPサーバによる自動IPアドレス設定を有効／無効に変更する

5

IPアドレスを設定する



- IPアドレス : X.X.X.X (X : 0～255、10進数)
- サブネットマスク : X.X.X.X (X : 0～255、10進数)
- デフォルトゲートウェイ : X.X.X.X (X : 0～255、10進数)
- DHCP : チェックあり（有効）／チェックなし（無効）

6

[変更] をクリックする

IPアドレスの設定が変更されます。



ワンポイント

- 設定ソフトウェアを終了するときは、[設定] メニューの [アプリケーションの終了] をクリックしてください。



お知らせ

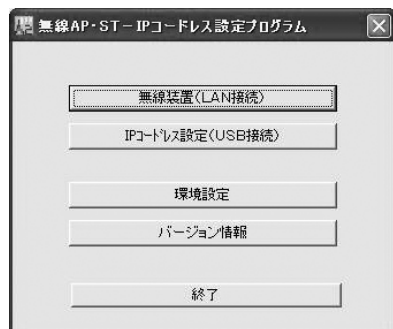
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度 [検索] をクリックしてください。
- 検索できるのは、無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機です。IP多機能電話機、無線LANカード、パソコンなどは検索できません。
- 装置の起動中は、検索の結果が正常に表示されない場合があります。
- IPアドレスを設定する処理を中断した後、無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションで検索を実行しても、装置がすでに再起動を実施しているため、すぐには検索できない場合があります。
- データ設定を行うと、設定を変更した無線アクセスポイント (a/b/g) や無線ステーションが再起動を行います。
- 設定ソフトウェアではシステム名は変更できません。Webのデータ設定で変更してください。設定の詳細については、各無線装置の取扱説明書をご参照ください。 (「基本機能を設定する」 ●P48)
- IPコードレス電話機は、Web設定できません。

設定画面を起動する

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションの個々の設定をWebブラウザで変更できます。IPコードレス電話機を選択している場合は、IPコードレス電話機設定画面を表示します。

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



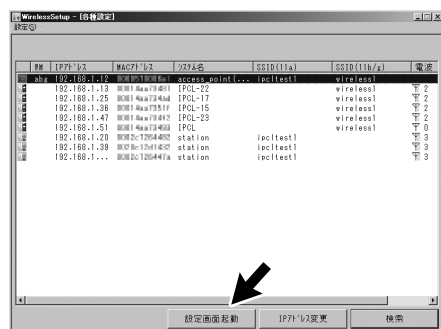
(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置（LAN接続）」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

一覧表示から、設定する無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機を1つ選択して、[設定画面起動] をクリックする

Webブラウザが起動して、データ設定のメインメニューが表示されます。



選択項目	起動画面	参照ページ
無線アクセスポイント (a/b/g)	無線アクセスポイント (a/b/g) Webデータ設定	➡P47～67
無線ステーション	ステーションWebデータ設定	➡P68～78
IPコードレス電話機	IPコードレス電話機設定	➡P113～129



ワンポイント

- 一覧に表示された無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーション、IPコードレス電話機をダブルクリックして、設定画面を起動させることができます。
- [検索] をクリックすると、最新の状態を確認できます。



お知らせ

- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度[検索] をクリックしてください。
- 一覧表示でIPアドレスが表示されていない場合は、IPアドレスを設定してからご利用ください。（「IPアドレスを設定する」➡P91）
- IPコードレス電話機は、Web設定できません。
- IPコードレス電話機の設定は、USBケーブルを接続し、メインメニューの「IPコードレス設定（USB接続）」からも設定できます。
- IPコードレス電話機を設定するにはFTPサーバが必要です。
- FTPサーバの設定は各パソコン、FTPサーバアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

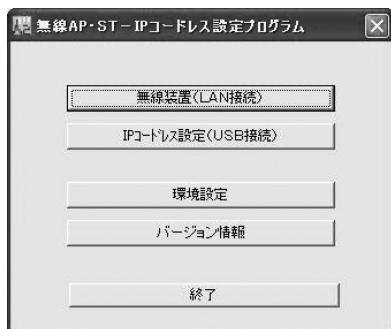
暗号タイプ、暗号キーを更新する

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションの暗号タイプ、暗号キーを設定します。

1

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

2

「無線装置（LAN接続）」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3

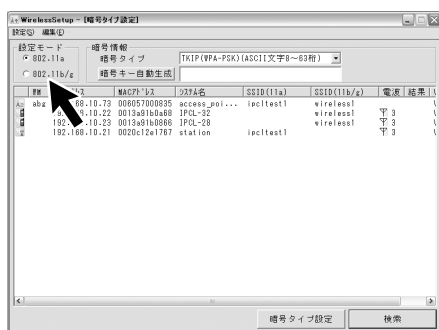
「設定」メニューの「暗号タイプ設定」をクリックする

設定モードを選択する

●無線の設定モードを以下の設定から選択します。

- 802.11a
- 802.11b/g

4



5

一覧表示から、設定する無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションを選択する



ワンポイント

●複数の装置を選択するには、パソコンのShiftキーまたはCtrlキーを押しながらクリックします。

暗号タイプを設定する

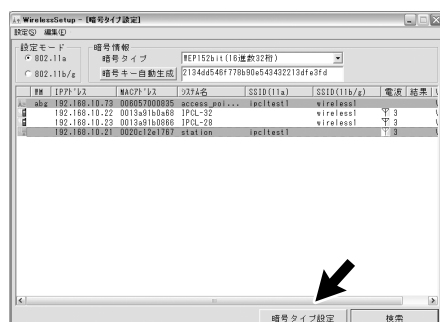
●暗号タイプと暗号キーの長さ（固定長）を以下の設定から選択します。

暗号タイプ	IEEE802.11a	IEEE802.11b/g
無効	☐	☐
WEP64bit（16進数10桁）	☐	☐
WEP128bit（16進数26桁）	☐	☐
WEP152bit（16進数32桁）	☐	☐
AES-OCB（16進数32桁）	☐	☒
AES-CCM（ASCII文字8～63桁）	☒	☐
TKIP（WPA-PSK）（ASCII文字8～63桁）	☒	☐

- 自動で入力する場合は、[暗号キー自動生成] をクリックします。
暗号キーが自動的に生成されます。
- 手動で入力する場合は、選択した暗号タイプに必要な桁数を入力してください。
- 入力できるのは、半角英数小文字 a.b.c.d.e.f. 0～9になります。

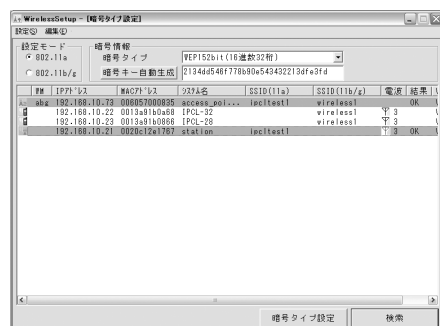
[暗号タイプ設定] をクリックする

選択した無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションに暗号タイプが設定されます。

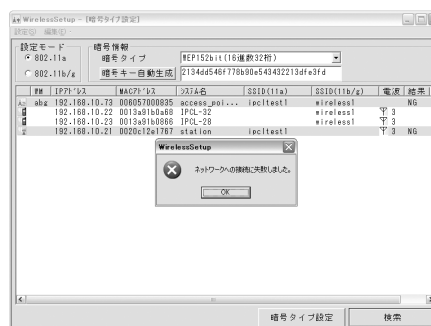


更新が完了すると、装置が再起動され、一覧画面に「OK」が表示されます。

すべての更新結果を確認する



「暗号タイプ設定OK」



「暗号タイプ設定NG」

（次ページへつづく）

暗号タイプ、暗号キーを更新する

(前ページのつづき)



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションの暗号タイプ・暗号キーを同時に更新しないでください。更新に失敗したとき、無線接続できなくなる可能性があります。
- 暗号タイプ、暗号キーの設定状況は、一覧画面の結果欄に表示されます。「NG」が表示されているときには、暗号タイプ、暗号キーは設定されていません。
- 一覧に表示された装置の組み合わせにより、以下の暗号を指定できます。
 1. 無線ステーションを設定する場合
無線モード：802.11aのみ
暗号タイプ：無効、WEP64、WEP128、WEP152、AES-OCB
 2. IPコードレス電話機を設定する場合
無線モード：802.11b/gのみ
暗号タイプ：無効、WEP64、WEP128
 3. その他の組み合わせ
無線モード：802.11aと802.11b/g
暗号タイプ：802.11b/gの場合は、無効、WEP64、WEP128、WEP152、AES-CCM
802.11aの場合は、無効、WEP64、WEP128、WEP152、AES-OCB、AES-CCM、TKIP (WPA-PSK)
- IPコードレス電話機が選択されている場合はエラーを表示します。IPコードレス電話機への暗号設定は、IPコードレス電話機設定の無線設定画面から設定できます。
- 無線状態により、更新が失敗する場合があります。更新が失敗したときは、もう一度設定し直してください。
- 暗号タイプ更新後、接続されなかった無線ステーションがある場合は、自動登録モードを利用して、設定し直してください。
- [編集] メニューの [暗号キーをコピー]、または [暗号キーを貼り付け] をクリックすると、暗号キーのデータをクリップボードにコピー、または貼り付けることができます。



お知らせ

- 一覧表示でIPアドレスが表示されていない場合は、IPアドレスを設定してからご利用ください。(「IPアドレスを設定する」➡P91)
- 暗号タイプ、暗号キーを更新したときは、無線ステーションの接続に時間がかかることがあります。無線ステーションが接続されていることを確認してください。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度 [検索] をクリックしてください。
- 接続されている装置により、設定できる暗号化が異なります。

設定データを保存する

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機からデータ設定の内容を収集し、バックアップデータを保存できます。
保存したバックアップデータを別の無線アクセスポイント（a/b/g）や無線ステーションで読み込むと、そのデータを反映できます。
IPコードレス電話機のデータ設定の内容を保存する場合はFTPサーバを準備する必要があります。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

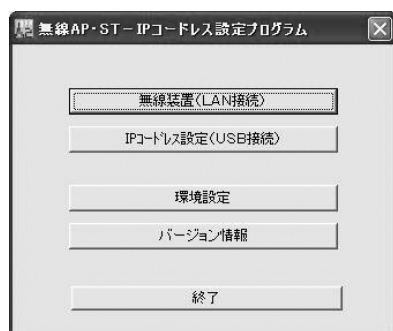
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



（画面はWindows® XPの場合の例です）

「無線装置（LAN接続）」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

「設定」メニューの「オプション設定」をクリックする

一覧表示から、設定内容を保存する無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機を選択する



ワンポイント

●複数の装置を選択するには、パソコンのShiftキーまたはCtrlキーを押しながらクリックします。

「設定内容保存」をクリックする

選択した無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機のバックアップデータのファイルが保存されます。

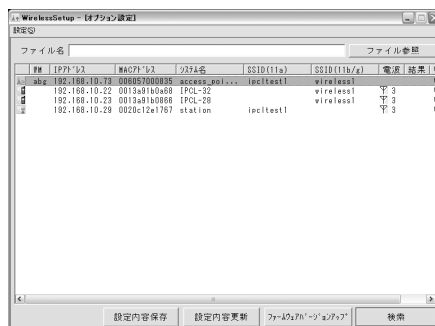
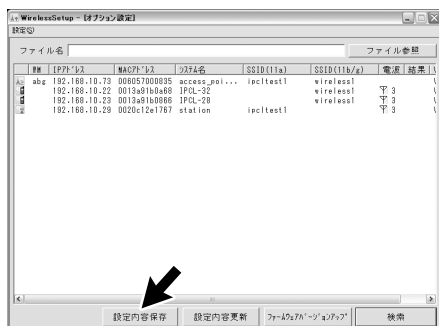
- バックアップデータのファイル名は、無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーションの「AP [MACアドレス] .txt」または「AP20 [MACアドレス] .txt」、 「ST [MACアドレス] .txt」となります。IPコードレス電話機の設定データはフォルダで保存されます。（例：IPCL00000000000000）（P101）
- 設定ファイルはC:\Program Files\NTT\WirelessSetupに保存されます。

（次ページへつづく）

設定データを保存する

(前ページのつづき)

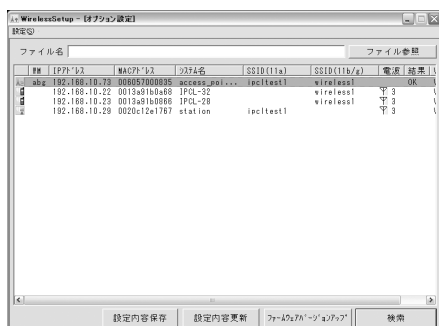
5



(例：AP0000000000000.txt/AP20 0000000000000.txt/ST0000000000000.txt)
(0000000000000には、保存した無線アクセスポイント (a/b/g)・無線ステーションのMACアドレスが入ります。)
保存が完了すると、一覧画面に「OK」が表示されます。

すべての保存結果を確認する

6



「設定内容保存OK」



「設定内容保存NG」



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションの暗号タイプ・暗号キーを同時に更新しないでください。更新に失敗したとき、無線接続できなくなる可能性があります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのデータ更新は、更新中に[キャンセル]で中止できますが、IPコードレス電話機のデータ更新は途中で中止できません。
- 設定内容の保存状況は、一覧画面の結果欄に表示されます。「NG」が表示されているときには、設定内容は保存されていません。
- 無線状態により失敗する場合があります。失敗した場合は、もう一度保存を行ってください。
- インストール先を変更している場合は、設定データのファイルはインストールしたフォルダ内にあります。



お知らせ

- IPコードレス電話機の設定データを保存するには、FTPサーバの設定を環境設定で行います。(P128)
- 一覧表示でIPアドレスが表示されていない場合は、IPアドレスを設定してからご利用ください。(「IPアドレスを設定する」P91)
- バックアップデータはファイル名および内容を変更しないでください。変更したバックアップデータで設定内容更新を行うと、動作しなくなることがあります。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度「検索」をクリックしてください。

保存した設定データを反映する

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション、IPコードレス電話機に、保存したバックアップデータを反映できます。
IPコードレス電話機の保存したデータの内容を反映する場合はFTPサーバを準備する必要があります。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

4 自動登録モード
で設定を行う

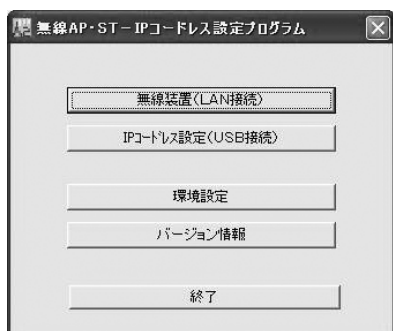
5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

1

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

2

「無線装置 (LAN接続)」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

3

【設定】メニューの【オプション設定】をクリックする

4

一覧表示から、設定内容を更新する無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション、IPコードレス電話機を選択する



ワンポイント

●複数の装置を選択するには、パソコンのShiftキーまたはCtrlキーを押しながらクリックします。

5

【ファイル参照】をクリックして、設定内容を更新するファイルを選択する

- バックアップデータのファイルは、無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機で保存したデータを使用してください。
- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションで保存されたデータのファイル名は、「AP [MACアドレス].txt」「AP20 [MACアドレス].txt」「ST [MACアドレス].txt」となっています。また、IPコードレス電話機で保存されたデータは「IPCL [MACアドレス]」フォルダに保存されているファイルを1つ選択してください。

「IPCL [MACアドレス]」フォルダには次のファイルが保存されています。

dat_tel_[MACアドレス].ini	: 電話帳データファイル
dat_mail_[MACアドレス].ini	: メール設定データファイル
dat_wireless_[MACアドレス].ini	: 無線設置データファイル
dat_ipcl_[MACアドレス].ini	: IPCL動作設定データファイル
dat_sys_[MACアドレス].ini	: ネットワーク関連設定データファイル

以上に加えて最大5個の着信メロディファイル

- 保存した設定データを反映できる項目は、IEEE802.11aとIEEE802.11b/gの設定では異なります。(○: 反映できる項目、×: 反映できない項目、△: 暗号化がTKIPやAES-CCM (無線ステーションでは設定できない暗号方式) の場合は無効となります。)

(次ページへつづく)

保存した設定データを反映する

(前ページのつづき)

5

	設定項目	共通設定	IEEE802.11a	IEEE802.11b/g
無線設定	無線機能	—	○	○
	SSID	—	○	○
	SSID隠蔽	—	○	○
	暗号タイプ	—	○	○
	暗号キー			
	WEP	—	○	○
	AES-OCB	—	○	—
	AES-CCM	—	△	○
	TKIP (WPA-PSK)	—	△	○
	IEEE802.1x認証			
	Radiusサーバアドレス	○	—	—
	Radiusサーバポート番号	○	—	—
	Radiusシークレット	○	—	—
	チャンネル周波数	—	×	×
	データレート	—	×	×
	送信強度	—	○	○
	Super A/G機能	—	○	○
	Beacon Interval	—	×	×
	DTIM	—	×	×
	最大接続数	—	○	○
	最大通話数	—	○	○
ACL制御	RTPパケット化サイズ	○	—	—
	ACL設定	○	—	—
詳細設定	ACLアドレステーブル	○	—	—
	情報取得アドレス	○	—	—
	情報取得ポート番号	○	—	—
	主装置発見アドレス	○	—	—
	主装置発見ポート番号	○	—	—
	主装置識別	○	—	—
	EDCF制御ポート	○	—	—
自動バージョンアップ	ファームウェア更新（自動）方式	○	—	—
	HTTPダウンロード			
	バージョンアップURL	○	—	—
	バージョンアップ時刻	○	—	—
	DNSプライマリサーバアドレス	○	—	—
	DNSセカンダリサーバアドレス	○	—	—
	FTPダウンロード			
	FTPサーバアドレス	○	—	—
	FTPイメージパス	○	—	—
	ユーザネーム	○	—	—
	パスワード	○	—	—
	パスワード確認		—	—

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ設定を行う

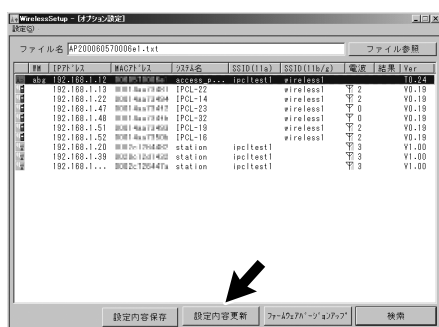
4 自動登録モードで設定を行う

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

6 ご参考に

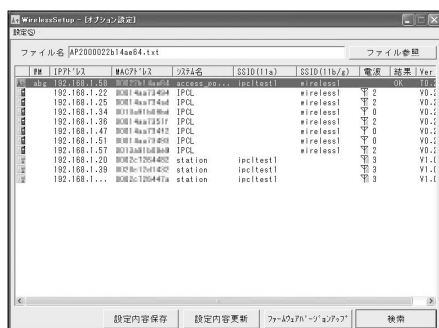
【設定内容更新】をクリックする

選択した無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機の設定内容がバックアップデータの内容に更新されます。

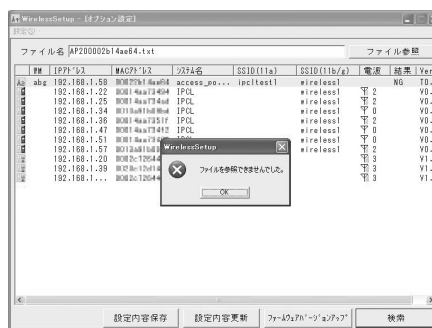


更新が完了すると、装置が再起動され、一覧画面に「OK」が表示されます。

すべての更新結果を確認する



「設定内容更新OK」



「設定内容更新NG」

(次ページへつづく)

保存した設定データを反映する

(前ページのつづき)



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションの設定データを同時に反映しないでください。更新に失敗したときに、無線接続できなくなる可能性があります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのデータ更新は、更新中に[キャンセル]で中止できますが、IPコードレス電話機のデータ更新は途中で中止できません。
- 設定内容の更新状況は、一覧画面の結果欄に表示されます。「NG」が表示されているときには、設定内容は更新されていません。
- 設定内容を変更すると、装置が再起動します。
- 「設定データを保存する」(P99) で保存されたファイルを使用してください。
- バックアップしたデータで無線アクセスポイント (a/b/g)、または無線ステーション、IPコードレス電話機の設定データを更新できます。
- 設定を「DHCP無効」に変更した場合は、IPアドレスを設定してください。
- 無線状態により、失敗する場合があります。失敗したときはもう一度、設定内容の更新を行ってください。



お知らせ

- IPコードレス電話機で保存した設定データを反映するには、FTPサーバの設定を環境設定で行います。(P128)
- バックアップデータはファイル名および内容を変更しないでください。変更したバックアップデータで設定内容更新を行うと、動作しなくなることがあります。
- システム名、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは更新されません。
- 一覧表示でIPアドレスが表示されていない場合は、IPアドレスを設定してからご利用ください。([IPアドレスを設定する] P91)
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度 [検索] をクリックしてください。
- EDCF制御ポートに関しては、範囲1～3のみ反映可能です。

ファームウェアのバージョンアップを行う

検索した無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機のファームウェアをFTPサーバから取得してバージョンアップします。
バージョンアップ手順は、バージョンアップソフトと一緒に配布される手順書を参照してください。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

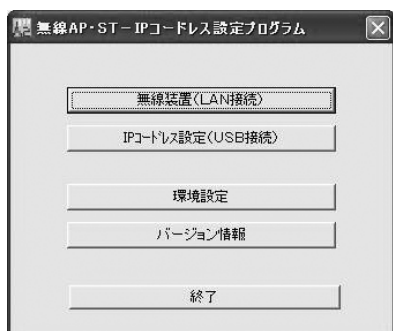
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置（LAN接続）」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

「設定」メニューの「オプション設定」をクリックする

一覧表示から、ファームウェアをバージョンアップする無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機を選択する

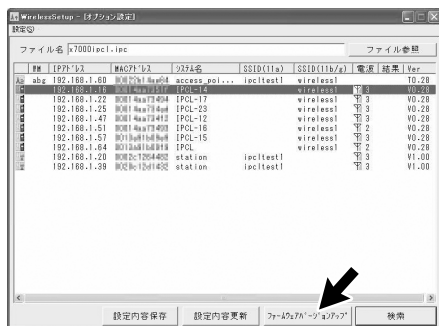
「ファイル参照」をクリックして、ファームウェアをバージョンアップするファイルを選択する

無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション用のファームウェアバージョンアップファイルは、拡張子*.imgを指定してください。

IPコードレス電話機用のファームウェアバージョンアップファイルは、拡張子*.ipcを指定してください。

「ファームウェアバージョンアップ」をクリックする

選択した無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーション、IPコードレス電話機のファームウェアをバージョンアップします。



バージョンアップが完了すると、一覧画面に「OK」が表示されます。

(次ページへつづく)

ファームウェアのバージョンアップを行う

(前ページのつづき)

すべてのバージョンアップ結果を確認する

7

WirelessSetup - [ファイル参照]

ファイル名: 7000iocl.ipc

IPアドレス	MACアドレス	SSID名	SSID(11a)	SSID(11b/g)	電波	結果	Ver
192.168.1.22	0004aa73484	IPOL-17	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.25	0004aa73484	IPOL-23	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.47	0004aa73484	IPOL-12	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.51	0004aa73484	IPOL-16	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.57	0013a91609d	IPOL-15	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.64	0013a91609d	IPOL	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.20	0020c7204402	station	ipctest1	OK	V1.00		
192.168.1.39	0020c7204402	station	ipctest1	OK	V1.00		

設定内容保存 設定内容更新 ファームウェアバージョンアップ 検索

「ファームウェアバージョンアップOK」

WirelessSetup - [ファイル参照]

ファイル名: 7000iocl.ipc

IPアドレス	MACアドレス	SSID名	SSID(11a)	SSID(11b/g)	電波	結果	Ver
192.168.1.22	0004aa73484	IPOL-17	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.25	0004aa73484	IPOL-23	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.47	0004aa73484	IPOL-12	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.51	0004aa73484	IPOL-16	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.57	0013a91609d	IPOL-15	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.64	0013a91609d	IPOL	wireless	OK	VO.28		
192.168.1.20	0020c7204402	station	ipctest1	OK	V1.00		
192.168.1.39	0020c7204402	station	ipctest1	OK	V1.00		

設定内容保存 設定内容更新 ファームウェアバージョンアップ 検索

「ファームウェアバージョンアップNG」



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのデータ更新は、更新中に[キャンセル]で中止できますが、IPコードレス電話機のデータ更新は途中で中止できません。
- ファームウェアバージョンアップの状況は、一覧画面の結果欄に表示されます。「NG」が表示されているときには、ファームウェアはバージョンアップされていません。再度実行してください。
- ファームウェアをバージョンアップする際に「ファイル参照」から選択したファイルがFTPサーバのホームディレクトリ配下にはない場合は、無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションはプログラムファイルを取得できないため、ファームウェアのバージョンアップはできません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションのバージョンアップを行う場合は、FTPのホームディレクトリにバージョンアップファイルを保存してください。
- IPコードレス電話機のバージョンアップを行う場合は、FTPのホームディレクトリにはバージョンアップファイルを保存しないでください。



お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップを行っているときに無線アクセスポイント (a/b/g) のLANケーブル、電源ケーブルを抜いたり、無線ステーションの電源ケーブルを抜いたり、電波の届きにくい場所に移動したりしないでください。失敗の原因となります。
- 「ファームウェアバージョンアップ」をクリック後、3分間以上画面が変わらなかった場合は、ファームウェアのバージョンアップに失敗しています。装置を再起動してください。
- IPコードレス電話機のバージョンアップを行ったあとの再起動には、時間がかかります。
- ファームウェアのバージョンアップに失敗した場合は、設定内容を確認してください。
- バージョンアップを行うには、FTPサーバの設定を環境設定で行います。(P128)
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度「検索」をクリックしてください。

自動登録モードを起動する

無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションに、自動登録モードを要求します。自動登録モードは、無線ステーションを増設する場合、データ設定を行うことなく、簡単な操作で増設できます。

自動登録を行うことにより、無線ステーションのSSID、暗号タイプ、暗号キーを無線アクセスポイントと接続できるように変更できます。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

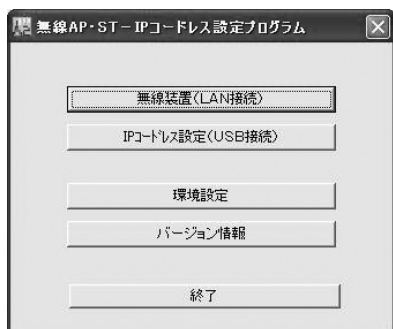
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置 (LAN接続)」をクリックする

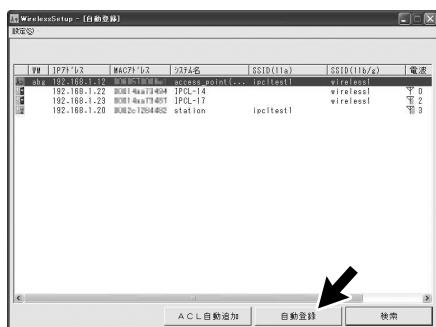
設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

【設定】メニューの【自動登録】をクリックする

一覧表示から、自動登録する無線アクセスポイント (a/b/g) を選択する

【自動登録】をクリックする

選択した無線アクセスポイント (a/b/g) は、自動的に再起動し、自動登録モードになります。
(登録ランプ赤点滅)



接続する無線ステーションを、無線ステーションの登録スイッチで自動登録モードにする (P80手順3~4)

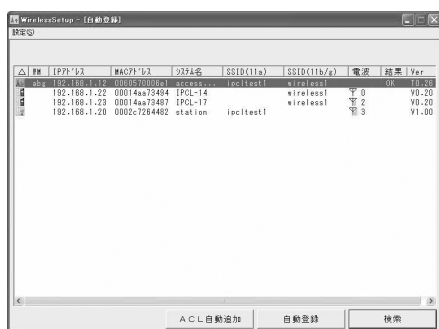
自動登録が完了すると、無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションは再起動します。

(次ページへつづく)

自動登録モードを起動する

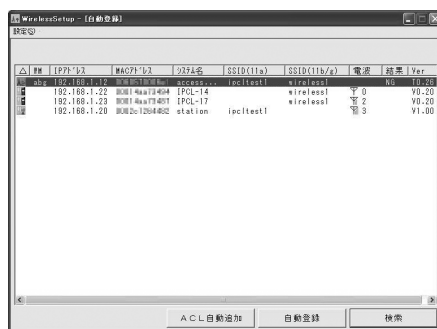
(前ページのつづき)

自動登録の結果を確認する



IPアドレス	MACアドレス	SSID名	SSID(11a)	SSID(11b/g)	電源	結果	Ver
192.168.1.22	00014a73404	IPCL-14	ipcltest1	wireless	電 0	成功	V0.20
192.168.1.23	00014a73407	IPCL-17	ipcltest1	wireless	電 2	成功	V0.20
192.168.1.20	0002c1204402	station	ipcltest1	wireless	電 3	成功	V1.00

「自動登録OK」



IPアドレス	MACアドレス	SSID名	SSID(11a)	SSID(11b/g)	電源	結果	Ver
192.168.1.22	00014a73404	IPCL-14	ipcltest1	wireless	電 0	失敗	V0.20
192.168.1.23	00014a73407	IPCL-17	ipcltest1	wireless	電 2	失敗	V0.20
192.168.1.20	0002c1204402	station	ipcltest1	wireless	電 3	失敗	V1.00

「自動登録NG」



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a/b/g) と、IPコードレス電話機の自動登録を行ったときは、再起動に時間がかかります。
- 一覧表示から無線ステーションを選択することもできます。その場合は、接続する無線アクセスポイント (a/b/g) を登録スイッチで自動登録モードにして自動登録を行ってください。
- 無線状態によって失敗する場合があります。失敗した場合は、[検索] をクリックしてもう一度表示させてください。



お知らせ

- 設定ソフトウェアから自動登録モードを起動できるのは、無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのうち1台のみになりますので、登録したいもう一方の無線装置は、登録スイッチで自動登録モードにする必要があります。
- 自動登録モード設定中は、その無線アクセスポイント (a/b/g) に接続していた無線ステーション、無線LANカードとは通信ができません。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) が自動登録モードで立ち上がったときに、SSID、暗号キーの両方が初期値の場合は、SSID、暗号キーを乱数で自動生成します。暗号キーは、WEP152bitになります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) のACLアドレステーブルが100件登録されていると「ネットワークへの接続に失敗しました」のエラーが表示されます。不要なACLアドレステーブルを削除してください。
- 一覧表示でIPアドレスが表示されていない場合は、IPアドレスを設定してからご利用ください。([IPアドレスを設定する] ●P91)
- 自動登録に失敗した場合は、無線ステーションの登録ランプが赤点灯 (約10秒間) になり、その後自動的に再起動します。もう一度自動登録を行ってください。
- 自動登録モードは、最大5分間続きます。自動登録モードを解除するには、装置のリセットスイッチを押して再起動してください。
- 固定IPアドレスで使用する場合は、自動登録を行った後に増設した無線ステーションのIPアドレスの設定を行ってください。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度 [検索] をクリックしてください。

ACL自動追加

IPコードレス電話機のMACアドレスを、検索済みの無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>のACLテーブルへ追加登録します。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

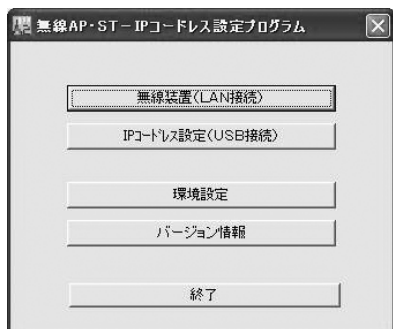
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



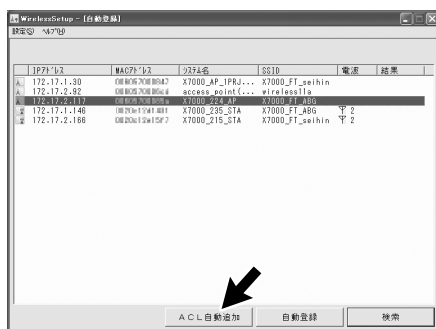
(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置 (LAN接続)」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

「設定」メニューの「自動登録」をクリックする

一覧表示から、MACアドレスをコピーしたいIPコードレス電話機を1台選択し、MACアドレスを登録したい複数の無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>を選択して、「ACL自動追加」をクリックする



- 無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>のACLテーブルには最大100件のMACアドレスを登録できます。MACアドレスを登録された無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降>は、自動的に再起動します。
- 2つ目の機器を選択する場合は、Ctrlキーを押しながらクリックしてください。

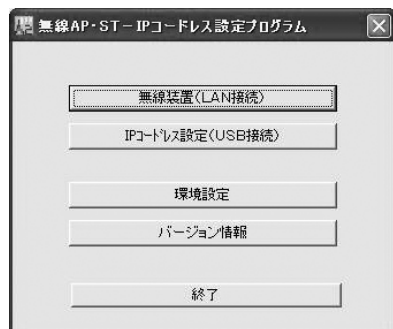
更新結果を確認する

接続図を表示する

ネットワーク上に接続する無線アクセスポイント (a/b/g) から接続情報を収集し、接続図を表示します。

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

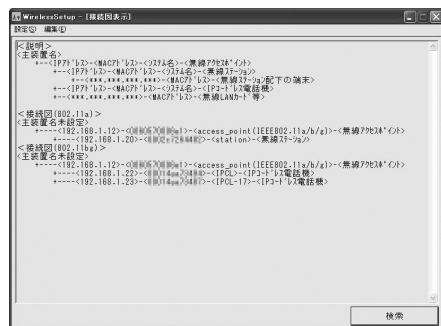


(画面はWindows® XPの場合の例です)

「無線装置 (LAN接続)」をクリックする

設定ソフトウェアの各種設定画面が表示されます。

「設定」メニューの「接続図表示」をクリックする



無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーション、IPコードレス電話機の接続図が表示されます。



ワンポイント

- [編集] メニューの [接続図のコピー] をクリックすることにより、接続図をクリップボードへコピーできます。
- 接続図に表示されるものは、無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線アクセスポイントに接続されている無線ステーション・無線LANカード、IPコードレス電話機です。

■無線アクセスポイント (a/b/g) <V1.00> 接続図表示例

表示内容は次のようになります。

<説明>

<主装置名>

+---<IPアドレス>-<MACアドレス>-<システム名>-<無線アクセスポイント>
 +---<IPアドレス>-<MACアドレス>-<システム名>-<無線ステーション>
 +---<***.***.***.***>-<MACアドレス>-<無線ステーション配下の端末>
 +---<***.***.***.***>-<MACアドレス>-<無線LANカード等>

<接続図>

<主装置名未設定>

+----<192.168.1.25>-<0000000000001>-<access_point(IEEE802.11a/b/g)>-<無線アクセスポイント> ①
 +----<***.***.***.***>-<0000000000002>-<無線LANカード等> ②
 +----<192.168.1.21>-<0000000000003>-<station>-<無線ステーション> ③

<接続図の説明>

- ① 192.168.1.25のAPは無線アクセスポイント (a/b/g)。
- ② ①の無線アクセスポイントに無線で接続されている無線LANカードなどの情報として、<IPアドレス> (***.***.***.***)、<MACアドレス>、<無線LANカード等>の順番に表示しています。
- ③ 192.168.1.21は無線ステーション。

■無線アクセスポイント (a/b/g) <V2.00以降> 接続図表示例

表示内容は次のようになります。

<説明>

<主装置名>

+---<IPアドレス>-<MACアドレス>-<システム名>-<無線アクセスポイント>
 +---<IPアドレス>-<MACアドレス>-<システム名>-<無線ステーション>
 +---<***.***.***.***>-<MACアドレス>-<無線ステーション配下の端末> ④
 +---<IPアドレス>-<MACアドレス>-<システム名>-<IPコードレス電話機>
 +---<***.***.***.***>-<MACアドレス>-<無線LANカード等> ⑥

<接続図(802.11a)>

<主装置名未設定>

+----<192.168.1.12>-<0000000000001>-<access_point(IEEE802.11a/b/g)>-<無線アクセスポイント> ①
 +----<192.168.1.20>-<0000000000002>-<station>-<無線ステーション> ③

<接続図(802.11b/g)>

<主装置名未設定>

+----<192.168.1.12>-<0000000000001>-<access_point(IEEE802.11a/b/g)>-<無線アクセスポイント> ②
 +----<192.168.1.22>-<0000000000004>-<IPCL>-<IPコードレス電話機> ⑤
 +----<192.168.1.23>-<0000000000005>-<IPCL>-<IPコードレス電話機>

<接続図の説明>

- ① 192.168.1.12は無線アクセスポイント (a/b/g) のIEEE802.11a
- ② 192.168.1.12は無線アクセスポイント (a/b/g) のIEEE802.11b/g
- ③ 192.168.1.20は無線ステーション
- ④ 無線ステーション配下のIP多機能電話機やパソコン等
- ⑤ 192.168.1.22はIPコードレス電話機
- ⑥ 無線LANハンディホン、無線LANカード等

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)



ワンポイント

- 無線アクセスポイント (a)、無線アクセスポイント (b/g) それぞれの配下の端末が表示されます。
- 無線アクセスポイント (a)、無線アクセスポイント (b/g) の機能が停止されている場合でも表示します。
- 無線ステーション、IPコードレス電話機、無線LANカード等が1台も接続されていない場合も無線アクセスポイント (a)、無線アクセスポイント (b/g) は表示します。



お知らせ

- 装置により表示が異なります。
 - ・ 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機の表示
+----<IPアドレス><MACアドレス><システム名><接続装置名>
 - ・ 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーション、IPコードレス電話機以外の表示
+----<IPアドレス><MACアドレス><接続装置名>
- IPアドレスの表示は、無線アクセスポイント (a/b/g) ・ 無線ステーション、IPコードレス電話機以外では「* * * * *」と表示されます。
- システム名は無線アクセスポイント (a/b/g) ・ 無線ステーション、IPコードレス電話機のみが表示となります。
- 無線アクセスポイント (a/b/g)、無線ステーションのシステム名はWeb設定で変更することができます。(「基本機能を設定する」▶P48)
- 無線アクセスポイント (a/b/g) ・ 無線ステーション、IPコードレス電話機でIPアドレスが設定されていない場合は<>と表示されます。
- ネットワークや無線の状態によっては、無線ステーションが<無線LANカード等>と表示されることがあります。
- 一覧表示をする場合、ネットワークや無線の状態によっては検索できない場合があります。その場合は、接続を確認するか、再度「検索」をクリックしてください。
- 無線アクセスポイント (a/b/g) では、無線ステーション配下の端末は表示されません。無線アクセスポイント配下に無線ステーションが接続されている場合のみ、無線ステーション配下の端末を表示できます。
- IPコードレス電話機のシステム名は、「IPCL-内線番号」となります。X7000にログインしていないときは、「IPCL」となります。

IPコードレス電話機のアドレス帳を設定する

電話（メールアドレス）帳への新規登録、編集、検索、削除と、エクスポート・インポート（CSVファイル形式）を行います。最大500件のメールアドレスを登録できます。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

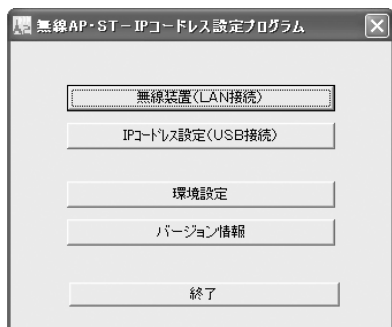
4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

6 ご参考に

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

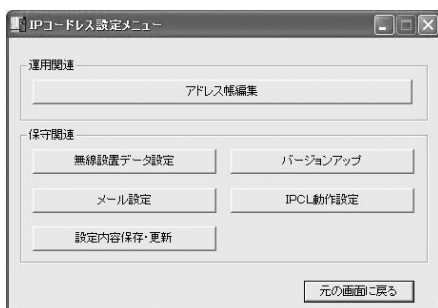
設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。



IPコードレス設定メニューの「アドレス帳編集」をクリックする

メールアドレス帳画面が表示されます。



(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

4

各項目は、見出しをクリックすることにより、並び順を替えることができる

- メモリ番号
- 名前
- フリガナ
- メールアドレス
- 電話番号

5

アドレス帳をインポートするときは、拡張子が“txt”のCSVファイル形式のファイルを選択して、[インポート] をクリックする

6

エクスポートするときは、ファイル名を設定してから [エクスポート] をクリックする
アドレス帳がCSVファイル形式でエクスポートされます。

7

新しいアドレスを登録するときは [新規登録] をクリックする

新規登録画面が表示されます。

新規登録画面で、名前、フリガナ、メールアドレス、電話番号を入力して [登録] をクリックします。

8

電話帳を編集するときは、アドレス帳画面で編集する項目を選択し、[編集] をクリックする

編集画面が表示されます。

データを編集してから、[登録] をクリックします。

9

アドレス帳を編集する

設定項目	設定内容	入力条件
メモリ番号	メモリ番号を入力する	000～499
名前	名前を入力する	全角10文字 半角20文字
フリガナ	フリガナを入力する	半角20文字
メールアドレス	メールアドレスを入力する	半角英数、記号(●P53) 最大64文字
電話番号	電話番号を入力する	半角32桁

10

アドレスを削除するときは、アドレス帳画面で削除する項目を選択し、[削除] をクリックする

11

アドレス帳画面で[更新] をクリックする

IPコードレス電話機に登録・編集した電話帳が送信されます。



ワンポイント

- 名前、フリガナが入力されていないと、登録できません。
- 新規登録するときのメモリ番号は、空き番号から最小番号が設定されます。メモリ番号の変更はできません。
- メールアドレス帳画面で項目をダブルクリックすると、選択したデータの編集画面を表示させることができます。
- 設定の途中で中止するときは、[キャンセル] をクリックします。



お知らせ

- 新規登録では、同一の名前、メールアドレスがあっても登録できます。
- エクスポート／インポートファイルはCSV形式ですが、拡張子は"txt"となります。
- インポート／エクスポートファイルのフォーマットは以下の通りです。
1行目：メモリ番号,名前,フリガナ,メールアドレス,電話番号
2行目："000","IPCL太郎","ア化°-シ-ILタロ","ipcl@ipcl.co.jp","0312345678"
⋮
n行目："499","IPCL花子","ア化°-シ-ILハナコ","ipclhanako@ipcl.co.jp","012345678"
- メールアドレスをインポートする前に、次の点を確認してください。
 - ① インポートできるのは、カンマ区切りのデータのみです。
 - ② 1行目はヘッダとして読み飛ばし、2行目からをデータとします。1行目のヘッダの内容はチェックされません。
 - ③ 最大500件のインポートが可能です。既存のデータとの合計が500件を超える場合は、確認メッセージを表示します。
「XXX件の追加になりますが、XXX件の空きしかありません。続行しますか？」
「はい」を選択すると、メールアドレスの合計が500件に達するまでインポートされます。
 - ④ データ部（2行目以降、最終行以外）に空行を入れた場合は、インポートできません。
 - ⑤ 1行に6つ以上の項目がセットされていた場合は、5つ目のデータまでをインポートします。
 - ⑥ インポートファイル中に「メモリ番号」がある場合、既存の同じメモリ番号に上書きします。
 - ⑦ インポートファイル中に不正なデータがある場合は処理を中断します。データは登録されません。全データが正常な場合のみインポートできます。
 - ⑧ 入力文字数の制限を越えている場合は、インポートできません。
 - ⑨ 文字入力で使用できる記号は - . @ _ () * # SP（スペース）です。

IPコードレス電話機の無線関連設定を設定する

無線接続に関する設定を行います。
最大20件のSSIDを登録できます。

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「無線設置データ設定」をクリックする

無線関連設定画面が表示されます。

無線関連設定を設定する

設定項目	設定内容	入力条件
SSID種別	SSID種別を登録する	最大20件
SSID	SSID種別で選択したSSIDを表示する	半角英数、記号(●P53) 最大32文字
暗号化タイプ	SSID種別の暗号化タイプを選択できる	無効 WEP64bit WEP128bit
暗号キー	SSID種別の暗号キーを入力する	0~9、a~f
DHCP	SSID種別のDHCPのON/OFFを選択する	ON/OFF
IPアドレス	SSID種別のIPアドレスを入力する	0.0.0.1~255.255.255.254
サブネットマスク	SSID種別のサブネットマスクを入力する	0.0.0.1~255.255.255.254
デフォルトGW1	SSID種別のデフォルトGW1 IPアドレスを入力する	0.0.0.1~255.255.255.254
デフォルトGW2	SSID種別のデフォルトGW2 IPアドレスを入力する	0.0.0.1~255.255.255.254
連携AP選択	無線アクセスポイント（a/b/g）<V2.00以降>の設定データを選択して、[連携AP選択] にファイル名、MACアドレス、SSIDを表示し、暗号化タイプと暗号キーを取得して、無線設定されていないIPコードレス電話機に無線関連のデータを設定する(●P118)	—
データレート	データレートを選択する	—

4

設定項目	設定内容	入力条件
スキャンチャンネル設定	スキャンするチャンネルをチェックする	—
情報通信用ポート番号を入力する	情報通信用ポート番号を入力する	1～65565
IPコードレスMACアドレス	IPコードレス電話機のMACアドレスを表示する	参照のみ

5

設定を登録するときは、[登録] をクリックする

登録を削除するときは、SSID種別を選択して、「削除」をクリックしてください。

6

[更新] をクリックする

IPコードレス電話機に登録・編集した無線設置データが送信されます。



ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、[キャンセル] をクリックします。

アクセスポイント設定連携

無線設置データ設定時に無線アクセスポイント（a/b/g）＜V2.00以降＞の設定データから無線関連の情報を取得して、IPコードレス電話機の設定に反映させます。

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「無線設置データ設定」をクリックする

無線関連設定画面が表示されます。

4 連携AP選択の「ファイル参照」をクリックする

ファイル選択ダイアログが表示されます。

5 無線アクセスポイント（a/b/g）＜V2.00以降＞の設定データを選択する

「連携AP選択」にファイル名、MACアドレス、SSIDが表示され、暗号化タイプと暗号キーを取得します。

6 「IPコードレス情報へコンバート」をクリックする

- SSID
- 暗号化タイプ

7 無線関連設定画面で「更新」をクリックする

無線設定されていないIPコードレス電話機に無線関連のデータを設定します。



お知らせ

- あらかじめ無線アクセスポイント（a/b/g）＜V2.00以降＞の設定データが作成されていない場合には、この機能は使用できません。

マナーモード、ロックナンバーなどのIPコードレス電話機単独の動作を設定します。

1

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2

「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3

IPコードレス設定メニューの「IPCL動作設定」をクリックする

IPコードレス動作設定画面が表示されます。

IPコードレス電話機の動作を設定する

●マナーモード

設定項目	設定内容
電話着信音量	電話着信時の音量を選択する
メール着信音量	メール着信時の音量を選択する
バイブレータ	バイブレータのONまたはOFFを選択する

●着信設定

設定項目	設定内容
電話着信音	電話着信音を選択する
メール着信音	メール着信音を選択する

●着信音設定

設定項目	設定内容
電話着信	電話着信時の着信メロディファイルを選択する ※着信メロディファイルを選択できる場合のみ、有効
メール着信	メール着信時の着信メロディファイルを選択する ※着信メロディファイルを選択できる場合のみ、有効
着信音ファイル編集	着信音メロディファイル編集画面を表示する (●P121)

(次ページへつづく)

4

(前ページのつづき)

4

●バイブレータ設定

設定項目	設定内容
電話着信	電話着信時のバイブレータの動作を選択する
メール着信	メール着信時のバイブレータの動作を選択する

●ロックナンバー設定

設定項目	設定内容
ロックナンバー	ロックナンバーを入力する

●省電力モード設定

設定項目	設定内容
省電力モード	省電力モードを選択する

●キータッチ音設定

設定項目	設定内容
キータッチ音	キータッチ音を選択する

●主装置関連設定 (GX-L専用)

設定項目	設定内容
TEN番号	TEN番号を入力する

5

【更新】をクリックする

IPコードレス電話機に編集した動作設定データが送信されます。



ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、[キャンセル] をクリックします。



お知らせ

- 着信音メロディファイルを削除した場合は、元に戻すことはできません。設定ソフトウェアで設定してください。

着信メロディ設定

着信設定時にIPコードレス電話機で使用する着信メロディファイルを設定、削除できます。また、ファイル名の変更もできます。

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「IPCL動作設定」をクリックする

IPコードレス動作設定画面が表示されます。

4 「着信音ファイル編集」をクリックする

着信メロディファイル編集画面が表示されます。



5 着信メロディファイルを追加するときは、[ファイル追加] をクリックして、追加するファイルを選択する

着信メロディのサンプルは全30曲あります。

設定ソフトウェアインストール先の¥NTT¥WirelessSetup¥Melody_Sampleを参照してください。

6 着信メロディファイルを削除するときは、削除するファイルを選択して[ファイル削除] をクリックする

7 着信メロディファイルの名称を編集するときは、編集する着信メロディファイルを選択し、[ファイル名変更] をクリックする

ファイル名変更ダイアログが表示されます。

ファイル名を編集してから、[決定] をクリックします。

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)

8 IPコードレス動作設定画面で [更新] をクリックする



ワンポイント

- 設定したファイル名がIPコードレス電話機の設定画面に表示されます。ただし、拡張子は表示しません。
- IPコードレス電話機では着信音ファイル名は最大17文字まで表示されます。17文字を超えた場合は表示されません。
- ファイル名は半角英数記号です。
使用できる半角英数記号は「a～z、A～Z、0～9、- (ハイフン)、_ (アンダーバー)、. (ドット)、@、#です。
ファイル名は最大64文字までです。
- melody1、melody2は削除できません。



お知らせ

- 設定できる着信メロディファイルの仕様は、以下の通りです。詳しくは、着信メロディー一覧 (P131) を参照してください。
 - ・種別 : スタンダードMIDIファイルFormat0 (拡張子は*.mid)
 - ・サイズ : 30Kbyte以下
 - ・ファイル数 : 最大5個 (melody1、melody2は除く)
- 使用できないファイルが選択された場合は、次のように動作します。

操作内容	動作
MIDIファイル以外を選択した場合	エラーを表示します。 ファイルは追加できません。
ファイルサイズが30Kbyteより大きい場合	エラーを表示します。 ファイルは追加できません
スタンダードMIDIファイル Format1、Format2の ファイルを追加した	ファイルは追加されますが、再生されません。

メール送受信に関連する設定を行います。

1

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2

「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3

IPコードレス設定メニューの「メール設定」をクリックする

メール設定画面が表示されます。

メールの設定をする

●ユーザ情報

設定項目	設定内容	入力条件
名前	メールの差出人として表示される名称を入力する	全角30文字、半角60文字
メールアドレス	メールアドレスを入力する	半角英数、記号(●P53) 最大64文字
送信メールアドレス	送信メールアドレスを入力する	無効 半角英数、記号(●P53) 最大64文字

4

●サーバ情報

設定項目	設定内容	入力条件
受信メール（POP）	受信メールサーバのアドレスを入力する	半角英数、記号(●P53) 最大64文字
送信メール（SMTP）	送信メールサーバのアドレスを入力する	半角英数、記号(●P53) 最大64文字
POP BEFORE SMTP	受信後に送信も行うかどうかを選択する	—

●サーバのポート番号

設定項目	設定内容	入力条件
受信メール（POP）	受信メールサーバのポート番号を入力する	1～65535
送信メール（SMTP）	送信メールサーバのポート番号を入力する	1～65535

(次ページへつづく)

1
お使いになる前に2
事前の準備3
Webでデータ
設定を行う4
自動登録モード
で設定を行う5
設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う6
ご参考に

(前ページのつづき)

4

●受信メールサーバ

設定項目	設定内容	入力条件
アカウント名	受信メールサーバのアカウント名を入力する	半角英数、記号(●P53) 最大64文字
パスワード	受信メールサーバのパスワードを入力する 入力した文字は「*」で表示する	半角英数、記号(●P53) 最大40文字

●受信メールの保存設定

設定項目	設定内容	入力条件
受信メールのコピーを サーバに保存	受信メールをサーバに保存するかどうかを選択する	—

●署名

設定項目	設定内容	入力条件
署名追加	メールに署名を追加するかどうかを選択する	—
内容	署名の内容を入力する	全角30文字 半角60文字

●引用文の設定

設定項目	設定内容	入力条件
引用文挿入	返信するメールに、元のメールの本文を引用するかどうかを選択する	—

●新着メッセージのチェック間隔

設定項目	設定内容	入力条件
新着メッセージの チェック間隔 (分)	新着メッセージのチェック間隔の時間 (分) を入力する	—

5

【更新】 をクリックする

IPコードレス電話機に編集したメール設定データが送信されます。



ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、[キャンセル] をクリックします。
- メールをご利用になる場合は、ユーザ情報、サーバ情報、サーバのポート番号、受信サーバの設定は必ず行ってください。
- 間違えて設定された場合は、メールの送受信ができません。
- 設定については、「Netcommunity SYSTEM X7000 IPコードレス電話機 取扱説明書」をご覧ください。



お知らせ

- 署名の内容で、改行を入力する場合は、改行は全角1文字扱いとなります。

IPコードレス電話機の設定内容の 保存・反映を行う

IPコードレス電話機の設定データをパソコンに保存します。また保存しておいた設定データで、IPコードレス電話機の設定を更新できます

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「設定内容保存・更新」をクリックする

設定内容保存・更新画面が表示されます。



4 設定内容をパソコンに保存するときは、「設定内容保存」をクリックする

IPコードレス電話機から、設定データを受信します。

5 設定内容を更新するときは、[フォルダ参照] をクリックして更新フォルダを選択し、[設定内容更新] をクリックする

(次ページへつづく)

(前ページのつづき)



ワンポイント

- 一括保存で作成されるファイルは、次の通りです。

*000000000000はIPコードレス電話機のMACアドレス

フォルダ名は、(設定ソフトウェアのインストールフォルダ) ¥IPCL000000000000¥ で

- dat_tel_000000000000.ini : 電話帳データファイル
- dat_mail_000000000000.ini : メール設定データファイル
- dat_wireless_000000000000.ini : 無線設置データファイル
- dat_ipcl_000000000000.ini : IPCL動作設定データファイル
- dat_sys_000000000000.ini : ネットワーク関連設定データファイル

一括更新の際、以下のデータは現在のIPコードレス電話機の設定データのままとなります。

<メール設定データ>

- ユーザ名
- 電子メールアドレス
 - 返信メールアドレス
 - 受信メールサーバ・アカウント名
 - 受信メールサーバ・パスワード
 - 署名の挿入の有無
 - 署名内容
 - 引用文の有無

<無線設置データ>

- SSID種別20個に付随するデータ



お知らせ

- 設定ソフトウェア以外で変更した保存ファイルを使用して一括更新を行なった場合、IPコードレス電話機の動作は保証できません。

IPコードレス電話機のバージョンアップ を行う

指定したIPコードレス電話機に対して、FTPサーバからファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行います。

1 スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

2 「IPコードレス設定（USB接続）」をクリックする

設定ソフトウェアのIPコードレス設定メニューが表示されます。

3 IPコードレス設定メニューの「バージョンアップ」をクリックする

バージョンアップ画面が表示されます。



4 「ファイル参照」をクリックして、バージョンアッププログラムを選択する

プログラムファイルの拡張子は、「*.ipc」です。

5 バージョンアッププログラムのファイル名が表示されたら、「更新」をクリックする

IPコードレス電話機に、バージョンアッププログラムファイルを送信します。

6 「プログラムの更新に成功しました」と表示されたら、「OK」をクリックする

設定ソフトウェアを終了させてください。

7 IPコードレス電話機の指示にしたがって再起動する



ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、「キャンセル」をクリックします。
- IPコードレス電話機のファームウェアバージョンアップでは、プログラムファイルの拡張子「*.ipc」についてはチェックしますが、その内容についてはチェックできません。「更新」をクリックする前に、選択したプログラムファイルでバージョンアップしてよいかどうかを確認してください。
- バージョンアップを行った場合は、IPコードレス電話機の再起動に時間がかかります。
- IPコードレス電話機のバージョンアップが失敗した場合は、ネットワーク環境、FTPの設定などを確認し、再度バージョンアップを行ってください。

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ
設定を行う

4 自動登録モード
で設定を行う

5 設定ソフトウェア
でデータ設定を
行う

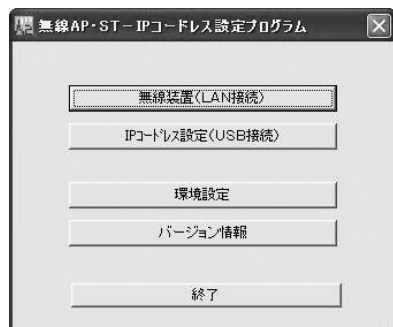
6 ご参考に

設定ソフトウェアの環境設定を行う

設定ソフトウェアの動作環境を設定します。

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。

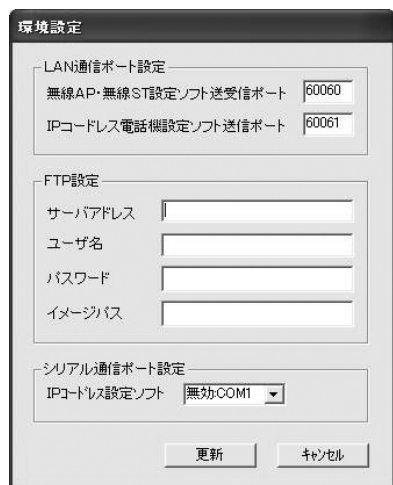


(画面はWindows® XPの場合の例です)

「環境設定」をクリックする

設定ソフトウェアの環境設定画面が表示されます。

動作環境を入力する



環境設定画面では、以下のような設定ができます。

●LAN通信ポート設定

設定項目	設定内容	入力条件
無線AP・無線ST 設定ソフト送受信ポート	無線装置とのLAN通信に使用するポート番号を入力する	1～65535
IPコードレス電話機 設定ソフト送信ポート	IPコードレス電話機とのLAN通信に使用するポート番号を入力する	1～65535

●FTP設定

設定項目	設定内容	入力条件
サーバアドレス	ファームウェアバージョンアップで使用するFTPサーバのアドレスを入力する	0.0.0.0～255.255.255.255
ユーザ名	ファームウェアバージョンアップで使用するFTPサーバのログインユーザ名を入力する	ASCII文字、最大32文字まで
パスワード	ファームウェアバージョンアップで使用するFTPサーバのログインパスワードを入力する	ASCII文字、最大32文字まで
イメージパス	ファームウェアバージョンアップで使用するファイルを配置しているパスを入力する	ASCII文字、最大64文字まで

●シリアル通信ポート

設定項目	設定内容	入力条件
IPコードレス設定ソフト	IPコードレス電話機とのUSB通信に使用するポート番号を選択する	—

[更新] をクリックする



ワンポイント

- 設定の途中で中止するときは、[キャンセル]をクリックします。
- シリアル通信ポートは、Com1～Com9までです。
- シリアル通信ポートは、[コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] → [デバイスマネージャー] → [ポート (COMとLPT)] で確認できます。



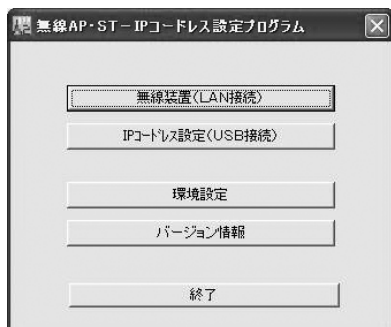
お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップを行う場合は、FTPサーバの情報を設定してください。
- ユーザ名、パスワード、イメージパスには、スペースを入力できません。
- <イメージパスを入れる必要がある条件を記載>したいとき、FTPサーバで設定したホームディレクトリからの相対パスをイメージパスに設定する必要があります。
- ポート番号を変更すると、無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションと通信できなくなることがあります。通常は変更しないでください。
- その他の設定は、IPコードレス電話機を設定するときに使用します。

1

スタートメニューのプログラム内の「WirelessSetup」をクリックする

設定ソフトウェアのメインメニューが表示されます。



(画面はWindows® XPの場合の例です)

2

「バージョン情報」をクリックする

設定プログラムのバージョン情報が表示されます。



■ファイル名と曲名の対比について

春	dokokade-haruga.mid	どこかで春が
	hana.mid	花（滝廉太郎）
	SPRING_SONG.mid	春の歌（メンデルスゾーン）
	Spring_The_Four_Seasons.mid	四季より-春（ビバルディ）
	Tempo_di_Valse.mid	花のワルツ（チャイコフスキー）
夏	BEAUTIFUL_DREAMER.mid	夢路より（フォスター）
	kamomeno-suiheisan.mid	かもめの水兵さん
	Morgenstimmung.mid	ペールギュントより朝（グリーグ）
	Santa_Lucia.mid	サンタルチア（イタリア）
	wareha-uminoko.mid	我は海の子
秋	Dreaming_of_home_and_mother.mid	旅愁（オードウェイ）
	Moonlight_Serenade.mid	ムーンライトセレナーデ
	muramaturi.mid	村まつり
	mushino-koe.mid	むしのこえ
	syozyozino-tanukibayashi.mid	証城寺の狸ばやし
冬	Jingle_Bells.mid	ジングルベル
	pechka.mid	ペチカ
	silent_Night.mid	聖夜-きよしこの夜（クルーパー）
	We_wish_you_a_merry_Xmas.mid	We_wish_you_a_merry_Xmas
	Winter_The_Four_Seasons.mid	四季より-冬（ビバルディ）
その他	yuki.mid	ゆき
	Grande_Valse_Brillnte.mid	華麗なる大円舞曲
	Greensleeves.mid	グリーンスリーブス
	HOME_ON_THE_RANGE.mid	峠の我が家
	Jesus_bleibet_meine_Freude.mid	主よ人の喜びよ
	Jupiter.mid	木星
	Menuett.mid	メヌエット
	Nocturn_op.9-2.mid	夜想曲集-変ホ長調
	Ungarische_Tanze_Nur_5.mid	ハンガリア舞曲第5番
	wakareno-kyoku.mid	ホ長調-別れの曲

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ設定を行う

4 自動登録モードで設定を行う

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

6 参考に

エラーコード一覧

設定ソフトウェアで通信などに障害が発生した場合には、以下のエラーコードが表示されます。

エラーコード	エラー内容	対処方法	参照ページ
1	設定ソフトウェアの動作不良	● IPコードレス電話機との接続でエラーが発生しています。設定ソフトウェアを再起動してください。	—
2	IPコードレス電話機のエラー	● IPコードレス電話機が使用中です。IPコードレス電話機を待ち受け画面にしてください。 ● 設定ソフトウェアの環境設定を確認してください。 ● IPコードレス電話機が自動バージョンアップを行っている場合、接続できません。しばらくしてから、設定ソフトウェアを実行してください。	—
0xff00	IPCL未接続エラー	● IPコードレス電話機との接続に失敗しています。設定ソフトウェアを再起動してください。	—
0xff01	設定ソフトウェアが他の処理を実行中	● 2重起動している恐れがあります。PCを再起動してください。	—
0xff02	レスポンスタイムアウト	● IPコードレス電話機が応答しません。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	➡P110
0xff03	送信エラー	● データの送信に失敗しました。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	➡P110
0xff04	IPコードレス電話機通信エラー	● IPコードレス電話機が応答しません。接続を確認の上、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動してください。	➡P110
0xff05	処理中止	● 処理中に設定ソフトウェアが終了されました。継続して使用する場合は、再起動してから使用してください。	—
0xff06	不正データあり	● IPコードレス電話機のアドレス帳データが壊れている可能性があります。IPコードレス電話機のアドレス帳データを確認してください。 データが表示できない場合は、初期化する必要があります。	➡P113
0xff07	FTP通信エラー	● 無線環境を確認してください。 ● FTPサーバの設定を確認してください。 ● 設定ソフトウェアの環境設定でFTP設定を確認してください。	➡P128
0xff08	ZMODEM通信エラー	● ファイルの送受信に失敗しました。ファイルが壊れているか、USB通信の動作が不安定になっています。指定したファームウェアファイル、着信メロディファイルを確認してください。また、ファイルを指定していない場合は、設定ソフトウェアとIPコードレス電話機を再起動後再度実行してください。	➡P121 ➡P125
0xff09	ケーブル切断中	● USBケーブルが外れている可能性があります。接続を確認してください。 ● USBケーブルが断線している可能性があります。新しいケーブルに変更してください。	—
0xff0a	ポートオープン・初期化失敗	● IPコードレス電話機と接続されていません。接続を確認してください。また、他の装置でCOMポートを使用していないかご確認ください。	—

故障かな？と思ったら

故障かなと思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

■ランプが点灯しない

こんなときは		確認してください	参照ページ
POWERランプが点灯しない	電源アダプタをお使いの場合	●電源ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 ●接続されている場合は、OAタップなどに電源が供給されているか、ほかの電気製品などで確認してください。	—
	給電HUBに接続している場合	●給電HUBに電源が供給されていることを確認してください。 ●給電HUBのディップスイッチの設定が正しいことを確認してください。 ●LANケーブルの接続を確認してください。	➡P22
	X7000に接続または給電HUBをお使いの場合	●X7000または給電HUBに電源が供給されていることを確認してください。 ●LANケーブルの接続を確認してください。	➡P22
POWERランプが一定間隔でついたり消えたりする	機器が正常に動作していません	●設定データを初期化して、再度電源を入れてください。	➡P19 ➡P21
LANランプが点灯しない	無線アクセスポイント(a/b/g)のLANポートをネットワークに接続している場合	●LANケーブルがきちんとLANポートに接続されていることを確認してください。 ●LANケーブルが、ネットワークに接続されている機器(HUB、ルータなど)に接続されていることを確認してください。 ●ネットワークに接続されている機器などが正常に動作していることを確認してください。	➡P22
	無線アクセスポイント(a/b/g)とパソコンを接続している場合	●パソコンのネットワークインタフェースが動作していることを確認してください。	➡P41
	無線ステーションとパソコンを接続している場合	●パソコンとクロスケーブルで接続されていることを確認してください。 ●パソコンのネットワークインタフェースが動作していることを確認してください。	➡P41
	無線ステーションとIP多機能電話機を接続している場合	●IP多機能電話機にLANケーブルが接続されていることを確認してください。 ●IP多機能電話機の電源が入っていることを確認してください。	➡P24
	無線ステーションを給電HUBに接続している場合	●給電HUBにLANケーブルが接続されていることを確認してください。 ●給電HUBの電源が入っていることを確認してください。	➡P26
WLANランプ(11aランプ、11b/gランプ)が点滅しない	—	●電源投入後、約30秒間はWLANランプは点灯しません。しばらくお待ちください。	—
登録ランプが点灯している	自動登録に失敗しました	●しばらくお待ちください。自動的に再起動します。	➡P21
登録ランプが点滅している	自動登録モードになっています	●登録スイッチを確認してください。 ●リセットスイッチを押してください。登録モードを解除します。	➡P19 ➡P21

(次ページへつづく)

1 お使いになる前に

2 事前の準備

3 Webでデータ設定を行う

4 自動登録モードで設定を行う

5 設定ソフトウェアでデータ設定を行う

6 ご参考に

故障かな？と思ったら

(前ページのつづき)

■Webブラウザが見えない

こんなときは		確認してください	参照ページ
LANケーブルをつないでも接続できない	—	● ネットワークとの接続を確認してください。IPアドレス、サブネットマスクが正常に設定されていない場合、パソコンと接続できません。 ● LANランプが点滅していることを確認してください。 ● パソコン側のネットワークの設定を確認してください。	● P19 ● P21 ● P44 ● P46
ネットワークを介して接続している場合	無線アクセスポイント (a/b/g) の場合	● ネットワークとの接続を確認してください。IPアドレス、サブネットマスクが正常に設定されていない場合、パソコンと接続できません。 ● LANランプが点滅していることを確認してください。 ● パソコン側のネットワークの設定を確認してください。	● P19 ● P44 ● P46
	無線ステーションの場合	● ネットワークとの接続を確認してください。IPアドレス、サブネットマスクが正常に設定されていない場合、パソコンと接続できません。 ● WLANランプが点滅していることを確認してください。 ● パソコン側のネットワークの設定を確認してください。	● P21 ● P44 ● P46

■データ・音声通信ができない

こんなときは		確認してください	参照ページ
音声・データがまったく通信できない	—	● 無線アクセスポイント (a/b/g) と無線ステーションが接続できていることを確認してください。また、対向する機器でWLANランプが点滅していることを確認してください。 ● 無線ステーションを無線アクセスポイント (a/b/g) のLANポート側に接続していないことを確認してください。 ● 無線ステーションに接続されているIP多機能電話機、IP端末、無線アクセスポイント (a/b/g) に接続されている無線LANカードなどからデータ通信、音声通話を確認してください。 ● IP多機能電話機、パソコンなどを有線で接続し、通信ができるかどうかを確認してください。 ● 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションの設置場所を確認してください。電波を遮断するものがないか確認してください。 ● 電波状況を確認してください。	● P19 ● P21 ● P27
IP多機能電話機で通話中に音声途切れる	—	● 電波状況を確認してください。IP多機能電話機と接続されていると、IP多機能電話機のディスプレイにアンテナマークが表示されます。 ● EDCFの設定があっているかを確認してください。 ● 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションの設置場所を確認してください。電波を遮断するものがないか確認してください。	● P27
	複数台の場合	● 同一のチャンネルが選択されることがありますので、各無線アクセスポイント (a/b/g) のチャンネル周波数が同じにならないよう、個別に設定してください。	● P51
	無線アクセスポイント (a/b/g) が5台以上接続されている	● 無線アクセスポイント (a/b/g) の接続は4台まで可能です。 ● 複数の無線アクセスポイント (a/b/g) を設置している場合は、無線アクセスポイント (a/b/g) 間の距離を空けてください。	● P23
無線LANハンディホンで通信中に音声途切れる	—	● 音声通信とデータ通信を同時に行わないでください。 ● 他の無線LANカードなどの使用により現象が発生します。同時使用は避けてください。	—

■データ・音声通信ができない

こんなときは		確認してください	参照ページ
通信速度が遅い	—	●有線LANと比較すると、無線LANの通信速度は遅くなります。実効スループットは電波状況によりますが、数Mbps～約20Mbpsです。 ●複数の無線アクセスポイント（a/b/g）を設置している場合は、無線アクセスポイント（a/b/g）間の距離を空けてください。 ●無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションの設置場所を確認してください。電波を遮断するものがないか確認してください。	☛P27
	通信速度が非常に遅い	●電波状況を確認してください。 ●1台の無線アクセスポイント（a/b/g）に多数の無線ステーションや無線LANカードを接続していないか確認してください。 ●無線アクセスポイント（a/b/g）・無線ステーションの設置場所を確認してください。電波を遮断するものがないか確認してください。	☛P27
	無線LANハンディホン使用の場合	●音声通信とデータ通信を同時に行わないでください。 ●他の無線LANカードなどの使用により現象が発生します。同時使用は避けてください。	—

■設定ソフトウェアで設定ができない

こんなときは		確認してください	参照ページ
設定画面が起動しない	IPコードレス設定が起動しない	●IPコードレス電話機が使用中には設定できません。IPコードレス電話機が待ち受け画面のときに操作してください。 ●パソコンと通信できていません。設定ソフトウェアの環境設定でシリアル通信ポート設定を確認してください。 ●無線装置（LAN接続）でIPコードレス電話機を設定する場合はFTPサーバが必須です。FTPサーバが起動しているか確認してください。	☛P128
	アドレス帳の編集画面が表示されない		☛P113
	無線設置データ設定画面が表示されない		☛P116
	メール設定が表示されない		☛P123
	設定内容保存・更新ができない	●無線装置（LAN接続）でIPコードレス電話機を設定する場合はFTPサーバが必須です。FTPサーバが起動しているか確認してください。	☛P125
	バージョンアップができない	●環境設定のFTP設定を確認してください。	☛P127
	IPCL動作設定画面が表示されない		☛P119
設定できない	—	●設定できる項目ごとに入力制限があります。 ●無線装置（LAN接続）でIPコードレス電話機を設定する場合はFTPサーバが必須です。FTPサーバが起動しているか確認してください。	—
無線装置（LAN接続）で検索できない	—	●設定ソフトウェアをインストールしたパソコンで、Windows®、ウィルスチェック、セキュリティソフトなどのファイアウォール機能を利用している場合は、警告メッセージが表示される場合があります。ご使用のアプリケーションの取扱説明書を確認し、ブロック解除の設定を行ってください。	—

(前ページのつづき)

■その他

こんなときは		確認してください	参照ページ
IP多機能電話機に電波強度レベルが表示されない	—	● 設定を確認してください。 ● IP多機能電話機との接続を確認してください。	➡P24 ➡P27 ➡P72
設定ソフトウェアで検索できない	—	● 設定を確認してください。ポート番号が違っていると通信できません。 ● ネットワークカードを複数使用している場合は検索できないことがあります。 ● パソコンにファイアウォール機能やウィルスチェックソフトが動作している場合、検索できないことがあります。	➡P72 ➡P110
設定ソフトウェアが正常に動作しない	—	● 設定ソフトウェアを起動しているパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを確認してください。ネットワークアドレスが無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションと同一でなければ正常に動作しません。	➡P91
設定ソフトウェアの一覧表示が消えるときがある	—	● 設定ソフトウェアの動作中は一覧表示が消える場合があります。設定ソフトウェアの動作が終了したときに、再表示を行ってください。	—
X7000の管理者画面からデータ設定画面を起動できない	—	● 設定を確認してください。 ● 主装置がX7000であるか確認してください。 ● X7000との接続を確認してください。	➡P57 ➡P48 ➡P22
無線LANカードが接続できない	—	● SSID、暗号タイプ、暗号キー、ACL、SSID隠蔽の設定を確認してください。 ● 接続しようとしている機器の無線規格を確認してください。接続できるのはIEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g規格の無線機器です。 ● 無線機能の設定で、各無線帯が有効になっているかを確認してください。	➡P50 ➡P50
無線ステーションを移動すると利用できない	—	● SSID、暗号タイプ、暗号キー、ACLの設定を確認してください。	➡P50 ➡P51 ➡P54
自動登録できない	—	● 無線アクセスポイント (a/b/g) ・無線ステーションを近づけて行ってください。 ● 自動登録は、1台の無線アクセスポイント (a/b/g) と1台の無線ステーションで行ってください。 ● ACLアドレステーブルを100件登録しているときは登録できません。不要なACLテーブルを削除してください。	➡P79 ➡P54
IPアドレスを忘れてしまった	—	● 設定ソフトウェアから検索できます。X7000の設定画面から探すこともできます。Netcommunity SYSTEM X7000取扱説明書（応用編）を参照してください。	—

アルファベット

- ACL制御**……………Access Control Listの略。アクセスコントロールリストに登録を許可する無線ステーションの無線MACアドレスを登録することにより、不要な無線ステーションが登録できないようにする機能です。
- AES**……………Advanced Encryption Standardの略。米国商務省標準技術局(NIST)によって選定作業が行われている、米国政府の次世代標準暗号化方式です。
- EDCF制御**……………IEEE802.11eの機能の一部であるエンハンスドDCFのことです。データ送信に対して優先順位を指定することができます。Netcommunity SYSTEM 無線アクセスポイント(a/b/g)・無線ステーションは、この機能を使用して音声通信を優先的に行うことができます。
- FTP**……………File Transfer Protocolの略です。インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのことです。
- FTPサーバ**……………コンピュータネットワークにおいて、クライアントコンピュータに対し、自身の持っているFTP機能を提供するコンピュータのことです。
- IEEE802.11a**……………5GHz帯を使用し、最大54Mbpsで無線通信ができる無線LAN規格です。
- IEEE802.11b**……………2.4GHz帯を使用し、最大11Mbpsで通信ができる、互換性の高い無線LAN規格です。
- IEEE802.11g**……………2.4GHz帯を使用し、最大54Mbpsで通信ができ、IEEE802.11bと互換性のある無線LAN規格です。
- IPアドレス**……………インターネットやイントラネットなどのIPネットワークに接続されたコンピュータ1台1台に割り振られた識別番号のことです。
- MACアドレス**……………MACアドレスは、イーサネットに接続時に使用される物理的なアドレスで、データ通信時に送信先／送信元アドレスで使用されるものです。MACアドレスとイーサネットアドレスは同義語です。
MACアドレスは6バイトからなり、各LAN端末ごとに個別の値が割り当てられます。(MACアドレスは、LANのインタフェースに世界で1つ割り当てられる番号です。また、変更も不可能です。)
- QoS**……………QoS (Quality of Service の略。サービス品質) 制御を行う技術としてEDCFに対応しました。どのような状況でも優先度の高いフレームを先に送信・処理することができます。
- SSID**……………Service Set Identifierの略。無線アクセスポイント(a/b/g)と無線ステーションが認証を行うためにやりとりを行うIDです。
- SSID隠蔽**……………Beacon上にSSIDを出さないようにすることで、不要な無線ステーションが登録できないようにする機能です。
- Super AG™**……………Super AG™はAtheros Communications, Inc.が開発した無線LAN高速化技術で、複数のデータを連続的に転送し制御のオーバーヘッドを軽減する「バースト転送」、データをできるだけ1フレームにまとめることで転送フレーム数を減らす「ファーストフレーム」、さらにチップで転送するデータを圧縮して送ることによって実質的に転送データを減らす「リアルタイム圧縮」という技術を利用しています。

(前ページのつづき)

TKIPパケット偽造やリプレイ攻撃などに対応するため、一定時間ごとに暗号を自動的に変更する暗号化方式です。長時間盗聴しても、暗号が一定期間で変化するので暗号の解析が不可能です。

Webブラウザインターネットのホームページなどを見ることができるソフトのことです。

五十音

【サ行】

サブネットマスクインターネットのような巨大なTCP/IPネットワークは、複数の小さなネットワーク（サブネット）に分割されて管理されますが、ネットワーク内の住所にあたるIPアドレスのうち、何ビットをネットワーク識別のためのネットワークアドレスに使用するかを定義する32ビットの数値のことです。

【タ行】

デフォルトゲートウェイ所属するネットワークの外のコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやルータなどの機器のことです。アクセス先のIPアドレスについて特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイに指定されているホストにデータが送信されます。

【マ行】

無線アクセスポイントアクセスポイント、またはAP。IEEE802.11a/b/gでは基地局のことです。

無線ステーションステーション、またはST。IEEE802.11a/b/gでは移動局のことです。通常はノートパソコンに接続されるPCカードですが、Netcommunity SYSTEM 無線ステーションはIP多機能電話機、HUBなどに接続できます。

【ラ行】

ローミング無線ステーションが無線アクセスポイント（a/b/g）の電波の受信範囲から外れた場合に、別の無線アクセスポイント（a/b/g）に登録することができる機能のことです。

アルファベット・数字

ASCII49、53、71
 ACL制御54
 ACL制御MACアドレス54
 Beacon Interval52
 DHCP36、37、48、54
 DTIM52
 EDCF制御ポート57、73
 IPアドレス48、69
 IPアドレス変更48、69、91
 LANランプ19、21
 POWERランプ19、21
 RTPパケット化サイズ52
 SSID50、70
 SSID隠蔽51
 Super AG™52
 Webブラウザを利用して設定する45
 Webブラウザ起動94
 WLANランプ19、21

五十音

【ア行】

暗号キー51、70、79
 暗号キー自動生成96
 暗号タイプ51、70、79
 暗号タイプ設定96

【カ行】

環境設定128
 固定IPアドレス38

【サ行】

最大接続数35、52
 最大通話数34、52
 サブネットマスク49、70
 システム設定48、69
 システム名48、69
 自動登録79、107
 自動登録モードを利用して設定する28
 主装置識別57、73
 主装置発見アドレス57、72
 主装置発見ポート番号57、73
 情報取得アドレス57、72

情報取得ポート番号57、72
 接続図表示110
 設定ソフトウェアを利用して設定する28
 設定内容更新101
 設定内容保存99
 送信強度52

【タ行】

帯域保証制御70
 チャンネル周波数51
 データレート51、70
 デフォルトゲートウェイ49、70
 電波の状態を確認する27
 電波強度表示設定72
 登録ランプ19、21
 統計情報について65、77

【ハ行】

パスワード48、69
 パスワード設定74
 パス設定74
 ファームウェアバージョンアップ59、74
 ファイル名設定59、74

【マ行】

無線機能50

【ヤ行】

ユーザー名設定74

【ラ行】

ローミング機能30

1
お使いになる前に2
事前の準備3
Webで
設定を行う4
自動登録
モード
で行う5
設定ソフト
ウェア
で
行う6
ご参考に

	項目	無線アクセスポイント (a/b/g) (VP-WL-AP-＜2＞)	適用
無線LAN部	伝送形式	IEEE802.11a 準拠 OFDM	11a
		IEEE802.11b/g 準拠 DSSS/OFDM ARIB STD-T66	11b/g
	チャンネル	34ch、38ch、42ch、46ch (J52)	11a
		1ch、2ch、3ch、4ch、5ch、6ch、7ch、8ch、 9ch、10ch、11ch、12ch、13ch、14ch	11b
		1ch、2ch、3ch、4ch、5ch、6ch、7ch、8ch、 9ch、10ch、11ch、12ch、13ch	11g
	データ伝送速度	54、48、36、24、18、12、9、6Mbps	11a、11g
		11、5.5、2、1Mbps	11b
	アクセス方式	CSMA/CA	
	伝送パケット	IEEE802.11フレーム	
	無線カテゴリ	5GHz帯小電力データ通信システム	11a
		2.4GHz帯小電力データ通信システム	11b
		2.4GHz帯高度化小電力データ通信システム	11b/g
	空中線電力	10mW/MHz	
	QoS	EDCFによる音声優先	
	セキュリティ	WEP (64/128/152bit) AES (128bit) TKIP ACL、SSID隠蔽、IEEE802.1x	
有線LAN部	イーサネット規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX)	
	アクセス方式	CSMA/CD	
	通信方式	Full Duplex/Half Duplex、オートネゴシエーション	
	ポート数	1ポート	
	LAN受電機能	Power over Ether (独自)	
	その他	オートクロスオーバーコネクタ機能	
その他	設定方法	Web、設定ソフトウェア (一部のみ)	
	電磁波妨害	VCCIクラスAに適合	
	使用環境	温度：5℃～40℃ 湿度：45%～85% (結露のないこと)	
	使用電源	電源アダプタ (GX-IPTEL電源アダプタ-＜1＞) (オプション品) または給電HUB (GX-POLHUB-＜1＞)	
	外形寸法	幅約170mm×奥行き約130mm×高さ約44mm (突起物を除く)	
	質量	約300g	
	消費電力	7.8W	

1
お使いになる前に

2
事前の準備

3
Webでデータ設定を行う

4
自動登録モードで設定を行う

5
設定ソフトウェアでデータ設定を行う

6
ご参考に

	項目	無線ステーション (VP-WL-ST-＜1＞)
無線LAN部	伝送形式	IEEE802.11a 準拠 OFDM
	チャンネル	4チャンネル (J52) (34 (5170MHz), 38 (5190MHz), 42 (5210MHz), 46 (5230MHz))
	データ伝送速度	54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, 6Mbps
	アクセス方式	CSMA/CA
	伝送パケット	IEEE802.11フレーム
	無線カテゴリ	5GHz帯小電力データ通信システム
	空中線電力	10mW/MHz
	QoS	EDCFによる音声優先
	セキュリティ	WEP (64/128/152 bit) AES (128 bit)
有線LAN部	イーサネット規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX)
	データ伝送速度	10 Mbps/100 Mbps
	アクセス方式	CSMA/CD
	通信方式	Full Duplex/Half Duplex、オートネゴシエーション
	ポート数	1ポート
	LAN受電機能	Power over Ether (独自)
その他	設定方法	Web、設定ソフトウェア
	使用電源	電源アダプタ (GX-IPTEL 電源アダプタ-＜1＞) (オプション品) または 給電HUB (GX-POLHUB-＜1＞)
	電源出力端子	あり (VP-TEL-＜1＞/GX-＜18＞IPTEL-＜1＞への給電専用、無線ステーションに電源アダプタ接続時に有効)
	電磁波妨害	VCCI基準クラスAに適合
	使用環境	温度：5℃～40℃ 湿度：45%～85% (結露のないこと)
	外形寸法	幅約164mm×奥行き約126mm×高さ約46mm (突起物を除く)
	質量	約280g
	消費電力	5.7W

設定確認シート

システム名	_____
ユーザー名	_____
パスワード	_____
DHCP	有効／無効
IPアドレス	_____ . _____ . _____ . _____
サブネットマスク	_____ . _____ . _____ . _____
デフォルトゲートウェイ	_____ . _____ . _____ . _____
有線MACアドレス	_____ . _____ . _____ . _____ . _____ . _____
無線MACアドレス	_____ . _____ . _____ . _____ . _____ . _____
SSID	_____
暗号タイプ	WEP (64・128・152)
暗号キー	5GHz帯AES (AES-OCB・AES-CCM)
	2.4GHz帯 (AES-CCM)
	TKIP
ACL制御	有効／無効



お知らせ

- 本商品には下表に示すお客様固有の情報が記録されています。本商品を廃棄または譲渡などをする場合は、お手数ですが、お客様にて下表を元に情報を消去してください。

項 目	対処方法
システム名	リセットスイッチを約4秒以上押してください。 (●P19、P21)
ユーザー名	
パスワード	
パスワード確認	
DHCP機能	
IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
無線機能	
SSID	
SSID隠蔽	
暗号タイプ	
暗号キー	
WEK	
AES-OCB	
AES-CCM	
TKIP (WPA-PSK)	
802.1X認証	
Radiusサーバアドレス	
Radiusサーバポート番号	
Radiusシークレット	
ACL設定	
ACLアドレステーブル	
情報取得アドレス	
情報取得ポート番号	
主装置発見アドレス	
主装置発見ポート番号	
主装置識別	
HTTPダウンロード	
バージョンアップURL	
バージョンアップ時刻	
DNSプライマリサーバアドレス	
DNSセカンダリサーバアドレス	
FTPダウンロード	
FTPサーバアドレス	
参照パス	
ユーザネーム	
パスワード	

保守サービスのご案内

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載に基づき当社が無償で修理いたしますので「保証書」は大切に保管してください。（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

●その他

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以东の各都道県）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-970413

■NTT 西日本エリア（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

お問い合わせ先： ☎ 0120-109217

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を7年間保有しております。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社（以下、「当社」という。）とお客様との間の契約です。お客様がソフトウェア製品に含まれるオブジェクトプログラムをコンピュータにインストールすることにより、お客様はソフトウェア使用許諾契約書（以下、「本契約」という。）に同意されたものとします。

第一条 （契約対象の定義）

ソフトウェア製品とは、東日本電信電話株式会社または西日本電信電話株式会社が提供するNetcommunity SYSTEM X7000専用CD-ROMに収録している「無線アクセスポイント・無線ステーション設定ソフトウェア」（オブジェクトプログラム、格納媒体、マニュアル類、及び本契約書を含む。）を意味します。

第二条 （使用許諾および著作権）

ソフトウェア製品の著作権は、当社が保有しております。当社は、本契約に基づきお客様に対してNetcommunity SYSTEM専用無線アクセスポイント（a/b/g）（以下、「無線アクセスポイント（a/b/g）」という。）またはNetcommunity SYSTEM専用無線ステーション（以下、「無線ステーション」という。）のデータ設定のために使用する目的に限り、ソフトウェア製品を譲渡不能かつ非独占の日本国内における第三条に定める権利を許諾します。ソフトウェア製品はその使用を許諾されるもので、販売されるものではありません。

第三条 （許諾事項、禁止事項）

1. お客様は、オブジェクトプログラムを無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーションに接続した1台または複数のコンピュータ上で動作させもしくは表示させることができます。
2. お客様は、ソフトウェア製品の全部またはその一部を無線アクセスポイント（a/b/g）、無線ステーションに接続されたコンピュータで使用するために当該コンピュータの台数分を上限として複製し利用することができます。
3. お客様によるソフトウェア製品についてのいかなる改変・修正・リバースエンジニアリング・逆アセンブルを禁止します。また、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。
4. お客様は、本条1項及び2項で認められている以外の権利は一切有しないものとし、本条1項及び2項に定めること以外のためにソフトウェア製品を使用できません。

第四条 （契約の終了）

1. お客様がソフトウェア製品に含まれるオブジェクトプログラムを使用しないと決めたとき本契約は終了します。
2. お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、当社は他の権利を害することなく本契約を終了することができます。
3. 本条1項及び2項により本契約が終了した場合、お客様は速やかにソフトウェア製品とソフトウェア製品の複製物を全て破棄しなければなりません。【ご注意】当社はその他法的措置をとることもあります。】

第五条 （輸出規制）

お客様は、ソフトウェア製品（その一部を含む）を、日本国外に輸出または移送すること、および非住居者に提供することはできません。

第六条 （準拠法）

本契約は、日本国法に準拠するものとします。

第七条 （無保証および免責）

当社は、お客様に対して使用許諾するソフトウェア製品について、特定物として現存するままの状態を提供し、法律上の瑕疵担保責任を含めて、全ての明示または暗示の保証を致しません。お客様は、当社に対してソフトウェア製品の使用に起因して被ったいかなる損害に関して責任を求めないものとします。

第八条 （その他）

本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

注 意

本製品は、外国為替および外国貿易法が定める規制貨物に該当いたします。

本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product, which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

当社ホームページ：<http://www.ntt-east.co.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT 東日本エリア（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以东の各都道県）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-970413

■NTT 西日本エリア（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

お問い合わせ先：  0120-109217 トークミーナ

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2006 NTTEAST・NTTWEST

